



ぼうさい こくたい 2019 @ N A G O Y A



防災推進国民大会2019 実施報告書



内閣府
Cabinet Office

ぼうさいこくたい2019（防災推進国民大会2019）開催の報告

平素、皆様におかれましては、防災行政の推進につきまして、格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「防災推進国民大会（通称「ぼうさいこくたい」）」は、産学官、そしてNPO・市民団体や国民の皆様が日頃から行っている防災活動を、全国的な規模で発表し、交流する日本最大級の防災イベントとして、平成28年度から毎年開催して参りました。第4回「防災推進国民大会2019」は、今年10月19日（土）・20日（日）に、名古屋市ささしまライブエリア（名古屋コンベンションホール、パークエリア、キャナルゲートエリア、中京テレビ）において、防災推進国民大会2019実行委員会（内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議）主催により開催され、全国から約1万5千人の方々にご参加いただきました。

今大会は、南海トラフ地震の発生が予想される地域において、大規模災害に備えるための産学官を超えた共助の枠組があるということ、そして今年は災害対策基本法策定のきっかけとなった伊勢湾台風から60年であり、我が国の防災について全国民にメッセージを発信するための重要な節目となることから、名古屋市において開催することとなりました。

大会においては、「大規模災害に備えるーまなぶ、つながる、つよくなるー防災を、もっと日常に」のテーマの下、10月19日から2日間、211のイベントが展開されました。

愛知県・名古屋市の「あいち・なごや防災フェスタ」が同日開催されたこともあり、国内外の防災に取り組む方々が集まり、産官学民の防災に関する知見の共有がなされる場となりました。

近年、災害が激甚化しており、今年に入ってから台風19号をはじめとする災害が各地で甚大な被害をもたらしました。国民の命を守る防災・減災対策は、我が国の政治、社会にとって重要かつ喫緊の課題です。その中で、大切なことは、行政による「公助」はもとより、国民一人一人が自ら取り組む「自助」、そして、地域、企業、学校、ボランティアなど互いに助け合う「共助」を組み合わせ、地域全体で防災意識を高め、あらゆる自然災害に備える「防災意識社会」を構築していくことです。政府としても、こうしたソフトとハードを組み合わせた対策を総動員して、防災、減災、国土強靱化に取り組んでまいります。

結びに、本大会の開催に当たり格別の御尽力、御協力をいただいた愛知県、名古屋市をはじめ、関係する多くの皆様に深く感謝申し上げます。

令和元年 11 月

防災推進国民大会 2019 実行委員会
（内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議）



目次

●開催概要

開催概要	5
大会データ	6
大会運営スケジュール	7

●出展団体リスト

1. セッション	9
2. ワークショップ（屋内）	10
3. ワークショップ（屋外）	11
4. プレゼンブース	11
5. プレゼンブース（中京テレビ）	13
6. ポスターセッション	13
7. テントブース	14
8. 屋外展示・屋外車両	15
9. ステージ	15
スケジュール	16
会場図	18

●セッション詳細

武田良太防災担当大臣挨拶	21
セッション詳細	22

●出展概要（セッション以外）

名古屋コンベンションホール屋内会場	
2F	42
3F	46
4F	57
屋外会場	
パークエリア	62
中京テレビ	70
キャナルゲートエリア	73
ぼうさいモーターショー	75

●その他展開

キッチンカー	78
周辺施設割引クーポン	79
ステージ	80

●制作物

チラシ・ポスター	82
当日プログラム	83
来場者配布物	85
出展団体サイン	86
運営備品	88

●広報施策

広報施策一覧	90
大会ホームページ	91
大会ホームページアクセスデータ	92
Facebook	95
Twitter	96
チラシ・ポスター配布先	97
報道結果：テレビ	98
報道結果：ラジオ・WEB	99
報道結果：新聞掲載	100
報道結果：其他媒体	101

●アンケート

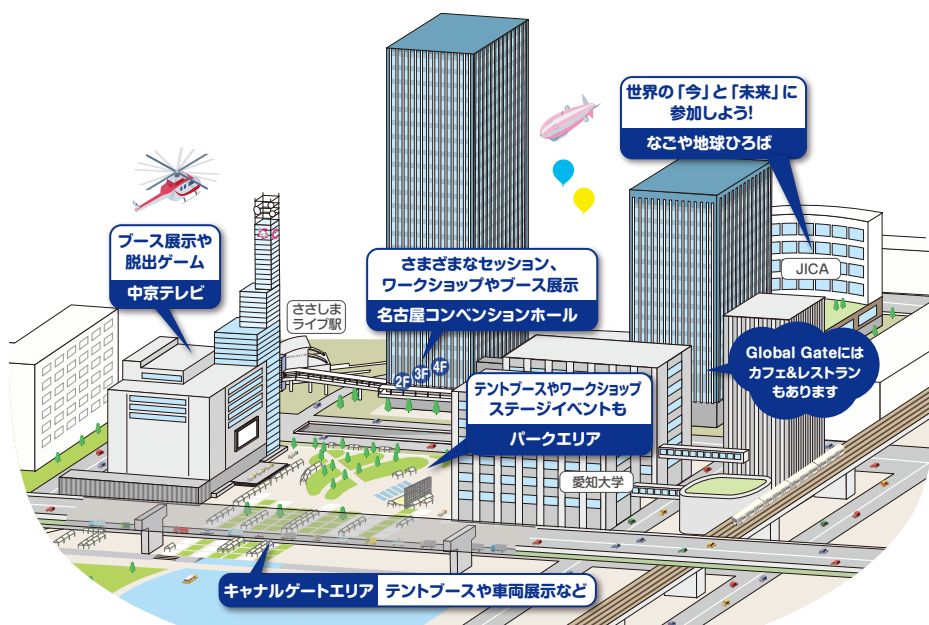
来場者アンケート	104
出展者アンケート	109
（あいち・なごや防災フェスタ出展団体分）	120

●記録写真

125

開催概要

- 名 称 **防災推進国民大会2019 (ぼうさいこくたい2019)**
正式な企画名称は「防災推進国民大会」になりますが、より国民になじみやすく覚えやすくするために、平仮名で「ぼうさいこくたい2019」と呼称します。
- テーマ **大規模災害に備える ～まなぶ・つながる・つよくなる～**
『防災を、もっと日常に』
- 開催趣旨 「自助・共助」、「多様な主体の連携」及び「地域における防災力の向上」を促進するため、国民の防災意識の向上、災害に関する知識や経験等の共有を図ることを主旨とします。
- 会 期 **2019年 10月19日(土) 10:00～18:00 ※屋外展示は16:00まで**
10月20日(日) 10:00～16:00
- 会 場 **名古屋市ささしまライブエリア**
名古屋コンベンションホール(名古屋市中村区平池町4-60-12 グローバルゲート2・3・4F)
パークエリア・チャネルゲートエリア(名古屋市中村区平池町4丁目)
中京テレビ【1Fエントランス、プラザC】(名古屋市中村区平池町4-60-11)



- 主 催 **防災推進国民大会2019実行委員会**(内閣府・防災推進協議会・防災推進国民会議)
- 同時開催 **「あいち・なごや防災フェスタ」**
- 企画・運営 **ぼうさいこくたい2019大会事務局** 内閣府政策統括官(防災担当) 付
ぼうさいこくたい2019運営事務局 株式会社CBCクリエイション
- 対 象 者 防災に関心のある方、学びたい方: 入場無料
- 大会サイト <http://bosai-kokutai.jp/>
- 大会ロゴ



大会データ

来場者数

10月19日(土)	10月20日(日)	合計
約8,000人	約7,000人	約15,000人

出展団体数

タイプ	内 容	団体数
① セッション	講演やトークセッションを来場者に聴かせるタイプ	28
② ワークショップ(屋内)	来場者参加のワークショップ	27
③ ワークショップ(屋外)		16
④ プレゼンブース	ブース前で出展者がミニプレゼンテーションを行うタイプ	51
⑤ プレゼンブース(中京テレビ)		15
⑥ ポスターセッション	パネルに展示を行うタイプ	30
⑦ テントブース	屋外テントでの展示ブース	33
⑧ 屋外展示	車両の展示やエリアを使用したミニイベント	11
⑨ ステージ	屋外ステージイベント	3
合計		216

【団体内訳】

	参加対象						団体種別												
	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け (学術界)	学生向け	子供向け	省庁	都道府県	市区町村	独立行政法人	公益法人	一般社団法人	大学・研究機関	高等学校	小中学校	企業	NPO・NGO	その他	
①	22	9	11	3	5	0	8	0	1	1	3	1	4	1	0	1	2	6	
②	23	0	8	1	3	11	2	0	1	1	2	3	2	0	0	6	5	7	
③	12	6	9	0	1	2	0	0	2	0	2	1	0	0	0	2	4	5	
④	36	17	33	4	2	1	3	1	3	2	2	8	5	1	0	16	5	5	
⑤	13	5	8	0	1	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	6	1	5	
⑥	25	4	11	6	3	6	4	0	0	0	4	5	1	1	1	9	2	3	
⑦	24	13	21	1	1	3	1	1	0	1	0	5	0	0	0	17	4	4	
⑧	9	2	10	1	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	7	0	0	
⑨	3	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	
合計	167	56	111	16	17	27	21	3	7	5	14	26	12	3	1	64	24	36	

【キーワード】

	キーワード																					
	地震・火山	風水害	科学・技術	災害情報	都市・建築・住宅	通信	ゲーム	備蓄・グッズ	災害教訓・伝承	教育	医療・福祉	ボランティア	防災行政	国際	避難・避難所	南海トラフ	地域防災	災害廃棄物	自助・共助	企業防災	ペット	その他
①	5	4	2	3	1	0	0	0	3	4	1	2	4	1	4	10	3	1	3	1	0	0
②	8	5	1	0	4	0	5	3	4	11	0	3	0	0	5	0	0	0	1	0	0	1
③	4	1	0	1	2	1	1	4	5	4	2	1	3	0	1	0	0	0	0	1	0	0
④	13	6	5	13	4	1	0	3	9	8	3	3	12	4	4	3	4	0	1	2	1	1
⑤	5	2	2	2	2	0	0	5	2	3	0	1	1	0	3	0	1	0	1	0	0	0
⑥	10	3	4	2	2	0	0	5	5	9	4	4	4	0	4	1	0	1	2	0	0	0
⑦	9	6	1	2	6	0	0	7	5	2	2	1	4	4	8	3	0	0	0	0	1	4
⑧	3	0	2	1	0	2	0	0	0	1	2	0	1	0	7	2	0	0	0	0	0	1
⑨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	2
合計	57	27	17	24	21	4	6	27	33	43	14	15	29	9	37	21	8	2	8	4	2	9

セッション登壇者数

10月19日(土)	10月20日(日)	合計
104	89	193

アンケート回収数 (あいち・なごや防災フェスタ分含む)

来場者アンケート	出展者アンケート
603	211

大会運営スケジュール

	出展団体対応	大会周知・広報
4月15日	出展公募開始	
4月18日	出展公募説明会①(東京)	
4月22日	出展公募説明会②(名古屋)	
4月25日		Web募集告知ver公開、フェイスブック更新
5月24日	出展公募締切	
6月14日		出展団体へ出展決定連絡
6月21日	出展団体「別添2」締切	
6月28日		出展団体へ出展決定連絡(追加分)
7月1日		Web本番verへ更新
7月3日	出展者説明会①(東京)	チラシ(片面ver.) 配布
7月5日		Webサイト更新
7月8日	出展者説明会②(名古屋)	チラシ(片面ver.) 配布
7月26日	出展団体「出展者フォーマット」締切	
7月31日		Web更新・リレー寄稿掲載
8月1日		内閣府・出展団体へポスター・チラシ発送
8月9日		愛知県・名古屋市・各団体へポスター・チラシ発送
8月5日	出展団体会場下見日	
8月14日		プレスリリース①(開催告知)
8月23日	出展団体「出展者フォーマット②」締切	
8月30日		Webサイト更新
9月6日	出展団体「当日パンフレット」校正	
9月5日	出展団体「出展者フォーマット③」締切①	
9月20日	出展団体「出展者フォーマット③」締切②	
9月27日	ステージ出展団体向け調査票締切	
9月30日		Webサイト更新
10月1日		運営マニュアル校了
10月4日	出展団体「コミットメント修正」提出締切	
10月8日		当日パンフレット校了
10月8日		プレスリリース②(取材依頼)
10月18日	前日設営	
10月19日	防災国民推進大会2019(ぼうさいこくたい2019)	
10月20日		
10月31日	出展者アンケート締切	

出展団体リスト

出展団体リスト

1.セッション

出展ID	出展場所	日時	出展団体名	タイトル	キーワード	対象
SS-01	3F メインホールA・B	19日 13:00	防災推進国民大会2019実行委員会	オープニングセッション		【全対象】
SS-02	3F メインホールA	19日 14:30	中日新聞社	『わたしの証言～記憶をつなぐ』	【風水害】 【災害教訓・伝承】	【一般向け】 【学生向け】
SS-03	3F メインホールA	19日 16:30	内閣府	地区防災計画のこれからを考える	【防災行政】 【地域防災】	【一般向け】 【学生向け】
SS-04	3F メインホールB	19日 14:30	公益財団法人日本消防協会	女性パワーが活きる地域防災	【地域防災】 【自助・共助】	【一般向け】 【自治体向け】
SS-05	3F メインホールB	19日 16:30	防災学術連携体、日本学術会議・防災減災学術連携委員会	あなたが知りたい防災科学の最前線	【風水害】 【科学・技術】	【一般向け】 【自治体向け】
SS-06	3F 301	19日 10:30	三の丸地区再整備研究会	大規模災害に備えた広域連携機能の強化	【都市・建築・住宅】 【防災行政】	【一般向け】 【企業向け】
SS-07	3F 301	19日 14:30	防災教育チャレンジプラン実行委員会	防災教育交流会	【教育】 【南海トラフ】	【一般向け】 【学生向け】
SS-08	3F 301	19日 16:30	公益社団法人日本医師会	災害と医療～レジリエントな地域づくりとは	【医療・福祉】 【避難・避難所】	【一般向け】 【自治体向け】
SS-09	3F 302	19日 10:30	岐阜聖徳学園高校	「第2回 全国高校生地域防災サミット in 名古屋」	【災害教訓・伝承】 【教育】	【一般向け】 【学生向け】
SS-10	3F 302	19日 14:30	内閣府	難解? 何回? 南海トラフ地震を迎え撃て!	【防災行政】 【南海トラフ】	【一般向け】 【自治体向け】
SS-11	3F 302	19日 16:30	NSL マスメディアと研究者による地震災害軽減に関する懇話会	本音で語り合う! 巨大台風・地震への備え	【地震・火山】 【災害情報】	【一般向け】
SS-12	4F 405	19日 10:30	南海トラフ広域地震防災研究プロジェクト (国立研究開発法人海洋研究開発機構)	南海トラフ巨大地震研究と減災対応	【防災行政】 【南海トラフ】	【企業向け】 【自治体向け】
SS-13	4F 405	19日 14:30	東北大学災害科学国際研究所	東日本大震災のアーカイブと教訓の活用・発信	【地震・火山】 【災害教訓・伝承】	【企業向け】 【自治体向け】
SS-14	4F 405	19日 16:30	環境省	D.Waste-Net 災害廃棄物処理に民間力を!	【南海トラフ】 【災害廃棄物】	【企業向け】 【自治体向け】
SS-16	3F メインホールA	20日 10:00	内閣府/南海トラフ地震対策中部圏戦略会議	ハイレベルセッション・南海トラフ巨大地震へのソナエ	【地震・火山】 【南海トラフ】	【一般向け】 【企業向け】
SS-17	3F メインホールA	20日 12:30	名古屋市、内閣府、国土交通省庄内川河川事務所	水害から“にげきる”	【風水害】 【避難・避難所】	【一般向け】 【企業向け】
SS-18	3F メインホールB	20日 10:00	独立行政法人国際協力機構(JICA)	南海トラフ地震に国際協力の経験を活かす!	【国際】 【南海トラフ】	【一般向け】
SS-19	3F メインホールB	20日 12:30	一般社団法人日本損害保険協会	『南海トラフ地震』への対策と備え	【南海トラフ】 【自助・共助】	【一般向け】 【自治体向け】
SS-20	3F 301	20日 10:00	公益財団法人味の素ファンデーション	“いざ”という時どうなる? あなたの食と栄養	【避難・避難所】 【自助・共助】	【一般向け】 【自治体向け】
SS-21	3F 301	20日 12:30	特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)	3者連携の多様なカタチ	【災害情報】 【ボランティア】	【企業向け】 【自治体向け】
SS-22	3F 302	20日 10:00	日本学術会議	災害を科学と語り継ぎ未来を生きる	【風水害】 【南海トラフ】	【一般向け】 【専門家向け(学術系)】
SS-23	3F 302	20日 12:30	東海圏減災研究コンソーシアム	大学連携による地域防災への貢献:その現状と課題	【科学・技術】 【教育】	【一般向け】 【専門家向け(学術系)】
SS-24	4F 405	20日 10:00	国際大学グローバル・コミュニケーション・センター (GLOCOM)	データ連携で「やみくも防災」から脱却!	【災害情報】 【避難・避難所】	【企業向け】 【自治体向け】
SS-25	4F 405	20日 12:30	特定非営利活動法人事業継続推進機構	事業継続普及セミナー	【地震・火山】 【企業防災】	【一般向け】 【企業向け】
SS-30	4F 407	19日 10:30	TEAM防災ジャパン	防災情報を正しく楽しくお伝えするために	【地域防災】	【一般向け】 【専門家向け(学術系)】
SS-31	4F 406・407	19日 14:30	防災人材交流シンポジウム実行委員会	防災人材交流シンポジウム(つなぎ舎)	【地震・火山】 【ボランティア】	【一般向け】 【学生向け】
SS-32	4F 407	20日 9:00	防災教育チャレンジプラン実行委員会	防災教育チャレンジプラン実践団体 中間報告	【教育】 【南海トラフ】	【一般向け】 【学生向け】
SS-15	3F メインホールA・B	20日 14:30	防災推進国民大会2019実行委員会	クロージングセッション		【全対象】

出展団体リスト

2.ワークショップ(屋内)

出展ID	出展場所	日時	出展団体名	タイトル	キーワード	対象
WS-01	2F 201	19日 10:30	災害ボランティア愛・知・人	自分のできる!被災屋根の応急処置	【ボランティア】 【その他】	【一般向け】 【自治体向け】
WS-02	2F 201	19日 14:30	認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード	私にもできる!命と健康を守る避難所運営	【ボランティア】 【避難・避難所】	【一般向け】 【自治体向け】
WS-03	2F 201	19日 16:30	内閣府	液体ミルクの防災への活用について	【避難・避難所】 【備蓄・グッズ】	【一般向け】 【自治体向け】
WS-04	4F 408A	19日 10:30	国土交通省中部地方整備局	遊んで楽しく防災について学ぼう!	【風水害】 【教育】	【一般向け】 【子ども向け】
WS-05	4F 408A	19日 14:30	中部電力株式会社	おもしろ工作「電池チェッカーづくり」	【科学・技術】 【教育】	【子ども向け】
WS-06	4F 408A	19日 16:30	シャチハタ株式会社	防災・減災スタンプラリー	【教育】	【一般向け】 【子ども向け】
WS-07	4F 408B	19日 10:30	生活協同組合コープあいち	家庭の防災・備蓄品について考えよう	【地震・火山】 【備蓄・グッズ】	【一般向け】
WS-08	4F 408B	19日 14:30	東邦ガス株式会社	エネルギーや防災について学ぼう	【都市・建築・住宅】 【教育】	【子ども向け】
WS-09	4F 408B	19日 16:30	一般社団法人Do It Yourself	電子工作×防災課題「雨量計をつくろう」	【風水害】	【一般向け】 【子ども向け】
WS-10	4F 409A	19日 10:30	日本赤十字社	今日から始めよう!あなたが気づき、考え、実行する防災	【風水害】 【自助・共助】	【一般向け】
WS-11	4F 409A	19日 14:30	福祉救援ボランティア「こだま」	避難所DIG	【ゲーム】 【ボランティア】	【一般向け】
WS-12	4F 409A	19日 16:30	NPO法人高齢者住まいの研究会	「災害想定ゲームKIZUKI」体験会	【地震・火山】 【ゲーム】	【一般向け】 【自治体向け】
WS-13	4F 409B	19日 10:30	名古屋大学減災連携研究センター	名古屋大学げんさいカフェ in ぼうさいこくたい	【地震・火山】 【災害教訓・伝承】	【一般向け】 【学生向け】
WS-14	4F 409B	19日 14:30	独立行政法人都市再生機構	災害に強いまちづくりワークショップ	【地震・火山】 【都市・建築・住宅】	【自治体向け】 【学生向け】
WS-15	4F 409B	19日 16:30	逃げ地図づくりプロジェクトチーム	防災まちづくりの起点になる逃げ地図づくり	【教育】 【避難・避難所】	【一般向け】 【自治体向け】
WS-16	2F 201	20日 10:00	マンションサポートあいち	今すぐ準備! マンション「在宅避難」	【地震・火山】 【避難・避難所】	【一般向け】 【自治体向け】
WS-17	2F 201	20日 12:30	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター	日本の災害伝承ミュージアムの今日の状況	【地震・火山】 【災害教訓・伝承】	【一般向け】 【専門家向け(学術系)】
WS-18	4F 408A	20日 10:00	名古屋市役所、国土交通省庄内川河川事務所	おやこで学ぶ!“いち”からふうすいがい	【風水害】 【教育】	【子ども向け】
WS-19	4F 408A	20日 12:30	一般社団法人防災教育普及協会	防災クイズ&ゲームDay in ぼうさいこくたい2019	【ゲーム】 【教育】	【一般向け】 【子ども向け】
WS-20	4F 408B	20日 10:00	こくみん共済 coop〈全労済〉	たのしく学ぼう!災害とわたしたちにできること	【災害教訓・伝承】 【教育】	【一般向け】 【子ども向け】
WS-21	4F 408B	20日 12:30	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	防災ジャパンプロジェクト(防災ワークショップ)	【ゲーム】 【教育】	【一般向け】 【子ども向け】
WS-22	4F 409A	20日 10:00	公益財団法人ボーイスカウト日本連盟	日用品を使って防災アイテムを作ろう!	【ゲーム】 【備蓄・グッズ】	【一般向け】 【子ども向け】
WS-23	4F 409A	20日 12:30	株式会社明石スクールユニフォームカンパニー	災害発生、さあどうする!?～時系列で考える災害対応～	【地震・火山】 【教育】	【一般向け】 【学生向け】
WS-24	4F 409B	20日 10:00	特定非営利活動法人ウェザーフロンティア東海	みずから命を守る!避難行動ワークショップ	【風水害】 【避難・避難所】	【一般向け】 【自治体向け】
WS-25	4F 409B	20日 12:30	(一社)日本建築構造技術者協会中部支部 (JSCA中部支部)	「今度、マンションつくるの!」	【地震・火山】 【都市・建築・住宅】	【一般向け】
WS-30	4F 406	20日 10:00	ぼうさいこくたい2019関連事業実行委員会	巨大地図とストローとお菓子でおいしく学ぼう?!	【都市・建築・住宅】 【教育】	【一般向け】 【子ども向け】
WS-31	4F 406・407	20日 12:30	ぼうさいこくたい2019関連事業実行委員会	地域の災害を伝える全国の地元新聞	【災害教訓・伝承】	【一般向け】

3.ワークショップ(屋外)

出展ID	出展場所	日時	出展団体名	タイトル	キーワード	対象
W1-11	パークエリア W1テント	19日 10:30	特定非営利活動法人地図で防災・まちづくりサポート	地図がオタクで役に立つ 地図で楽しく防災を	【災害教訓・伝承】 【防災行政】	【一般向け】 【自治体向け】
W1-12	パークエリア W1テント	19日 14:30	一般財団法人危機管理教育&演習センター	てこの原理を活用した救出方法の実演と体験	【地震・火山】 【教育】	【一般向け】 【企業向け】
W2-11	パークエリア W2テント	19日 10:30	災害関連死ゼロを目指す防災衛生会議	災害関連死ゼロを目指す「防災衛生」の進め方	【医療・福祉】 【避難・避難所】	【一般向け】 【自治体向け】
W2-12	パークエリア W2テント	19日 14:30	NPO法人日本ジオパークネットワーク	大地の成り立ちから知る防災のヒント	【災害教訓・伝承】 【教育】	【一般向け】
W3-11	パークエリア W3テント	19日 10:30	防災専門図書館(公社 全国市有物件災害共済会)	「防災いろはかるた」で遊ぼう!	【ゲーム】 【教育】	【一般向け】 【子ども向け】
W3-12	パークエリア W3テント	19日 14:30	NPO法人達人塾ねっと	あなたの住宅も安価に耐震改修	【地震・火山】 【都市・建築・住宅】	【一般向け】 【自治体向け】
W4-11	パークエリア W4テント	19日 10:30	一般社団法人日本森の十字社	備蓄木で炊き出し用の薪を作ろう!	【地震・火山】 【備蓄・グッズ】	【一般向け】 【企業向け】
W4-12	パークエリア W4テント	19日 14:30	アイコム株式会社	災害時のBCPに頼れる無線機たち	【通信】	【企業向け】 【自治体向け】
W1-21	パークエリア W1テント	20日 10:00	公益財団法人名古屋まちづくり公社名古屋都市センター	まちづくり情報システムで発見!まちの特徴	【災害情報】 【都市・建築・住宅】	【一般向け】 【自治体向け】
W1-22	パークエリア W1テント	20日 12:30	愛知・川の会	川筋の変遷とその痕跡から防災を考えよう	【災害教訓・伝承】 【教育】	【一般向け】 【自治体向け】
W2-21	パークエリア W2テント	20日 10:00	日本福祉防災楽会	社会福祉施設の災害対応力 新たなネットワーク!	【地震・火山】 【医療・福祉】	【一般向け】
W2-22	パークエリア W2テント	20日 12:30	社会福祉法人共生福祉会	防災用品のご紹介	【備蓄・グッズ】 【防災行政】	【企業向け】 【自治体向け】
W3-21	パークエリア W3テント	20日 10:00	日本防災産業会議	防災・災害対応における企業の役割	【災害教訓・伝承】 【企業防災】	【企業向け】 【自治体向け】
W3-22	パークエリア W3テント	20日 12:30	四日市市	ー「チーム四日市」～学生消防団員の活躍ー	【ボランティア】 【防災行政】	【一般向け】 【学生向け】
W4-21	パークエリア W4テント	20日 10:00	まいにち株式会社	災害用トイレ「マイレット」	【備蓄・グッズ】 【災害教訓・伝承】	【企業向け】 【自治体向け】
W4-22	パークエリア W4テント	20日 12:30	名古屋市	わたしの家の「びちく力」をはかろう!	【備蓄・グッズ】 【教育】	【一般向け】 【子ども向け】

4.プレゼンブース

出展ID	出展場所	日時	出展団体名	タイトル	キーワード	対象
PR-01	コンベンション 2F	両日	ナカシャクリエイト株式会社	見て・触って・考える!防災情報コンテンツ防災+α	【災害情報】 【南海トラフ】	【企業向け】 【自治体向け】
PR-02	コンベンション 2F	両日	四国西予ジオパーク推進協議会	平成30年7月豪雨災害の現状と今後の取り組み	【風水害】 【災害教訓・伝承】	【一般向け】 【自治体向け】
PR-03	コンベンション 2F	両日	一般社団法人72時間サバイバル教育協会	子どもが主体的に減災を担う72時間サバイバル教育	【教育】 【地域防災】	【一般向け】 【自治体向け】
PR-04	コンベンション 2F	両日	一般社団法人日本ドローンコンソーシアム	防災分野におけるドローン利用最前線	【科学・技術】 【災害情報】	【一般向け】 【自治体向け】
PR-05	コンベンション 2F	両日	特定非営利活動法人RCレスキューベンジャミン隊	災害時におけるドローン活用術	【地震・火山】 【風水害】	【一般向け】 【自治体向け】
PR-06	コンベンション 2F	両日	株式会社トッパン・コスモ	「音のバリアフリー」「IoT」「VR」による防災支援	【災害情報】 【防災行政】	【企業向け】 【自治体向け】
PR-07	コンベンション 2F	両日	株式会社白獅子	「子供用防災VR」未来の希望を守れ!	【地震・火山】 【風水害】	【企業向け】 【自治体向け】
PR-08	コンベンション 2F	両日	三信電気株式会社	映像を用いた被災状況の把握	【災害情報】 【防災行政】	【企業向け】 【自治体向け】
PR-09	コンベンション 2F	両日	一般社団法人日本非常食推進機構	SDGsに寄与する防災備蓄品の活用	【防災行政】 【企業防災】	【企業向け】 【自治体向け】
PR-10	コンベンション 2F	両日	株式会社リブライト	出張防災工作教室～来場者数UPのお手伝い!～	【科学・技術】 【教育】	【企業向け】 【自治体向け】
PR-11	コンベンション 2F	両日	特定非営利活動法人都市環境標識協会	次世代型デジタルサイネージ式避難誘導標識	【災害情報】 【避難・避難所】	【一般向け】 【自治体向け】
PR-12	コンベンション 3F	両日	環境省自然環境局総務課動物愛護管理室	災害、あなたとペットは大丈夫?	【地震・火山】 【ペット】	【一般向け】
PR-13	コンベンション 3F	両日	LACITA	新時代の防災必需品「ポータブル電源」	【地震・火山】 【風水害】	【一般向け】 【自治体向け】
PR-14	コンベンション 3F	両日	株式会社ドリームエンジン	備蓄中に劣化しない非常用電池	【地震・火山】 【備蓄・グッズ】	【企業向け】 【自治体向け】
PR-15	コンベンション 3F	両日	一般社団法人日本防災プラットフォーム	日本の防災技術で世界の災害リスク削減に貢献!	【国際】 【企業防災】	【企業向け】 【自治体向け】
PR-16	コンベンション 3F	両日	静岡県、静岡県防災用品普及促進協議会	災害に立ち向う 静岡県の備え	【災害情報】 【防災行政】	【一般向け】 【自治体向け】

出展団体リスト

PR-17	コンベンション 3F	両日	西三河防災減災連携研究会	災害に強い地域づくり～市町を越えた取組～	【防災行政】 【南海トラフ】	【一般向け】 【自治体向け】
PR-18	コンベンション 3F	両日	南海トラフ広域地震防災研究プロジェクト (国立研究開発法人海洋研究開発機構)	南海トラフ広域地震防災研究プロジェクト	【災害情報】 【南海トラフ】	【企業向け】 【自治体向け】
PR-19	コンベンション 3F	両日	広島市	避難を考える レベル4でも避難が“いたい”理由	【風水害】 【防災行政】	【一般向け】 【自治体向け】
PR-20	コンベンション 3F	両日	鹿児島市危機管理局危機管理課	火山防災トップシティ かごしま市	【地震・火山】 【防災行政】	【一般向け】 【専門家向け(学術系)】
PR-21	コンベンション 3F	両日	一般社団法人危機管理・労働災害防止機構(危災防)	安全だけでなく安心できないを考える	【地震・火山】 【教育】	【一般向け】 【企業向け】
PR-22	コンベンション 3F	両日	福島大学つくしまふくしま未来支援センター	福島から発信する防災教育	【教育】 【避難・避難所】	【一般向け】 【自治体向け】
PR-23	コンベンション 3F	両日	公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構	東日本大震災・原子力災害 伝承館	【災害教訓・伝承】 【防災行政】	【一般向け】 【自治体向け】
PR-24	コンベンション 3F	両日	国連防災機関(UNDRR) 国際復興支援プラットフォーム(IRP)	防災に関するグローバルな取り組み	【国際】 【その他】	【一般向け】 【専門家向け(学術系)】
PR-25	コンベンション 3F	両日	宮城県多賀城高等学校	世界と、未来に発信する防災減災教育	【災害教訓・伝承】 【教育】	【一般向け】 【自治体向け】
PR-26	コンベンション 3F	両日	東北学院大学災害ボランティアステーション、尚絅学院大学ボランティアステーション 復興大学災害ボランティアステーション、大学間連携災害ボランティアネットワーク	災害時の社会資源としての学生ボランティア	【災害教訓・伝承】 【ボランティア】	【一般向け】 【学生向け】
PR-27	コンベンション 3F	両日	日本労働組合総連合会(連合)	連合災害救援ボランティア 活動の軌跡	【災害教訓・伝承】 【ボランティア】	【一般向け】
PR-28	コンベンション 3F	両日	一般社団法人福祉防災コミュニティ協会	みんな元気になる福祉避難所	【医療・福祉】 【避難・避難所】	【一般向け】 【自治体向け】
PR-29	コンベンション 3F	両日	多文化防災ネットワーク愛知・名古屋(TABOネット)	「多文化防災」の取組み～つなげる・伝える・作りだす	【災害情報】 【ボランティア】	【一般向け】
PR-30	コンベンション 3F	両日	株式会社ブリックス	多言語コールセンターの災害時の情報発信	【地震・火山】 【災害情報】	【企業向け】 【自治体向け】
PR-31	コンベンション 3F	両日	一般財団法人自治体国際化協会(クレア CLAIR)	災害時の外国人支援～多言語表示シートなど	【防災行政】 【国際】	【一般向け】 【自治体向け】
PR-32	コンベンション 3F	両日	株式会社ゼンリン	まちを知って身を守ろう～地図×防災～	【防災行政】 【地域防災】	【一般向け】 【自治体向け】
PR-33	コンベンション 3F	両日	国立研究開発法人情報通信研究機構 耐災害ICT 研究センター	災害に強い情報通信技術の構築に向けて	【災害情報】 【通信】	【一般向け】 【自治体向け】
PR-34	コンベンション 3F	両日	総務省	災害情報の配信を支えるLアラート	【災害情報】 【防災行政】	【一般向け】 【企業向け】
PR-35	コンベンション 3F	両日	清流の国ぎふ防災・減災センター	岐阜県内の地域・大学・行政の連携と防災活動	【地域防災】 【自助・共助】	【一般向け】 【自治体向け】
PR-36	コンベンション 3F	両日	国土交通省国土地理院	“防災地理情報”を地域防災に役立てよう	【災害情報】 【災害教訓・伝承】	【一般向け】 【自治体向け】
PR-37	コンベンション 3F	両日	NPO法人日本ジオパークネットワーク	大地の成り立ちから知る防災のヒント	【災害教訓・伝承】 【教育】	【一般向け】
PR-38	コンベンション 3F	両日	国立国会図書館	東日本大震災アーカイブ(ひなぎく)	【地震・火山】 【災害教訓・伝承】	【一般向け】
PR-39	コンベンション 3F	両日	特定非営利活動法人日本防災士会	「防災士資格の紹介」と、地域防災力向上	【災害教訓・伝承】 【教育】	【一般向け】 【企業向け】
PR-40	コンベンション 3F	両日	東北大学災害科学国際研究所	地震津波リスク研究と防災減災教育・啓発	【地震・火山】 【教育】	【一般向け】 【自治体向け】
PR-41	コンベンション 3F	両日	高知工科大学	インフラサウンド観測による防災への活用	【地震・火山】 【科学・技術】	【自治体向け】 【専門家向け(学術系)】
PR-42	コンベンション 3F	両日	日本工営株式会社	地域ができるリスコミづくり	【国際】 【地域防災】	【一般向け】 【学生向け】
PR-43	コンベンション 3F	両日	国立研究開発法人防災科学技術研究所	線状降水帯対策最前線/空から見る伊勢湾台風	【科学・技術】 【災害情報】	【一般向け】 【専門家向け(学術系)】
PR-44	コンベンション 3F	両日	一般社団法人全国建設業協会	「つくる!なおす!まもる!地域建設業の取り組み」	【風水害】 【防災行政】	【一般向け】 【自治体向け】
PR-45	コンベンション 3F	両日	株式会社中電シーティーアイ	ICTで防災・減災、災害に備える最新技術	【地震・火山】 【都市・建築・住宅】	【企業向け】 【自治体向け】
PR-46	コンベンション 3F	両日	三信建設工業株式会社	未来届けよう 三信建設工業の地盤処理技術	【科学・技術】 【都市・建築・住宅】	【企業向け】 【自治体向け】
PR-47	コンベンション 3F	両日	地盤工学会中部支部 地盤品質判定士会中部支部設立準備会	宅地の地盤災害防止への備え	【地震・火山】 【都市・建築・住宅】	【一般向け】
PR-48	コンベンション 4F	両日	株式会社ヤマト	純国産の管理医療機器「ゴールドフィンガー」	【医療・福祉】	【一般向け】 【企業向け】
PR-49	コンベンション 4F	両日	株式会社メルシー	管理医療機器「エスコート・H」	【医療・福祉】	【一般向け】
PR-50	コンベンション 4F	両日	アクアテック株式会社	水は買わずに作る時代!湧き出る泉をご提供	【備蓄・グッズ】 【避難・避難所】	【一般向け】 【自治体向け】
PR-51	コンベンション 4F	両日	大丸鐵興株式会社	災害に備えた水対策	【都市・建築・住宅】 【備蓄・グッズ】	【一般向け】 【企業向け】

5.プレゼンブース (中京テレビ)

CR-01	中京テレビ	両日	YY防災	地域と学校の防災とは 経験者がお伝えします	【地震・火山】 【避難・避難所】	【一般向け】 【自治体向け】
CR-02	中京テレビ	両日	株式会社ユタカメイク	災害時に使用する応急屋根材	【地震・火山】 【風水害】	【一般向け】 【企業向け】
CR-03	中京テレビ	両日	機能ガラス普及推進協議会	窓を防災安全ガラスにして災害への備えを。	【地震・火山】 【都市・建築・住宅】	【一般向け】 【自治体向け】
CR-04	中京テレビ	両日	加賀産業株式会社	災害時のヘルメット着用効果とその必要性	【地震・火山】 【備蓄・グッズ】	【一般向け】 【企業向け】
CR-05	中京テレビ	両日	株式会社PKウェーブ	災害関連死を減らすためにできること	【備蓄・グッズ】 【避難・避難所】	【一般向け】 【企業向け】
CR-06	中京テレビ	両日	株式会社MT-NET	南海トラフ地震に備える!地域と企業の災害備蓄	【地震・火山】 【備蓄・グッズ】	【一般向け】 【企業向け】
CR-07	中京テレビ	両日	アールシーソリューション株式会社	アプリを活用した避難支援に関する実験報告	【科学・技術】 【災害情報】	【一般向け】
CR-08	中京テレビ	両日	愛知県ブライチ事務局	ブライチ 〜歴史と地形から愛知を知る〜	【風水害】 【災害情報】	【一般向け】 【自治体向け】
CR-09	中京テレビ	両日	国土交通省国土技術政策総合研究所	道や川や街の「ぼうさい」	【科学・技術】 【都市・建築・住宅】	【一般向け】 【子ども向け】
CR-10	中京テレビ	両日	三重県・三重大学 みえ防災・減災センター	災害体験談や防災紙芝居紹介(アーカイブ)	【地域防災】 【自助・共助】	【一般向け】 【子ども向け】
CR-11	中京テレビ	両日	一般社団法人防災ジオラマ推進ネットワーク	段ボールジオラマ防災授業	【災害教訓・伝承】 【教育】	【一般向け】 【子ども向け】
CR-12	中京テレビ	両日	認定NPO法人はままつ子育てネットワークびび	発災後の乳幼児支援『つながる支援バック』の取り組み	【備蓄・グッズ】 【防災行政】	【企業向け】 【自治体向け】
CR-13	中京テレビ	両日	『いつか君の花明かりには』製作委員会	防災啓発ドキュメンタリー映画『いつか君の花明かりには』	【災害教訓・伝承】 【教育】	【一般向け】 【自治体向け】
CR-14	中京テレビ	両日	静岡大学学生防災ネットワーク	地域ネットワークの中の学生防災団体	【教育】 【ボランティア】	【一般向け】 【学生向け】
CR-15	中京テレビ	両日	エビスタ・コーポレーション/株式会社ブリート	ノンアルコール化粧品ウエットティッシュ	【備蓄・グッズ】 【避難・避難所】	【一般向け】 【自治体向け】

6.ポスターセッション

出展ID	出展場所	日時	出展団体名	タイトル	キーワード	対象
PO-01	コンベンション 2F	両日	日本赤十字社	自助・共助の力を高める赤十字防災セミナー	【教育】 【自助・共助】	【一般向け】 【子ども向け】
PO-02	コンベンション 2F	両日	国立歴史民俗博物館	歴史文化資料保全ネットワーク:文化の防災	【科学・技術】 【教育】	【一般向け】 【自治体向け】
PO-03	コンベンション 2F	両日	日本地震工学会	日本地震工学会の活動紹介	【地震・火山】 【災害情報】	【専門家向け(学術系)】
PO-04	コンベンション 2F	両日	公益社団法人日本地震学会	「地震」の研究最前線を伝える	【地震・火山】 【科学・技術】	【一般向け】 【自治体向け】
PO-05	コンベンション 2F	両日	地震調査研究推進本部/文部科学省	地震調査研究推進本部の取り組み	【地震・火山】 【防災行政】	【一般向け】 【自治体向け】
PO-06	コンベンション 3F	両日	WPPグループ Japan Pet Press	命を守る社会の構築-災害とペット	【医療・福祉】 【避難・避難所】	【一般向け】 【子ども向け】
PO-07	コンベンション 3F	両日	一般社団法人ビル減災研究所	帰宅困難者のあなたに!	【都市・建築・住宅】 【教育】	【一般向け】 【企業向け】
PO-08	コンベンション 3F	両日	有限会社くらや	「救命扉」で閉じ込められても脱出救出は簡単	【都市・建築・住宅】 【南海トラフ】	【一般向け】 【専門家向け(学術系)】
PO-09	コンベンション 3F	両日	竹内工業株式会社	備えよう!災害救助用ジャッキ	【地震・火山】 【備蓄・グッズ】	【一般向け】 【自治体向け】
PO-10	コンベンション 3F	両日	一般社団法人愛知県産業廃棄物協会	災害廃棄物処理協力体制による早期復旧支援	【災害教訓・伝承】 【産業廃棄物】	【一般向け】 【自治体向け】
PO-11	コンベンション 3F	両日	農林水産省	災害時に備えて食品の家庭備蓄を始めよう	【備蓄・グッズ】 【防災行政】	【一般向け】
PO-12	コンベンション 3F	両日	江崎グリコ株式会社	国内初!国産液体ミルクのご紹介	【備蓄・グッズ】 【医療・福祉】	【一般向け】 【自治体向け】
PO-13	コンベンション 3F	両日	名古屋みずほ災害ボランティアネットワーク	防災啓発ソング&世界のこころ 神社ワイン	【災害教訓・伝承】 【教育】	【一般向け】 【子ども向け】
PO-14	コンベンション 3F	両日	民間防災名古屋(SEED合同会社)	防災服・災害復興支援作業服の提案	【ボランティア】 【防災行政】	【一般向け】
PO-15	コンベンション 3F	両日	株式会社LCトレーディング	事故・災害時の止血に!緊急止血用「J-PAD」	【備蓄・グッズ】 【医療・福祉】	【企業向け】 【自治体向け】
PO-16	コンベンション 3F	両日	株式会社ハタヤリミテッド	LED照明・コードリールでできる防災備蓄	【備蓄・グッズ】 【避難・避難所】	【一般向け】 【自治体向け】
PO-17	コンベンション 3F	両日	岐阜県御嵩町立上之郷中学校	学校がつながる「防災・減災」への取り組み	【災害教訓・伝承】 【教育】	【一般向け】 【学生向け】

出展団体リスト

PO-18	コンベンション 3F	両日	岐阜聖徳学園高校	「第2回 全国高校生地域防災サミット in 名古屋」	【災害教訓・伝承】 【教育】	【一般向け】 【学生向け】
PO-19	コンベンション 3F	両日	名古屋学芸大学	被災地活動での名古屋学芸大学学生の学び	【教育】 【ボランティア】	【一般向け】 【学生向け】
PO-20	コンベンション 3F	両日	2市3町防災ひろめ隊	迫りくる南海トラフ大地震への備えにむけて	【地震・火山】 【ボランティア】	【一般向け】 【自治体向け】
PO-21	コンベンション 3F	両日	一般社団法人DroneAI技術研究機構	災害復興および防災の新しい技術	【災害情報】 【ボランティア】	【一般向け】 【専門家向け(学術系)】
PO-22	コンベンション 3F	両日	公益社団法人日本医師会	災害と医師会	【防災行政】 【避難・避難所】	【一般向け】 【自治体向け】
PO-23	コンベンション 3F	両日	NPO法人土砂災害防止広報センター	土砂災害から身を守る「サキモリ(先守)」	【風水害】 【避難・避難所】	【一般向け】 【自治体向け】
PO-24	コンベンション 3F	両日	日本地球惑星科学連合(JpGU)	日本地球惑星科学連合(JpGU)の活動	【地震・火山】 【科学・技術】	【一般向け】 【専門家向け(学術系)】
PO-25	コンベンション 3F	両日	リアルタイム地震・防災情報利用協議会(REIC)	「リアルタイム地震被害推定情報」の実用化	【地震・火山】 【科学・技術】	【一般向け】 【専門家向け(学術系)】
PO-26	コンベンション 3F	両日	MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社	増加する災害に対して保険会社ができること	【地震・火山】 【風水害】	【一般向け】 【自治体向け】
PO-27	コンベンション 3F	両日	一般社団法人日本建設業連合会	建設会社の防災活動	【地震・火山】 【風水害】	【一般向け】 【子ども向け】
PO-28	コンベンション 3F	両日	一般社団法人静岡県建設コンサルタンツ協会	静岡県防災的公園ガイド「CONPA」	【災害教訓・伝承】 【教育】	【一般向け】 【子ども向け】
PO-29	コンベンション 2F	両日	内閣府	内閣府防災の活動	【地震・火山】 【防災行政】	【企業向け】
PO-30	コンベンション 4F	両日	内閣府・防災推進協議会	第34回防災ポスターコンクール受賞作品	【教育】 【自助・共助】	【一般向け】 【子ども向け】

7.テントブース

出展ID	出展場所	日時	出展団体名	タイトル	キーワード	対象
TE-01	パーク エリア	両日	応用地質株式会社	相手を知り己を知って巨大災害を生き延びる	【地震・火山】 【災害情報】	【企業向け】 【自治体向け】
TE-02	パーク エリア	両日	一般財団法人日本気象協会	豪雨・暴風疑似体験学習「ヘラセオン」	【風水害】 【教育】	【一般向け】 【子ども向け】
TE-03	パーク エリア	両日	気象庁名古屋地方気象台	災害から身を守るための防災気象情報	【災害情報】 【防災行政】	【一般向け】
TE-04	パーク エリア	両日	名古屋港管理組合	名古屋港の防災施設について	【防災行政】	【一般向け】 【企業向け】
TE-05	パーク エリア	両日	熊本県	熊本地震から3年～復旧・復興と、教訓の伝承～	【地震・火山】 【災害教訓・伝承】	【一般向け】 【自治体向け】
TE-06	パーク エリア	両日	愛知県弁護士会	災害に対し、法や弁護士ができること	【防災行政】 【その他】	【一般向け】 【自治体向け】
TE-07	パーク エリア	両日	NPO法人日本防災用品技術研究協会	避難用「手押し車」試乗体験会	【地震・火山】 【南海トラフ】	【一般向け】 【自治体向け】
TE-08	パーク エリア	両日	特定非営利活動法人みやぎセルブ協働受注センター	3.11ソレカラ	【地震・火山】 【災害教訓・伝承】	【一般向け】
TE-09	パーク エリア	両日	株式会社明治ゴム化成	「災害時の水の供給」と「ゲリラ豪雨対策」	【風水害】 【都市・建築・住宅】	【一般向け】 【企業向け】
TE-10	パーク エリア	両日	ビット・パーク株式会社	「解錠Box」、「廃プラ油化装置」で応災支援	【風水害】 【防災行政】	【一般向け】
TE-11	パーク エリア	両日	一般社団法人日本照明工業会	エリア防災非常灯のご提案	【都市・建築・住宅】 【避難・避難所】	【自治体向け】 【専門家向け(学術系)】
TE-12	パーク エリア	両日	日東工業株式会社	体験可!感震ブレーカー&停電時の携帯充電	【都市・建築・住宅】 【その他】	【一般向け】 【自治体向け】
TE-13	パーク エリア	両日	株式会社フジタ	プライバシーに配慮した災害用簡易ベッド	【備蓄・グッズ】 【避難・避難所】	【企業向け】 【自治体向け】
TE-14	パーク エリア	両日	一般社団法人浄化槽システム協会	災害に強い浄化槽システム	【都市・建築・住宅】 【避難・避難所】	【一般向け】 【自治体向け】
TE-15	パーク エリア	両日	株式会社カワハラ技研	災害対応組立式備蓄型個室トイレ「ほぼ紙トイレ」	【地震・火山】 【風水害】	【一般向け】 【自治体向け】
TE-16	パーク エリア	両日	梅花堂紙業株式会社	これまで無い、避難所のアメニティ向上製品	【備蓄・グッズ】 【避難・避難所】	【一般向け】 【企業向け】
TE-17	パーク エリア	両日	セコム株式会社	被災地支援・あんしん防災シェルターの紹介	【地震・火山】 【風水害】	【一般向け】 【企業向け】
TE-18	パーク エリア	両日	有限会社扇光	天然木材の香りで癒される耐震シェルター	【避難・避難所】 【南海トラフ】	【一般向け】 【自治体向け】
TE-19	パーク エリア	両日	B-ステーション	あんしん防災相談室 備えあれば…	【都市・建築・住宅】 【備蓄・グッズ】	【一般向け】 【自治体向け】

出展団体リスト

TE-20	パーク エリア	両日	株式会社光レジン工業	家屋内設置型、小型津波対策用シェルター	【地震・火山】 【南海トラフ】	【一般向け】 【自治体向け】
TE-21	パーク エリア	両日	特定非営利活動法人国連UNHCR協会	UNHCRによる難民・避難民への支援活動	【国際】 【避難・避難所】	【一般向け】 【企業向け】
TE-22	パーク エリア	両日	株式会社危機管理教育研究所	インバウンド&福祉 発災直後の課題解決!	【医療・福祉】 【国際】	【企業向け】 【自治体向け】
TE-23	パーク エリア	両日	独立行政法人国際協力機構(JICA)JICA中部	災害に強い社会を世界の人々に	【国際】 【その他】	【一般向け】 【企業向け】
TE-24	パーク エリア	両日	愛知大学三遠南信地域連携研究センター 中国北京師範大学、中国深圳都市計画研究院	中国防災・減災、復旧と復興の現状と展望	【地震・火山】 【災害教訓・伝承】	【一般向け】 【自治体向け】
TE-49	キャナル ゲートエリア	両日	LOKホールディングス、株式会社愛知共同企画	【おかずブランド】防災で社会貢献	【地震・火山】 【医療・福祉】	【一般向け】
TE-50	キャナル ゲートエリア	両日	一般社団法人防災安全協会	beyond2020に向けて防災力を高める	【備蓄・グッズ】 【風水害】	【一般向け】 【企業向け】
TE-51	キャナル ゲートエリア	両日	セカンドハウス	人とペットの災害対策	【避難・避難所】 【ペット】	【企業向け】 【自治体向け】
TE-52	キャナル ゲートエリア	両日	Yahoo! JAPAN	体験イベント「わたしの防災ブック」を作ろう	【備蓄・グッズ】 【その他】	【企業向け】 【自治体向け】
TE-53	キャナル ゲートエリア	両日	NTTタウンページ株式会社	防災タウンページで日頃からの備えを!!	【風水害】 【避難・避難所】	【一般向け】 【企業向け】
TE-54	キャナル ゲートエリア	両日	災害復興支援団+ONE	災害復興支援団+ONE活動紹介	【災害教訓・伝承】 【ボランティア】	【一般向け】 【学生向け】
TE-55	キャナル ゲートエリア	両日	防災ママかきつばた	親子の備えを学んで体験!防災絵本販売も♪	【備蓄・グッズ】 【教育】	【一般向け】 【子ども向け】
TE-56	キャナル ゲートエリア	両日	一般社団法人中部地域づくり協会	自然に学び、自然に備える～防災体験VR～	【風水害】 【災害教訓・伝承】	【一般向け】 【子ども向け】
TE-57	キャナル ゲートエリア	両日	有限会社アシストコム	VRで新しい防災訓練、防災学習	【地震・火山】 【科学・技術】	【一般向け】 【自治体向け】

8.屋外展示・屋外車両

出展ID	出展場所	日時	出展団体名	タイトル	キーワード	対象
OS-09	ぼうさい モーターショー	両日	一般社団法人助けあいジャパン	みんな元気になるトイレ	【避難・避難所】 【その他】	【一般向け】 【自治体向け】
OS-10	ぼうさい モーターショー	両日	国土交通省中部地方整備局	災害対策車両「照明車」の展示	【科学・技術】 【防災行政】	【一般向け】 【自治体向け】
OS-11	ぼうさい モーターショー	両日	総務省東海総合通信局	災害時における通信確保・情報発信のための支援	【災害情報】 【通信】	【企業向け】 【自治体向け】
OS-12	ぼうさい モーターショー	両日	KDDI株式会社	災害対策関連サービスの展示・体験	【通信】 【避難・避難所】	【一般向け】 【自治体向け】
OS-13	ぼうさい モーターショー	両日	公益社団法人日本薬剤師会	薬剤師会モバイルファーマシー展示	【医療・福祉】 【避難・避難所】	【自治体向け】 【専門家向け(学術系)】
OS-14	パーク エリア	20日 のみ	飛鳥特装株式会社	地震体験(3次元起震装置搭載地震体験車)	【地震・火山】 【教育】	【一般向け】 【自治体向け】
OS-15	ぼうさい モーターショー	両日	トヨタ自動車株式会社	燃料電池バス(トヨタSORA)体験試乗会	【科学・技術】 【避難・避難所】	【一般向け】 【自治体向け】
OT-16	キャナル ゲートエリア	両日	横田瀝青興業株式会社	タンクローリー直結型計量機どこでもスタンドⅡ	【地震・火山】 【南海トラフ】	【企業向け】 【自治体向け】
OT-17	パーク エリア	両日	株式会社コトブキ	知ることから始めよう街の防災	【避難・避難所】 【南海トラフ】	【一般向け】 【自治体向け】
OT-18	キャナル ゲートエリア	両日	クラーク株式会社	多頭飼育用避難ハウス・被災時診療テント	【医療・福祉】 【避難・避難所】	【一般向け】 【自治体向け】
OT-19	パーク エリア	両日	ヤマヤ物産有限会社	避難所生活での炊き出し支援と就寝支援	【地震・火山】 【避難・避難所】	【一般向け】 【自治体向け】

9.ステージ

出展ID	出展場所	日時	出展団体名	タイトル	キーワード	対象
ST-01	屋外 ステージ	20日 13:10	なごや防災ボラネット	コント!防災ファッションショー	【避難・避難所】 【南海トラフ】	【一般向け】 【子ども向け】
ST-02	屋外 ステージ	19日 12:30	ピージーエムスクエア実行委員会	神戸発の防災音楽フェス「BGMスクエア」	【南海トラフ】 【その他】	【一般向け】 【学生向け】
ST-03	屋外 ステージ	20日 12:30	一般社団法人いのちを守る@プロジェクトJAPAN	いのちを守る@防災劇場	【教育】 【その他】	【一般向け】 【子ども向け】

出展団体リスト〈スケジュール〉

10月19日(土)

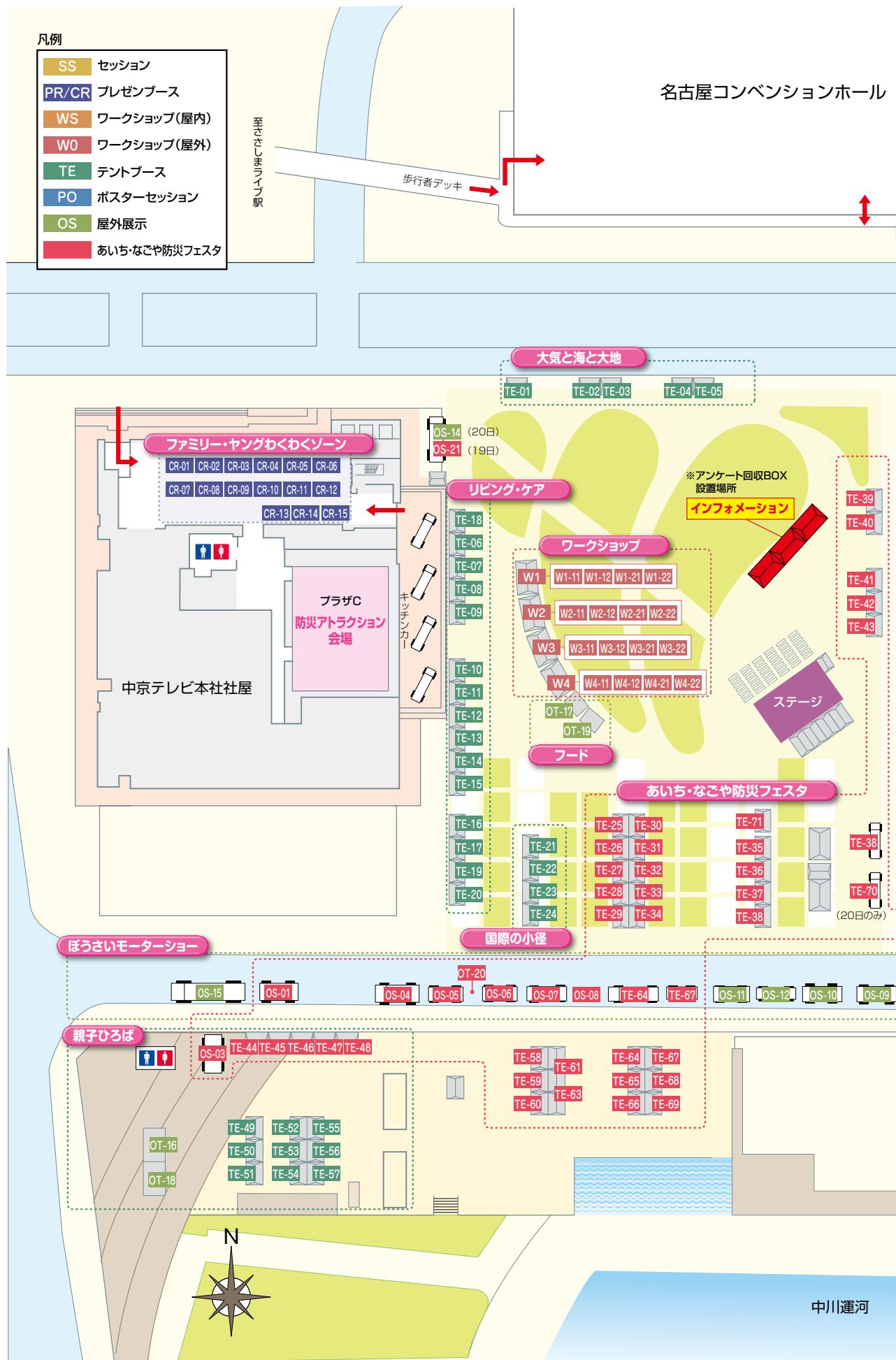
		10:30~12:00	13:00~14:00	14:30~16:00	16:30~18:00
セッション	名古屋コンベンションホール メインホールA		SS-01 オープニング セッション	SS-02 『わたしの証言～記憶を つなぐ』	SS-03 地区防災計画の これからを考える
	メインホールB			SS-04 女性パワーが活きる 地域防災	SS-05 あなたが知りたい 防災科学の最前線
	301会議室	SS-06 大規模災害に備えた 広域連携機能の強化		SS-07 防災教育交流会	SS-08 災害と医療～レジリエ ントな地域づくりとは
	302会議室	SS-09 「第2回 全国高校生地域 防災サミット in 名古屋」		SS-10 難解?何回?南海トラフ 地震を迎え撃て!	SS-11 本音で語り合う! 巨大台風・地震への備え
	405会議室	SS-12 南海トラフ巨大地震 研究と減災対応		SS-13 東日本大震災のアーカ イブと教訓の活用・発信	SS-14 D.Waste-Net 災害廃 棄物処理に民間力を!
	406+407 会議室	SS-30 防災情報を正しく楽しく お伝えするために		SS-31 防災人材交流シンポジウム (つなぎ舎)	
ワークショップ(屋内)	201会議室	WS-01 自分のできる! 被災屋根の応急処置		WS-02 私にもできる!命と健 康を守る避難所運営	WS-03 液体ミルクの 防災への活用について
	408会議室A	WS-04 遊んで楽しく 防災について学ぼう!		WS-05 おもしろ工作 「電池チェッカーづくり」	WS-06 防災・減災 スタンプラリー
	408会議室B	WS-07 家庭の防災・備蓄品に ついて考えよう		WS-08 エネルギーや 防災について学ぼう	WS-09 電子工作×防災課題 「雨量計をつくろう」
	409会議室A	WS-10 今日から始めよう!あなたが 気づき、考え、実行する防災		WS-11 避難所DIG	WS-12 「災害想定ゲーム KIZUKI」体験会
	409会議室B	WS-13 名古屋大学げんさいカフェ in ぼうさいこくたい		WS-14 災害に強いまちづくり ワークショップ	WS-15 防災まちづくりの起点 になる逃げ地図づくり
ワークショップ(屋外)	W1	W1-11 地図がオタクで役に立つ 地図で楽しく防災を		W1-12 てこの原理を活用した 救出方法の実演と体験	
	W2	W2-11 災害関連死ゼロを目指す 「防災衛生」の進め方		W2-12 大地の成り立ちから 知る防災のヒント	
	W3	W3-11 「防災いろはかるた」で 遊ぼう!		W3-12 あなたの住宅も 安価に耐震改修	
	W4	W4-11 備蓄木で炊き出し用の 薪を作ろう!		W4-12 災害時のBCPIに 頼れる無線機たち	

出展団体リスト〈スケジュール〉

10月20日(日)

		10:00～11:30	12:30～14:00	14:30～16:00
セッション	名古屋コンベンションホール メインホールA	SS-16 ハイレベルセッション・南海 トラフ巨大地震へのソナエ	SS-17 水害から“にげきる”	SS-15 クロージング セッション
	メインホールB	SS-18 南海トラフ地震に国際 協力の経験を活かす!	SS-19 『南海トラフ地震』への 対策と備え	
	301会議室	SS-20 “いざ”という時どうなる? あなたの食と栄養	SS-21 3者連携の 多様なカタチ	
	302会議室	SS-22 災害を科学と語り継ぎ 未来を生きる	SS-23 大学連携による地域防災 への貢献:その現状と課題	
	405会議室	SS-24 データ連携で「やみくも 防災」から脱却!	SS-25 事業継続普及セミナー	
	407会議室	SS-32 (9:00～11:45) 防災教育チャレンジプラン実践団体 中間報告		
ワークショップ(屋内)	201会議室	WS-16 今すぐ準備! マンション「在宅避難」	WS-17 日本の災害伝承ミュー ジアムの今日の状況	
	408会議室A	WS-18 おやこで学ぶ! “いち”からふうすいがい	WS-19 防災クイズ&ゲームDay in ぼうさいこくたい2019	
	408会議室B	WS-20 たのしく学ぼう!災害と わたしたちにできること	WS-21 防災ジャパンプロジェクト (防災ワークショップ)	
	409会議室A	WS-22 日用品を使って防災 アイテムを作ろう!	WS-23 災害発生、さあどうする!? ～時系列で考える災害対応～	
	409会議室B	WS-24 みずから命を守る! 避難行動ワークショップ	WS-25 「今度、マンション つくるの!」	
	406+407 会議室	WS-30 巨大地震とストローと お菓子でおいしく学ぶ?!	WS-31 地域の災害を伝える 全国の地元新聞	
ワークショップ(屋外)	W1	W1-21 まちづくり情報システムで 発見!まちの特徴	W1-22 川筋の変遷とその痕跡 から防災を考えよう	
	W2	W2-21 社会福祉施設の災害対応力 新たなネットワーク!	W2-22 防災用品のご紹介	
	W3	W3-21 防災・災害対応に おける企業の役割	W3-22 ー「チーム四日市」～ 学生消防団員の活躍ー	
	W4	W4-21 災害用トイレ 「マイレット」	W4-22 わたしの家の “びちく力”をはかろう!	

出展団体リスト〈会場図〉



出展団体リスト〈会場図〉

名古屋コンベンションホール

4F

ヒーリング・オアシス

PR-48 PR-49 PR-50 PR-51

405会議室

SS-12 SS-13 SS-14
SS-24 SS-25

セッション

P0-30

ワークショップ

406会議室

WS-30

WS-31 SS-31

SS-30 SS-32

407会議室

セッション

B 409会議室 A

WS-13 WS-14 WS-10 WS-11
WS-15 WS-24 WS-12 WS-22
WS-25 WS-23 WS-21

B 408会議室 A

WS-07 WS-08 WS-04 WS-05
WS-09 WS-20 WS-06 WS-18
WS-21 WS-19

ワークショップ

3F

ペットゾーン

PR-12 P0-06

衣・食・住ゾーン

P0-07 P0-08 P0-09 P0-10
P0-11 P0-12 P0-13 P0-14 P0-15 P0-16

インクルーシブゾーン

地域防災ゾーン

PR-16 PR-17 PR-18 PR-19
PR-20 PR-21 PR-22 PR-23
PR-24 PR-25 PR-26 PR-27
PR-28 PR-29 PR-30 PR-31
PR-32 PR-33 PR-34 PR-35
PR-36 PR-37 PR-38 PR-39
PR-40 PR-41 PR-42 PR-43
PR-44 PR-45 PR-46 PR-47

セッション

メインホールB

SS-04 SS-05
SS-18 SS-19

SS-01 SS-15

メインホールA

SS-02 SS-03
SS-16 SS-17

民間レジリエンスゾーン

P0-25 P0-26

P0-27 P0-28

301会議室

SS-06 SS-07 SS-08
SS-20 SS-21

302会議室

SS-09 SS-10 SS-11
SS-22 SS-23

セッション

サイエンスワールド

災害情報ゾーン

2F

トレーニングゾーン

ワークショップ

201会議室
WS-01 WS-02 WS-03
WS-16 WS-17

PR-01 PR-02 PR-03

ハイテクゾーン

PR-04 PR-05 PR-06 PR-07 PR-08

ウェルカムゾーン

P0-01 P0-02

アーバン・リビングゾーン

インフォメーション

※アンケート回収BOX
設置場所

歩行者デッキ

セッション詳細



皆さん、こんにちは。内閣府防災担当大臣の武田良太です。「防災推進国民大会2019」の主催者を代表して、私も会場を訪れたい思いではありますが、現在、台風19号をはじめとする災害対応中であり、ビデオメッセージにてご挨拶申し上げます。

本日は全国各地から多数のご来場を賜り、また、大塚防災推進国民会議議長、大村愛知県知事、河村名古屋市長をはじめ、ご多忙のところご出席いただき厚く御礼申し上げます。

まずは、この度の台風及び豪雨によりお亡くなりになられた方々にお悔やみを申し上げるとともに、被災された方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。

台風19号については、本日時点で、災害救助法が13都県316市区町村に適用されるなど、被害が極めて広範囲に及んでおり、現在、政府一丸となって全力で対応に当たっているところであります。私自身も着任以来、これまで今夏からの大雨や台風で被害を受けた佐賀、千葉、長野、福島、宮城と被災地に足を運び、災害の過酷さをこの目で見て参りました。であるからこそ、事前に災害に備え、被害を少しでも抑えるため、防災について学び、近所の人など地域の方々との連携を深め、次の災害に備える防災意識を向上させていく本日のような場が大変重要であると考えています。

歴史を振り返ると、ちょうど60年前の昭和34年、伊勢湾台風がございました。東海地方を中心に5,000名以上の犠牲者を出し、当時最悪の被害をもたらしたこの伊勢湾台風をきっかけに災害対策基本法が作られ、わが国の防災体制の基礎ができました。

その後も、政府においては、度重なる災害から得られた貴重な教訓を活かし、南海トラフ地震など想定される巨大災害に備えて、不断に防災政策を見直し、防災・減災・国土強靱化対策を推進しております。

巨大災害に対しては、こうした公助の取り組みとともに、自助・共助の取り組みが重要であり、そのためには、民間企業や学会など、様々な主体が連携する必要があります。

今回の開催地である名古屋も、南海トラフ巨大地震の影響が予想される地域ですが、大災害に備え、愛知県、名古屋市、名古屋大学が産業界と連携して「あいち・なごや強靱化共創センター」を設立するなど、全国にも参考となる産学官が連携した取り組みが行われています。

本日から2日間の「ぼうさいこくたい」で、この名古屋の地から、過去の災害を振り返り、将来の災害に備えるための防災のメッセージを全国に発することには、大きな意義があります。

また今回は「あいち・名古屋防災フェスタ」との同時開催により、発信力を上げることができ、愛知県、名古屋市をはじめとする地元の関係の皆様感謝申し上げます。

最後に、皆様がこの2日間で深められた防災の知識を、今度はまわりの方にもお伝えしていただくことで、子どもからお年寄りまで国民一人ひとりが「防災を、もっと日常に」感じていただき、わが国で一層の防災意識社会が構築されますことを願ひまして、私からの挨拶といたします。

於：10/19（土）名古屋コンベンションホール
「オープニングセッション（ビデオメッセージ）」

SS-01

メインホールA・B

10/19 (土)

13:00~14:00

オープニングセッション

主催：防災推進国民大会 2019 実行委員会

主催者及び地元代表者からの防災推進国民大会開会挨拶後、国土政策や防災政策の第一人者が、南海トラフ地震や首都直下地震等巨大災害に備えるための国土や地域の在り方について大会の口火を切る対談を行います。

13:00~
13:05

開会宣言

武田 良太 内閣府特命担当大臣（防災）



13:05~
13:10

主催挨拶

大塚 義治 防災推進国民会議議長
防災推進協議会会長（日本赤十字社社長）



13:10~
13:15

開催都市挨拶

大村 秀章 愛知県知事



13:15～
13:20

河村 たかし 名古屋市長



13:30～
14:00

ハイレベル対談

奥野 信宏 名古屋都市センター長（国土審議会会長）
 福和 伸夫 名古屋大学減災連携研究センター長・教授



SS-02

メインホールA

10/19 (土)

14:30~16:00

『わたしの証言～記憶をつなぐ』

主催：中日新聞社

5,000人以上の犠牲者を出した伊勢湾台風から60年。当時の記憶をたどるため生の声を聞き、そしてその教訓を次代に引き継ぎ「自分ごと」と認識し未来の大災害に備えるシンポジウムを開催します。

■登壇者

いとう まい子 女優・名古屋市中川区出身
 久野 時男 愛知県飛島村村長
 渡邊 和夫 東海市名和町在住
 やとみ またはち 劇団アルクシアター主宰
 戸田 真琴 愛知淑徳大学福祉貢献学部4年

■司会

大石 邦彦 CBCテレビアナウンサー

■コーディネーター

寺本 政司 中日新聞社編集局次長



SS-03

メインホールA

10/19 (土)

16:30~18:00

地区防災計画のこれからを考える

主催：内閣府

ぼうさいこくたい2019では、地区防災計画のこれからを考え、次のステージに向けてのアクションを議論するセッションを行います。本セッションを通じ、共助の重要性を再確認し、地区防災計画の取組を推進します。

■登壇者

- | | |
|--------|---|
| 中尾 晃史 | 内閣府政策統括官（防災担当）付参事官 |
| 加藤 孝明 | 東京大学生産技術研究所・教授
東京大学社会科学研究所・特任教授 |
| 松尾 好将 | 特定非営利活動法人日本防災士会理事長 |
| 吉川 忠寛 | 株式会社防災都市計画研究所所長 |
| 山口 和人 | 独立行政法人都市再生機構東日本賃貸住宅本部
千葉エリア経営部団地マネージャー |
| 長谷川 晋 | マックスバリュ東海株式会社経営企画部
環境・社会貢献グループマネージャー |
| 鍵屋 一 | 跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授 |
| 松村 直子 | 沖縄県北谷町役場総務部総務課地域安全係防災アドバイザー・防災Caféプレッパ主宰 |
| 阪本 真由美 | 兵庫県立大学減災復興政策研究科准教授 |



SS-10

302会議室

10/19 (土)

14:30~16:00

難解？ 何回？ 南海トラフ地震を迎え撃て！

主催：内閣府

南海トラフ地震発生時に国から発表する情報とその際にとるべき防災対応について、ムービーの上映等を交えて、住民、自治体、政府それぞれの目線で分かりやすく解説し議論します。

■登壇者

- | | |
|-------|-------------------------------------|
| 福和 伸夫 | 名古屋大学減災連携研究センター長 |
| 古市 秀徳 | 内閣府政策統括官（防災担当）付参事官
（調査・企画担当）付企画官 |
| 竹中 潤 | 気象庁地震予知情報課地殻活動監視技術開発推進官 |
| 後藤 雄介 | 静岡県危機管理部危機政策課長 |
| 浜田 展和 | 高知県南海トラフ地震対策課長 |



メインホールA

10/20 (日)

10:00~11:30

ハイレベルセッション・南海トラフ巨大地震へのソナエ

主催：内閣府／南海トラフ地震対策中部圏戦略会議

南海トラフ地震に対して、ハード・ソフト一体となった防災・減災・国土強靱化対策が必要です。本セッションは、産学官民の連携により、南海トラフ地震から日本の経済と産業、地域と住民を守ることを目指して開催します。

■ビデオメッセージ

平 将昭 内閣府副大臣

■コーディネーター

福和 伸夫 名古屋大学教授

■司会

石垣 和子 内閣府防災担当企画官

〈パネルディスカッション①〉

佐々木 一郎 ブラザー工業株式会社代表取締役社長

高橋 淳 経済産業省中部経済産業局長

小川 正樹 (一社) 中部経済連合会専務理事

勢田 昌功 国土交通省中部地方整備局長

〈パネルディスカッション②〉

中尾 晃史 内閣府政策統括官(防災担当) 付参事官

寺尾 徹 全国社会福祉協議会常務理事(欠席)

栗田 暢之 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD) 代表理事

※代理出席 明城徹也

伊東 祐次 (一社) 日本損害保険協会常務理事



SS-15

メインホールA・B

10/20 (日)

14:30~16:00

クロージングセッション

主催：防災推進国民大会 2019 実行委員会

大会の締めくくりとして、大会テーマ「大規模災害に備えるーまなぶ、つながる、つよくなるー」に沿った全出展の中から「ぼうさいかくたい2019」の成果発表をした上で、大会を振り返り、次回大会に向けた期待を語ります。

14:30~
14:35

秋本副議長 挨拶

秋本 敏文 防災推進国民会議副議長
(公益財団法人日本消防協会会長、一般財団法人日本防火・防災協会会長)



14:35~
15:05

池上コミットメントコーナー（成果及び来年に向けたコミットメント発表）

池上 三喜子 市民防災研究所理事



コミットメント発表



15:05～
15:10

総評と次回大会への期待

福和 伸夫 名古屋大学減災連携研究センター長・教授



15:10～
15:15

次回大会会場の発表と会場市の紹介

宇田川 智弘 一般社団法人日本損害保険協会理事、防災推進協議会運営委員会委員長



15:15～
15:20

勝田 博文 広島県広島市危機管理室長



15:20～
15:30

閉会の挨拶・ビデオメッセージ

中尾 晃史 内閣府政策統括官（防災担当）付参事官

今井 絵里子 内閣府大臣政務官



SS-04

メインホールB

10/19 (土)

14:30~16:00

女性パワーが活きる地域防災

主催：公益財団法人日本消防協会

女性の感性、知識、発想等は地域防災力の充実強化に不可欠です。伊勢湾台風等を経験した名古屋で、女性の方々からこれまでの経験や思いを述べてもらい、女性パワーが活きる地域防災の一層の進展を目指します。

■主催者挨拶

秋本 敏文 日本消防協会会長

■コーディネーター

阪本 真由美 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科准教授

■パネリスト

香川 絢子 名古屋市名城消防団
永坂 幸子 愛知県婦人消防クラブ連絡協議会会長
山田 一枝 名古屋市南区赤坪町自主防災会会長
則武 聖子 愛知県消防学校教務課長
南里 明日香 総務省自治財政局地方債課課長補佐
前総務省消防庁総務課課長補佐



SS-05

メインホールB

10/19 (土)

16:30~18:00

あなたが知りたい防災科学の最前線

主催：防災学術連携体、日本学術会議・防災減災学術連携委員会

市民の皆様が知りたい気象災害に関する防災科学の最前線を、各分野（気象、土木、建築、情報、医療、災害学、社会学など）の専門家からわかりやすく伝えます。また市民の皆様からの質問やリクエストに応えます。

■登壇者

目黒 公郎 日本学術会議連携会員・東京大学教授
米田 雅子 日本学術会議会員・慶應義塾大学特任教授
古谷 誠章 防災学術連携体代表幹事・早稲田大学教授
岩田 秀樹 岐阜県危機管理部防災課長
坪木 和久 日本気象学会・名古屋大学教授
伊東 明彦 日本リモートセンシング学会・宇宙技術開発
小林 文明 日本風工学会・防衛大学校教授
林 拙郎 日本自然災害学会・静岡大学客員教授
三浦 弘之 日本建築学会・広島大学准教授
鈴木 茂之 日本応用地質学会・岡山大学教授
佐山 敬洋 土木学会・京都大学准教授
海津 正倫 日本地理学会・名古屋大学名誉教授
北川 喜己 日本災害医学会・名古屋掖済会病院副院長
藤倉 裕 日本ロボット学会・近畿大学講師
田村 和夫 日本学術会議連携会員・防災学術連携体



SS-06

301会議室

10/19 (土)

10:30~12:00

大規模災害に備えた広域連携機能の強化

主催：三の丸地区再整備研究会

中部圏の広域防災拠点機能や個性の発揮に寄与する名古屋三の丸地区の再整備を話の糸口とし、わが国の災害リスクへの被害を最小化し中枢管理機能のバックアップ体制の整備等の圏域を越えた連携等について議論します。

■登壇者

奥野 信宏	国土審議会会長 まちづくり公社上席顧問・名古屋都市センター長 元名古屋大学副総長
室崎 益輝	兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長・教授
服部 敦	中部大学教授
佐藤 久美	金城学院大学教授
山本 秀樹	日本プロジェクト産業協議会中部委員会



SS-07

301会議室

10/19 (土)

14:30~16:00

防災教育交流会

主催：防災教育チャレンジプラン実行委員会

防災教育の知見、理解を深めるために、防災教育の取り組み初心者等へ向けて、本大会のテーマである「大規模災害に備える～まなぶ・つながる・つよくなる『防災を、もっと日常に』」を踏まえたセッションを行います。

■コーディネーター

林 春男	国立研究開発法人防災科学技術研究所理事長
河田 恵昭	阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター センター長

■キーノートスピーカー

森本 晋也	文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・ 安全課安全教育推進室安全教育調査官
-------	--

■パネリスト

五藤 祐司	名古屋市立工芸高等学校防災チーム
棚橋 公郎	社会福祉法人岐阜アソシア
近森 美保	高知県立大方高等学校
幾島 浩恵	上富田ふれあいルーム
河合 英子	愛知県西尾市立一色中部小学校



SS-08

301会議室

10/19 (土)

16:30~18:00

災害と医療～レジリエントな地域づくりとは

主催：公益社団法人日本医師会

被災者の方々の生命・健康を守るため、災害から地域包括ケア、地域医療を守り、復旧を果たしていくことについて、愛知県医師会、教育・介護等の関係者の参画も得て問題提起やその解決策をディスカッションします。

■司会

細川 秀一 公益社団法人愛知県医師会理事

■登壇者

石川 広己 公益社団法人日本医師会常任理事
 野田 正治 公益社団法人愛知県医師会理事
 土畠 智幸 医療法人稲生会理事長
 伊藤 之一 公益社団法人愛知県医師会救急委員会委員長
 古川 大祐 愛知県保健医療局健康医療部健康対策課課長



SS-09

302会議室

10/19 (土)

10:30~12:00

「第2回 全国高校生地域防災サミット in 名古屋」

主催：岐阜聖徳学園高校

高校生が地域防災にどう機能することができるか。今回は特に各校の「避難訓練」について課題を話し合い理想像を模索します。高校生自身がセッションの中で確認、学校や行政への具体的提言に繋がればと思います。

■登壇者

吉田 亮一 YY防災ネット・仙台市
 村岡 治道 岐阜大学特任准教授・岐阜市



SS-11

302会議室

10/19 (土)

16:30~18:00

本音で語り合う！巨大台風・地震への備え

主催：NSL マスメディアと研究者による地震災害軽減に関する懇話会

名古屋の防災報道デスクが、他エリアで同様の活動に取り組む方々を招き、防災を考えるトークを展開。伊勢湾台風60年の災害報道も振り返りながら、「スーパー台風」や「南海トラフ巨大地震」への備えを考えます。

■登壇者

武田 真一 311いのちを守る教育研修機構統括プロデューサー
田中 俊憲 九州災害情報（報道）研究会幹事・福岡放送デスク
松井 大地 NSL企画グループ・東海テレビ
高橋 宏明 NSL企画グループ・中京テレビ
柴田 正登志 NSL企画グループ・メ〜テレ
伊藤 大輔 NSL企画グループ・読売新聞
西田 征弘 NSL企画グループ・CBCテレビ

■司会

伊藤 敦基 CBCテレビ報道・情報制作局スポーツ部専任部長



SS-12

405会議室

10/19 (土)

10:30~12:00

南海トラフ巨大地震研究と減災対応

主催：南海トラフ広域地震防災研究プロジェクト（国立研究開発法人海洋研究開発機構）

南海トラフ巨大地震研究の最新成果を紹介し、臨時情報や減災対応の課題と今後の展開について、研究者や行政等の防災担当者とパネル討論を行います。臨時情報に関する情報の捉え方や対応について考えます。

■登壇者

金田 義行 香川大学・特任教授
海洋研究開発機構・上席技術研究員
野田 利弘 名古屋大学減災連携研究センター・教授
小平 秀一 海洋研究開発機構海域地震火山部門・部門長
古村 孝志 東京大学地震研究所・教授
内田 康史 愛知県防災安全局防災部・部長
金井 則之 日鉄テクノロジー株式会社安全防災推進部・専門主幹
省エネ技術統括部・専門主幹



SS-13

405会議室

10/19 (土)

14:30~16:00

東日本大震災のアーカイブと教訓の活用・発信

主催：東北大学災害科学国際研究所

東日本大震災の被災地の経験と復興の発信として、震災のデジタル・アーカイブや教訓活用の取組、各地が連携した発信の事業を紹介する。また、会場の方々と意見交換も行い、国内外での震災教訓の活用につなげる。

■登壇者

今村 文彦	東北大学災害科学国際研究所長
柴山 明寛	東北大学災害科学国際研究所准教授
武藤 徹	国土交通省東北地方整備局環境調整官
Flavia Fulco	東北大学災害科学国際研究所助教
佐藤 翔輔	東北大学災害科学国際研究所准教授
丸谷 浩明	東北大学災害科学国際研究所教授



SS-14

405会議室

10/19 (土)

16:30~18:00

D.Waste-Net 災害廃棄物処理に民間力を！

主催：環境省

被災地域の早期の復旧・復興、生活環境の保全・公衆衛生の確保のための災害廃棄物の適正かつ円滑・迅速な処理に向けて、災害廃棄物処理支援ネットワーク (D.Waste-Net) 及び関係機関で意見交換を行い官民連携の促進を図る。

■登壇者

名倉 良雄	環境省環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課長
石垣 和子	内閣府政策統括官（防災担当）付企画官
大迫 政浩	国立研究開発法人国立環境研究所
森谷 賢	全国産業資源循環連合会
舟山 重則	日本災害対応システムズ
出野 政雄	全国解体工事業団体連合会
大久保 英也	日本建設業連合会
松田 裕雄	大阪府産業資源循環協会
藏本 悟	株式会社西日本アチューマツクリーン



SS-17

メインホールA

10/20 (日)
12:30~14:00

水害から “にげきる”

主催：名古屋市、内閣府、国土交通省庄内川河川事務所

平成30年7月豪雨など、激甚化傾向にある豪雨災害に対して、どのような取組みを展開し、『水害から “にげきる”』のか、名古屋地区の取組み事例を踏まえ、行政機関、民間事業者、報道機関を交えて議論を深めます。

■コーディネーター

松尾 一郎 東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター
客員教授

■パネリスト

坂野 正典 名古屋市防災危機管理局次長
菅 良一 内閣府政策統括官（防災担当）付参事官
（調査・企画担当）付風水害対策調整官
西田 将人 国土交通省庄内川河川事務所長
岸田 晃彦 名古屋駅地区街づくり協議会事務局長

■司会

佐藤 和輝 中京テレビアナウンサー



SS-18

メインホールB

10/20 (日)
10:00~11:30

南海トラフ地震に国際協力の経験を活かす！

主催：独立行政法人国際協力機構（JICA）

メキシコ、インドネシア、タイにおける国際防災協力の事例を紹介するとともに、これら各国での防災協力の経験が、日本において大きな被害が予測される南海トラフ地震への備えにも繋がっていることを報告する。

■司会

竹谷 公男 JICA上席国際協力専門員

■登壇者

伊藤 喜宏 京都大学防災研究所准教授
Ruttiya Bhula-or タイChulalongkorn University, Assistant Prof.
伊野 恵理 名古屋工業大学高度防災工学センター特任准教授
有川 太郎 中央大学 理工学部 都市環境学科 教授



SS-19

メインホールB

10/20 (日)

12:30~14:00

『南海トラフ地震』への対策と備え

主催：一般社団法人日本損害保険協会

本セッションは「南海トラフ地震への備え」がテーマのパネルディスカッションです。災害に強いまちづくりや防災教育、地震保険などの重要性を、テツandトモのネタ「なんでだろう」を織り交ぜながら、様々な分野の専門家と一緒に考えます。

■登壇者

室崎 益輝	兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長・教授
廣井 悠	東京大学大学院工学系研究科准教授
浦野 愛	レスキューストックヤード常務理事
田中 宏和	四日市市危機管理室主幹
高橋 浩一	日本損害保険協会中部支部損害サービス部会長
テツandトモ	お笑い芸人

■司会

三田 涼子	フリーアナウンサー
-------	-----------



SS-20

301会議室

10/20 (日)

10:00~11:30

“いざ”という時どうなる？あなたの食と栄養

主催：公益財団法人味の素ファンデーション

【食・栄養】は誰でも参加できる防災の入り口です。本セッションでは参加者に発災時に起きる食・栄養の現実的な課題を知っていただき、自助・互助・共助・公助それぞれのレベルで出来ることを一緒に考え、行動に繋がります。

■登壇者

山村 浩二	公益社団法人日本栄養士会、JDA-DAT運営委員
川口 貢	農林水産省食料産業局企画課課長補佐
山中 弓子	NPO復興支援チームフレンドシップ災害看護支援部 親子支援・災害看護支援部長
伊藤 仁詞	大和重工（株）営業統括本部住宅機器営業部課長
中下 涼	大和重工（株）営業企画部管理栄養士

■進行

明城 徹也	特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体 ネットワーク（JVOD）事務局長
齋藤 由里子	（公財）味の素ファンデーション（TAF） 被災地復興応援事業担当マネージャー



SS-21

301会議室

10/20 (日)

12:30~14:00

3者連携の多様なカタチ

主催：特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD)

災害が多発する中、行政、災害ボランティアセンター（社会福祉協議会）、民間（NPO、企業など）が、どのように連携して復旧・復興に取り組んでいるのか、被災地の現状を伺いながらモレのない支援のカタチを考えます。

■登壇者

石垣 和子 内閣府政策統括官（防災担当）付企画官
高橋 良太 （社福）全国社会福祉協議会地域福祉部長
全国ボランティア・市民活動振興センター所長
明城 徹也 （特非）全国災害ボランティア支援団体ネットワーク
事務局長
藤本 千佳子 宮崎県総合政策部生活・協働・男女参画課協働推進
担当主幹
森 祥一 岐阜県健康福祉部地域福祉課管理監
渡邊 弥里 名古屋市市民活動推進センター
石原 達也 （特非）岡山NPOセンター代表理事



SS-22

302会議室

10/20 (日)

10:00~11:30

災害を科学と語り継ぎ未来を生きる

主催：日本学術会議

将来の災害への備えには、過去の災害を科学的に検証しつつ、その記憶を語り継ぐ必要がある。伊勢湾台風や昭和東南海地震の記録を来たるべき南海トラフ地震津波対策にいかにかかすかを参加者と共に考えていきます。

■登壇者

小池 俊雄 国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント
国際センター (ICHARM) 長、東京大学名誉教授、日本学
術会議会員、社会資本整備審議会委員・河川分科会長、
科学技術・学術審議会委員・地球観測推進部会長
山岡 耕春 名古屋大学大学院教授・日本地震学会会長
近藤 ひろ子 名古屋市港防災センター防災教育アドバイザー
JICA (独立行政法人国際協力機構) 防災教育担当専門家
井上 信 東邦ガス供給本部供給防災部長
寺尾 直樹 NHK名古屋放送局気象キャスター
阪本 真由美 兵庫県立大学減災復興政策研究科准教授
酒井 康宏 名古屋市防災危機管理局長
寶 馨 京都大学総合生存学館 (思修館) 学館長・教授、日本学術会議
連携会員、日本自然災害学会会長、水文・水資源学会会長
西川 智 名古屋大学減災連携研究センター教授
日本学術会議特任連携会員



SS-23

302会議室

10/20 (日)

12:30~14:00

大学連携による地域防災への貢献：その現状と課題

主催：東海圏減災研究コンソーシアム

東海地区の6国立大学が連携して設立した東海圏減災研究コンソーシアムの活動を紹介し、大学間連携および大学と地域の行政、企業、市民等との協働を通じた地域防災への貢献と将来に向けた課題について議論します。

■登壇者

鷗谷 威	名古屋大学・教授
井戸田 秀樹	名古屋工業大学・教授
斉藤 大樹	豊橋技術科学大学・教授
小山 真紀	岐阜大学・准教授
酒井 俊典	三重大学・教授
白木 渡	香川大学・教授



SS-24

405会議室

10/20 (日)

10:00~11:30

データ連携で「やみくも防災」から脱却！

主催：国際大学グローバル・コミュニケーション・センター (GLOCOM)

現場基点で整理したナレッジをデータ共有し、多様な人々が主体的にチェックできる『災害対応アセスメント』を開発。多くの人が災害を‘自分ごと’とし、備えを進めることで被害を最小限に抑える仕組みを提案します。

■登壇者

青木 志保子	国際大学グローバル・コミュニケーション・センター 主任研究員
田村 太郎	一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事
有吉 恭子	公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター研究部研究調査員
山口 真一	国際大学グローバル・コミュニケーション・センター 主任研究員・講師



SS-25

405会議室

10/20 (日)

12:30~14:00

事業継続普及セミナー

主催：特定非営利活動法人事業継続推進機構

中小企業が策定した「事業継続力強化計画」を経済産業大臣が認定する制度の説明と、事業継続力強化計画を踏まえたこれからの事業継続（BC）の取組みについて、計画作成に取り組む企業の事例を交えパネルディスカッションを実施します。

■登壇者

佐藤 二三男 中小企業庁事業環境部経営安定対策室長
 丸谷 浩明 東北大学災害科学国際研究所教授
 細坪 信二 一般財団法人危機管理教育&演習センター理事長
 伊藤 毅 株式会社レジリエンスプランニングオフィス
 代表取締役



SS-30

407会議室

10/19 (土)

10:30~12:00

防災情報を正しく楽しくお伝えするために

主催：TEAM 防災ジャパン

TEAM防災ジャパンでは、各地域での防災に関する先進事例の共有などを通して、TEAM防災ジャパンが持つ既存の繋がりを深めながら、新たな繋がりができるような情報の発信・共有方法について議論します。

■登壇者

鍵屋 一 跡見学園女子大学教授
 [TEAM 防災ジャパンアドバイザー]
 加藤 孝明 東京大学生産技術研究所教授
 [TEAM 防災ジャパンアドバイザー]
 中川 和之 時事通信社解説委員
 [TEAM 防災ジャパンアドバイザー]
 福和 伸夫 名古屋大学減災連携研究センター教授
 [TEAM 防災ジャパンアドバイザー]



SS-31

406・407会議室

10/19 (土)

14:30~18:00

防災人材交流シンポジウム（つなぎ舎）

主催：防災人材交流シンポジウム実行委員会

南海トラフ地震等の大規模災害において、防災・減災の担い手が、地域、世代、組織等の枠組みを超えて協力し合えるよう、ボランティア、学生、行政等の参加者が様々な絆をつくることを目的に、ワークショップ等を行います。

■登壇者

高崎 賢一 なごや防災ボラネット・代表
新井 伸夫 名古屋大学減災連携研究センター・特任教授
雁部 那由多 東北学院大学 教養学部 地域構想学科1年
長坂 善人 浜松の企業が手をつなぐ西日本豪雨支援ネットワーク
(はままつnanet)・代表世話、株式会社長坂養蜂場・
代表取締役
樋口 務 特定非営利活動法人くまもと災害ボランティア団体
ネットワーク・代表理事
高橋 良太 全国社会福祉協議会・地域福祉部長
早川 直喜 札幌市危機管理対応室危機管理対策部
防災推進担当課地域防災担当係長



SS-32

407会議室

10/20 (日)

9:00~11:45

防災教育チャレンジプラン実践団体 中間報告

主催：防災教育チャレンジプラン実行委員会

防災教育の知見、理解を深めるために、学校、NPO、学生団体等15団体が、本大会のテーマである「大規模災害に備える～まなぶ・つながる・つよくなる『防災を、もっと日常に』」を踏まえた取組成果の発表を行います。

■登壇者

辻元 博子 校長・京都市立正親小学校
鈴木 祐二 教諭・北海道標津高等学校
亀田 好洋 教諭・名古屋市立工芸高等学校都市システム科
“ひと”と“まち”づくり協創ワーキンググループ
石川 紫穂 総務理事・NPO法人小網代野外活動調整会議
中川 雅博 教諭・京都府立鴨沂高等学校
板東 里奈 事務局・ミラクルウィッシュ
須磨 航 代表・被災地を写真でつなぐ実行委員会
高橋 直樹 新居浜市消防本部総務警防課副課長・新居浜市立金栄小学校
土屋 衛治郎 特任講師・立正大学地球環境科学部教育学・学習科学研究室
宮崎 威治 防災教育担当・新潟市立白南中学校
近藤 嗣郎 校長・岡崎市立常磐東小学校
近森 美保 教諭・高知県立大方高等学校
京 百合子 生徒教育部防災係・目黒星美学園中学高等学校
窪地 育哉 教諭・愛媛県立宇和島東高等学校
尾上 道雄 尾山台団地自治会会長・UR都市機構(尾山台団地自治会)

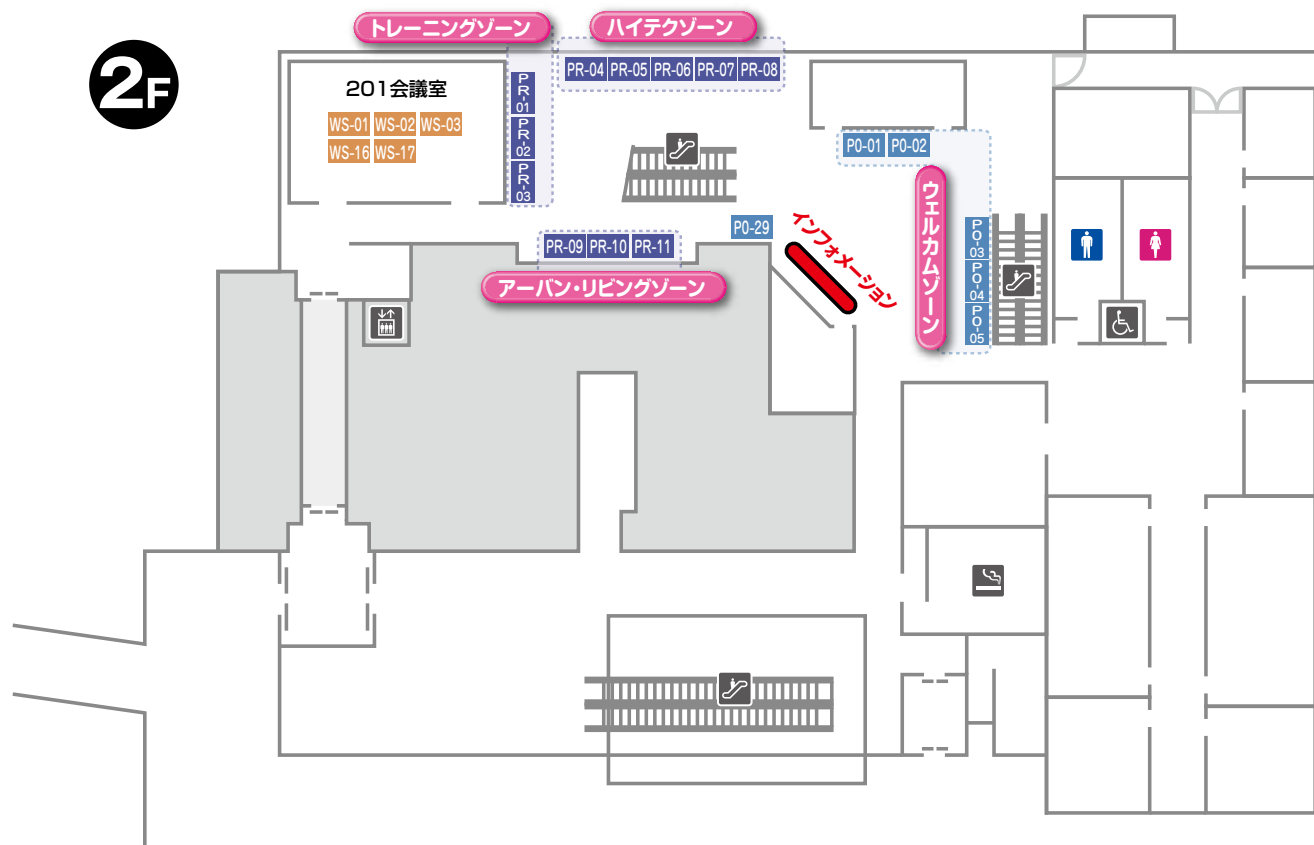


出展概要 (セッション以外)

- ・プレゼンブース
- ・ポスターセッション
- ・ワークショップ
- ・テントブース
- ・屋外展示／屋外車両

出展概要 〈名古屋コンベンションホール 2F〉

名古屋コンベンションホール 2F



WS-01

201会議室

10/19 (土)
10:30~12:00

災害ボランティア愛・知・人

自分でできる! 被災屋根の応急処置

被災地での業者は数か月待ちも多く、その間に雨漏りで家中がカビだらけに…大切な家は自分で守る! 屋根上模型を使って安全で簡単にできるブルーシート張りの体験をはじめ災害から身を守る実践ノウハウを学べます。



WS-02

201会議室

10/19 (土)
14:30~16:00

認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード

私にもできる! 命と健康を守る避難所運営

避難所で被災者が実際に直面した困り事を事例に「知っていれば誰でもできる配慮と対処」について考えます。教材として、当法人が作成した避難所運営お役立ち冊子『避難所運営の知恵袋・改訂版』を無料配布します。



WS-03

201会議室

10/19 (土)

16:30~18:00

内閣府

液体ミルクの防災への活用について

本年、液体ミルクの販売が開始され、その災害時の活用が注目されています。防災基本計画が見直され、プッシュ型支援の品目にも加わるなどの新たな動きもある中、液体ミルクの防災への活用について議論します。



WS-16

201会議室

10/20 (日)

10:00~11:30

マンションサポートあいち

今すぐ準備！マンション「在宅避難」

大地震後の被災生活を、避難所ではなく自宅マンションで過ごせるよう、「在宅避難」の準備につき話し合ひましょう。



WS-17

201会議室

10/20 (日)

12:30~14:00

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

日本の災害伝承ミュージアムの今日の状況

当センターは阪神・淡路大震災の伝承施設として設置されています。今、東日本大震災被災地でも新たな施設が複数誕生しています。これら全国の施設の最近の動向や、施設の枠を超えて共有したい最新の情報を共有します。



PR-01

ナカシャクリエイテブ株式会社

見て・触って・考える！防災情報コンテンツ防災+α

防災情報コンテンツ、福祉避難所シミュレーションゲームの紹介と、ヒストリカルハザードマップの公開を行います。地域の防災減災マインドを上げる、見て・触って・考えられるコンテンツを様々な分野にプラスして出展いたします。防災+「歴史」「VR」「GIS」「福祉」など



PR-02

四国西予ジオパーク推進協議会

平成30年7月豪雨災害の現状と今後の取り組み

愛媛県西予市は、昨年の平成30年7月豪雨により、河川の氾濫や土砂崩れなど多くの災害が発生し、甚大な被害を受けました。今大会において、災害状況や復興状況及び今後の取り組みについて紹介します。



PR-03

一般社団法人72時間サバイバル教育協会

子どもが主体的に減災を担う72時間サバイバル教育

・自ら考えて行動する人づくりの基盤となる講習とは ・子どもたちが学び続けたいサバイバルマスター制度について ・学習のサポートをするコーチの育成について ・コラボ事例（千葉商科大学、大阪市、ホテル等）



出展概要 〈名古屋コンベンションホール 2F〉

PR-04 一般社団法人日本ドローンコンソーシアム

防災分野におけるドローン利用最前線

過去の大規模災害におけるドローンの利活用の実績を紹介します。また、災害把握・防災に利用されているドローンの機体を展示すると共に、映像を紹介します。



PR-05 特定非営利活動法人RCレスキューベンジャミン隊

災害時におけるドローン活用術

当法人は2005年に設立し、昨年は台風21号の被害以降、ドローンを活用して災害VCの支援を行い、操縦者の育成講座も実施しています。今回は、災害時におけるドローン活用術について啓発、普及します。



PR-06 株式会社トッパン・コスモ

「音のバリアフリー」「IoT」「VR」による防災支援

自治体・企業向け防災支援サービスを「音のバリアフリー」「IoT」「VR」の切り口でご紹介します。◎音のバリアフリー「ミライスピーカー」◎住民見守りサービス「あんしんライトサービス」◎防災シミュレーションVR



PR-07 株式会社白獅子

「子供用防災 VR」未来の希望を守れ！

3DCGによる地震や水害などの自然災害体験、及び被災した際の避難体験VRコンテンツ展示を行います。



PR-08 三信電気株式会社

映像を用いた被災状況の把握

三信電気は、災害時にインフラが崩壊し、有線のインターネット回線が使えなくても被災状況を災害対策本部や企業の本社などへ映像で報告できるバッテリー駆動型の映像中継装置「LiveU」のデモを行います。



PR-09 一般社団法人日本非常食推進機構

SDGsに寄与する防災備蓄品の活用

行政や企業が保管する賞味期限が近づいた防災備蓄食料の広域的な活用事例をポスター、チラシ等で紹介し防災備蓄食料の有効活用の推進を図る。



PR-10 株式会社リブライト

出張防災工作教室～来場者数UPのお手伝い！～

出張防災工作教室は、子どもに対し科学を通して災害時の明かりの重要性を説明する教室です。講座で使用するマグネシウム電池の工作キットを前に、本講座の内容と防災イベントにおける集客効果をご説明いたします。



PR-11 特定非営利活動法人都市環境標識協会

次世代型デジタルサイネージ式避難誘導標識

突然発生する災害への対応、特に夜間発災時の避難における照明の重要性と災害情報の提供という課題を解決するための全国統一型照明付避難誘導標識及び次世代標識としてのデジタルサイネージ式標識を展示します。



PO-01 日本赤十字社

自助・共助の力を高める赤十字防災セミナー

日赤では自助・共助の力を高める赤十字防災セミナーを展開しています。セミナー内容、開催地の日赤愛知県支部の取り組み、防災教材「いえまですごくろく」の他、森永乳業と協働したワークショップ内容を紹介します。



PO-02 国立歴史民俗博物館

歴史文化資料保全ネットワーク：文化の防災

地域資料の被災・滅失の危機と、救済・保存に向けた地域での取り組みや連携のあり方を解説します。また、花王株式会社と共同開発している、持続可能な資料保存のためのツールについて、一般向けに初めて公表します。



PO-03 日本地震工学会

日本地震工学会の活動紹介

日本地震工学会の取り組みや研究委員会における成果を紹介するとともに、開催予定である17WCEE等の案内や、過去に開催したシンポジウム等の紹介を行う。



PO-04 公益社団法人日本地震学会

「地震」の研究最前線を伝える

学会として、地震研究の等身大の現状を伝えるために行っている取り組みをポスターで発表。学会で作成している一般向け広報紙「なみふる」なども配布します。

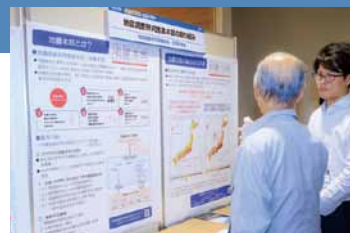


出展概要 〈名古屋コンベンションホール 2・3F〉

PO-05 地震調査研究推進本部／文部科学省

地震調査研究推進本部の取り組み

地震調査研究推進本部は、阪神・淡路大震災をきっかけに、地震に関する調査や研究を政府として一元的に推進するとともに、その成果を社会に伝えるため設置されました。この活動と成果をわかりやすく紹介します。



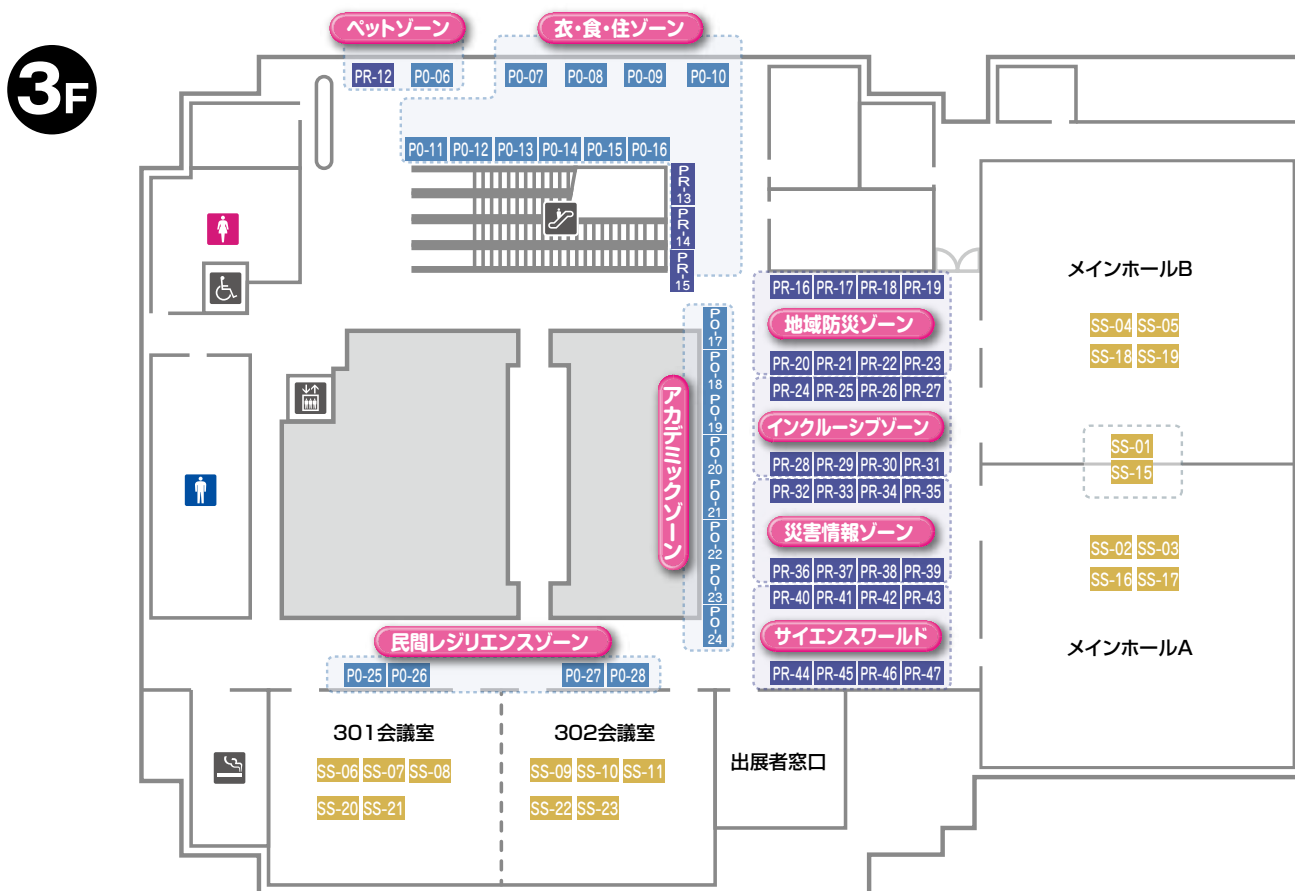
PO-29 内閣府

内閣府防災の活動

進めよう、企業防災。百貨店、飲食店、病院や旅館、ガスなどの危険物を取扱う施設等（特定地域内）で、緊急地震速報受信装置等を取得した場合の固定資産税が減額される制度を紹介します。企業の防災担当者様、必見！



名古屋コンベンションホール 3F



PR-12 環境省自然環境局総務課動物愛護管理室

災害、あなたとペットは大丈夫？

飼い主とペットが突然の災害を乗り越えるために、日頃からの備えは欠かせません。これまでに起こった災害で、ペットと飼い主に起きた様々な問題を見直し、飼い主がとらねばならない対策をもう一度考えてみましょう。



PR-13 LACITA

新時代の防災必需品「ポータブル電源」

自治体の危機管理担当者、企業の総務担当者、災害対策に関心の高い一般家庭の方へ災害時の停電対策として、パソコン、スマホ、小型家電等に給電できる高出力・大容量で携帯可能なバッテリーの利便性を紹介。



PR-14 株式会社ドリームエンジン

備蓄中に劣化しない非常用電池

- ①最小・最軽量のサイズ感を手に取って実感してもらう。
- ②水に電池を浸し、携帯電話・スマートフォン等が充電されている状態をデモンストレーションする。



PR-15 一般社団法人日本防災プラットフォーム

日本の防災技術で世界の災害リスク削減に貢献！

JBPは優れた防災技術をビジネスとして世界に展開することで、持続可能なかたちで世界の災害リスク削減に貢献するための民間主体・産官学連携のプラットフォームです。会員企業の世界に羽ばたく防災技術をご紹介します。



PR-16 静岡県、静岡県防災用品普及促進協議会

災害に立ち向う 静岡県の備え

・冊子、チラシによる静岡県の取組紹介 ・静岡県制作の防災啓発DVDや防災アプリの紹介 ・家具、什器の転倒防止、災害用備蓄食、災害用トイレ等の実物展示や実演を交えた防災用品の紹介 ほか



PR-17 西三河防災減災連携研究会

災害に強い地域づくり～市町を越えた取組～

西三河防災減災連携研究会の活動をご紹介します。西三河地域は産業の拠点であり、大規模災害時にどのように自治体、企業等関係機関が連携していくのかをご紹介します。



出展概要 〈名古屋コンベンションホール 3F〉

PR-18

南海トラフ広域地震防災研究プロジェクト (国立研究開発法人海洋研究開発機構)

南海トラフ広域地震防災研究プロジェクト

国難と言われる南海トラフ巨大地震における最新の研究成果を紹介します。本プロジェクトは理学と工学との連携による防災減災研究を行っており、この成果に基づき南海トラフ巨大地震への備えを考える機会を提供します。



PR-19

広島市

避難を考える レベル4でも避難が“いたい”理由

広島県は、平成26年8月広島豪雨災害、平成30年7月豪雨災害と短期間に2度の大規模災害に見舞われました。これらの災害の状況や災害から得た教訓を展示し、来場者のみなさまと避難について考えます。



PR-20

鹿児島市危機管理局危機管理課

火山防災トップシティ かごしま市

鹿児島市では、約60万人市民が60年以上も活動を続ける活火山桜島と共生しています。長年の経験や実績により培い、世界トップレベルと言われ、国内外の火山防災のモデルとされる鹿児島市の火山防災対策を紹介します。



PR-21

一般社団法人危機管理・労働災害防止機構(危災防)

安全だけど安心できないを考える

新潟県中越地震から15年、今年6月18日にも日本海東縁部でM6.7発生。地震に対する自助、共助から安全・安心を考え防災意識の高揚・啓発方法を考える。

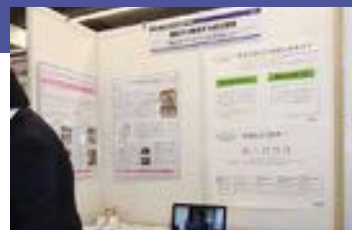


PR-22

福島大学つくしまふくしま未来支援センター

福島から発信する防災教育

福島大学つくしまふくしま未来支援センターで取り組んでいる防災教育のうち、以下の二事例を紹介します。①中・高校生を対象とした防災教育 ②防災教育教材「さすけなぶる」を活用した避難所運営研修



PR-23

公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構

東日本大震災・原子力災害 伝承館

福島県では、原子力災害を含む複合災害の教訓を後世に伝えるためのアーカイブ拠点施設の整備を進めております。福島県の取組を展示や研修等様々な手法で発信する施設について説明し、防災への意識向上に寄与します。



PR-24 国連防災機関(UNDRR) 国際復興支援プラットフォーム(IRP)

防災に関するグローバルな取り組み

UNDRR:国際的な防災指針「仙台防災枠組」の実施推進など、国連の防災担当部局としてのグローバルな取組を紹介。IRP:「より良い復興」の推進、復興に関する知識の集積と発信、フォーラム開催などIRPによる取組を紹介。注)2019年5月1日に、国連国際防災戦略事務局(UNISDR)は国連防災機関(UNDRR)に名称変更しました。



PR-25 宮城県多賀城高等学校

世界と、未来に発信する防災減災教育

全国で2例目、理系学科としては全国初となる防災系専門学科「災害科学科」を開設し、様々な防災減災活動に取り組んでいます。防災減災のパイロットスクールとして、震災の記憶の伝承と災害への備えを探究するとともに、様々な方々との交流活動を行っています。



PR-26 東北学院大学災害ボランティアステーション、尚絅学院大学ボランティアステーション 復興大学災害ボランティアステーション、大学間連携災害ボランティアネットワーク

災害時の社会資源としての学生ボランティア

大学として立ち上げたボランティア組織という利点を活かしながら、「大学間連携災害ボランティアネットワーク」を代表に多様な組織間連携の取り組みを行ってきたことをご紹介します。



PR-27 日本労働組合総連合会(連合)

連合災害救援ボランティア 活動の軌跡

①写真パネル ②DVD上映 ③冊子 などの展示。震災を風化させない取り組みとして、連合の震災ボランティアを紹介し震災当時の様子を伝えることで、防災・減災の推進につなげるとともにその重要性を来場者に訴える。



PR-28 一般社団法人福祉防災コミュニティ協会

みんな元気になる福祉避難所

福祉避難所の設備は不十分で、訓練もほとんど行われていないのが実情です。このままでは、多くの災害関連死の発生が懸念されます。あなたのまちにも「みんな元気になる福祉避難所」を。



PR-29 多文化防災ネットワーク愛知・名古屋(TABOネット)

「多文化防災」の取組み～つなげる・伝える・作りだす

「多文化防災」をキーワードに、「つなげる」「つたえる」「つくりだす」の3つのグループで活動。ブースでは『外国人 SNS 利用状況調査報告書～愛知の外国人 1000 人に聞きました～』(2018 年発行)を配布します。



出展概要 〈名古屋コンベンションホール 3F〉

PR-30 株式会社ブリックス

多言語コールセンターの災害時の情報発信

災害発生時の「訪日外国人への情報発信と多言語による対応」、電話通訳と一体型の「最新通訳アプリ」による受入環境整備における多言語化という新たな取り組みを発表します。



PR-31 一般財団法人自治体国際化協会(クレア CLAIR)

災害時の外国人支援～多言語表示シートなど

近年、外国人住民や訪日外国人への災害時の多言語情報が課題となっています。当ブースでは平時からの外国対応にお使いいただける「多言語表示シート」等のツールやこれまでの災害時の外国人支援についてご紹介します。



PR-32 株式会社ゼンリン

まちを知って身を守ろう～地図×防災～

地図による防災対策に日頃より取り組んでいただけるよう、ご家庭での「自主防災マップ」作成、自治体様への「災害時支援協定」や防災関連商品によるご支援を通じて、地図を活用した災害対策事例をご紹介します。



PR-33 国立研究開発法人情報通信研究機構 耐災害ICT研究センター

災害に強い情報通信技術の構築に向けて

当センターの耐災害ICT研究のうち、地方公共団体が実施する防災訓練等においても活用されている大規模災害時の被災状況把握システムや災害に強いネットワークシステムに関する研究開発成果等について紹介します。



PR-34 総務省

災害情報の配信を支えるLアラート

Lアラートとは、地方公共団体・ライフライン事業者等からの災害情報を、多様なメディアを通じて、住民の皆様に迅速かつ効率的に伝達する共通基盤です。Lアラートの概要や特徴、総務省の取組について、ポスターや動画などを用いて分かりやすくご紹介します。



PR-35 清流の国ぎふ防災・減災センター

岐阜県内の地域・大学・行政の連携と防災活動

【テーマ】どうやって地域防災人材の活躍を実現するか、とその事例紹介
【内容】当センターと、センターと連携している個人・団体などの活動紹介（ペットや小さい子をもつ親向け防災活動デモ、ミニ講座、展示ほか）



PR-36 国土交通省国土地理院

“防災地理情報”を地域防災に役立てよう

国土地理院が整備を進めている防災・減災に役立つ「防災地理情報」について、パネル展示やweb「地理院地図」上で表示し、その活用方法や中部地方の「防災地理情報」などについて紹介します。



PR-37 NPO法人日本ジオパークネットワーク

大地の成り立ちから知る防災のヒント

ジオパークネットワークでは、災害を伝え身を守る取組として、大地の成り立ちを学ぶことにより起こった災害、これから起こるであろう災害を知り、体験談や遺構により災害を伝えている。そのような取組を紹介する。



PR-38 国立国会図書館

東日本大震災アーカイブ（ひなぎく）

東日本大震災の記録等を次の世代へ伝え、今後の防災・減災対策に役立てることを目的に様々な機関と連携・協力し、構築している震災の記録等のポータルサイトです。ブースでは、ひなぎくの紹介をします。



PR-39 特定非営利活動法人日本防災士会

「防災士資格の紹介」と、地域防災力向上

防災士制度の推進と普及活動。実際に活動している防災士が来場者に対応します。防災士制度の重要性や防災士の活動事例等の会話を通して、防災・減災への関心を高め、知識を増やし行動する意欲を持っていただきます。



PR-40 東北大学災害科学国際研究所

地震津波リスク研究と防災減災教育・啓発

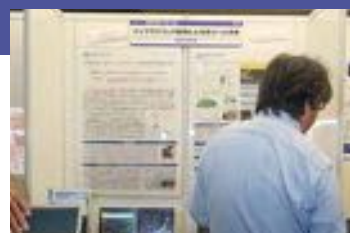
当研究部門の研究成果（地震津波リスクの評価手法や知見）のご紹介と共に、防災・減災に関するセミナー開催や防災教育ツールの開発等を通じて得られた知見やその活用方法を学んでいただけるような展示を実施します。



PR-41 高知工科大学

インフラサウンド観測による防災への活用

インフラサウンドとは人の耳には聞こえない超低周波音（微気圧波）のことで、地震・津波・雷などの際に発生します。そのインフラサウンドを観測することで防災に活用しようという研究について、ご紹介いたします。



出展概要 〈名古屋コンベンションホール 3F〉

PR-42 日本工営株式会社

地域ができるリスコミづくり

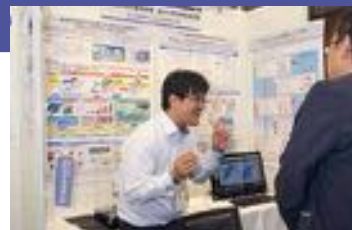
自然災害から身を守るためには個人・地域の防災力向上が重要です。今回は我々のプロジェクト紹介を通して、個人や地域が“防災力を身につけるための備え（ミソ）”について、みなさんと一緒に考えたいと思います。



PR-43 国立研究開発法人防災科学技術研究所

線状降水帯対策最前線 / 空から見る伊勢湾台風

内閣府SIP「国家レジリエンス（防災・減災）の強化」の線状降水帯の観測と分析を組み合わせた予測技術の紹介と、自然災害情報室所蔵の伊勢湾台風空中写真等を現在の地図上に重ね、関連施設紹介と共に展示します。



PR-44 一般社団法人全国建設業協会

「つくる！なおす！まもる！地域建設業の取り組み」

地域建設業は災害発災直後から復旧・復興に迅速な対応に当たっています。様々な災害で活躍している地域建設業の取組をパネル等で紹介し、子供向けに建設の仕事を紹介する『建設学習帳』の配布等も行います。



PR-45 株式会社中電シーティーアイ

ICTで防災・減災、災害に備える最新技術

災害発生時や防災・減災に役立つ、最先端のICT技術をご紹介します。センサーを使った地震時の建物安全性診断、平時の構造物のヘルスマニタリングなどを、実際に揺れる建物の模型やパネルでお伝えします。



PR-46 三信建設工業株式会社

未来届けよう 三信建設工業の地盤処理技術

当社の地盤処理技術を紹介し、既設の建物・施設やインフラ構造物などの災害に対する被害を軽減する地盤処理技術を紹介します。特に地盤の液化化対策における事例を示します。



PR-47 地盤工学会中部支部、地盤品質判定士会中部支部設立準備会

宅地の地盤災害防止への備え

私たち地盤品質判定士は、①「土地情報」②「過去の地震被害事例のビデオ」③「被災事例と発生メカニズム」を一般市民の皆様によりわかりやすく・理解していただけるように「見えない地盤の情報」を提供いたします。



PO-06 WPPグループ Japan Pet Press

命を守る社会の構築—災害とペット

ペットは今や家族。避難所でのペットオーナーや避難所責任者の心得を学ぶ。約20年前に国内初のマルチメディアとして創設されたJapan Pet Press。人と動物とのより良い社会、「命を守る社会の構築」を考えていく。



PO-07 一般社団法人ビル減災研究所

帰宅困難者のあなたに！

帰宅困難者問題はよく知られていますが、帰宅困難者自身の危険、帰宅困難者が引き起す問題、復旧復興に与える影響という面から考えます。帰宅抑制が有効ですが、帰宅願望の裏にある子供の保護等広範な対策を提案します。



PO-08 有限会社くらや

「救命扉」で閉じ込められても脱出救出は簡単

地震/津波/土砂/水害/火災/在宅介護等扉が開かず閉じ込められても扉を破壊脱出救出可能*破壊する方向/箇所/力設定*車椅子乗車/バリアフリー型*津波流出時「浮」機能等多機能有=緊急時でも諦めず助かる説明します。



PO-09 竹内工業株式会社

備えよう！災害救助用ジャッキ

ジャッキの色々な種類、救助に向いているもの、不向きなもの、それぞれの使用方法、注意点、使用時に準備するもの。且つ、ボールなどを使用した救助の仕方や注意点を説明いたします。



PO-10 一般社団法人愛知県産業廃棄物協会

災害廃棄物処理協力体制による早期復旧支援

パネル展示による愛知県内全54市町村との災害時における災害廃棄物処理に関する協定の締結の紹介、当協会の業務継続計画（BCP）の紹介、災害廃棄物処理の紹介、会員企業の災害廃棄物処理活動の紹介。



PO-11 農林水産省

災害時に備えて食品の家庭備蓄を始めよう

展示では、家庭備蓄の必要性や分量の例、実践方法をお伝えします。乳幼児や高齢者、慢性疾患・食物アレルギーの方が家庭備蓄を行う際に必要な情報もご紹介。あわせて農林水産省が行う災害対策等も紹介します。



出展概要 〈名古屋コンベンションホール 3F〉

PO-12 江崎グリコ株式会社

国内初！国産液体ミルクのご紹介

2019年3月消費者庁の許諾を得て、国内初の液体ミルクとして発売した江崎グリコ「アイクレオ 赤ちゃんミルク」を試飲も含めてご紹介させていただきます。また長期保存可能なビスコ等の災害対策のご利用事例もご紹介させていただきます。



PO-13 名古屋みずほ災害ボランティアネットワーク

防災啓発ソング & 世界のこころ 神社ワイン

防災ソングCDを昨年1,000枚製作（企業・個人協）、名古屋市教育委員会に贈呈し、幼少から歌で防災を頭に入れるをモットーに。もう1つは、3.11忘れない世界の心・神社ワインとヨーロッパ初 サンマリノ神社を紹介します。



PO-14 民間防災名古屋(SEED合同会社)

防災服・災害復興支援作業服の提案

災害活動服、オーダーメイドの活動服の展示、ご提案。



PO-15 株式会社LCトレーディング

事故・災害時の止血に！緊急止血用「J・PAD」

緊急用止血パッド「J・PAD」を使い、災害の備えと自助防災活動の推進をする。



PO-16 株式会社ハタヤリミテッド

LED照明・コードリールでできる防災備蓄

来場客には抽選でLED（ヘッドライトorペンライト）のプレゼントを行い発災後、停電時すぐに必要となる備蓄品であることをお伝えいたします。デモ機やパネルを用いて来場者にLED照明の実際の明るさを説明させていただきます。



PO-17 岐阜県御嵩町立上之郷中学校

学校がつながる「防災・減災」への取り組み

防災・減災に関わり何ができるのか、何が必要なのか、活動を紹介します。「自分の命は、自分で守る」「地域とのつながり」を、生徒・先生が話し合い、実践した学びを報告し、防災・減災への意識向上を啓発します。



PO-18 岐阜聖徳学園高校

「第2回 全国高校生地域防災サミット in 名古屋」

高校生による防災の将来像を発表します。(地域住民と実施した「避難所運営シミュレーション」、実際に地域を歩く「地域DIG」、小中学生の啓蒙「簡易版メディカルラリー」、高校生が発起する「避難所運営委員会」等)。



PO-19 名古屋学芸大学

被災地活動での名古屋学芸大学学生の学び

復興庁が行う復興・創生インターン、本学が独自に行う被害市日本大震災の被災地活動から、学生が何を行い、何を考えたのかをポスターで報告する。被災地での活動は、支援のみならず学生の学びにつながっている。



PO-20 2市3町防災ひろめ隊

迫りくる南海トラフ大地震への備えにむけて

隣接する自治体等が開催したフォーラムをきっかけに、地域の民間のボランティア等同士が連携して、防災活動をしている状況を報告します。



PO-21 一般社団法人DroneAI技術研究機構

災害復興および防災の新しい技術

災害時において被災状況把握は、緊急を要する重要な事項である。特に、救命救助にあたり迅速な活動ができるか、時間の勝負である。Drone、AI、ロボットなどのご紹介とあわせて災害現場で利用可能な技術の紹介を行う。



PO-22 公益社団法人日本医師会

災害と医師会

超高齢社会が進む中、地域包括ケアを構築し、被災地の高齢者、妊産婦、小児、外国人等の災害時要配慮者の医療・健康管理が重要です。来場者の皆様に対し、そうした医師会活動をご紹介します、理解を深めていただきます。



PO-23 NPO法人土砂災害防止広報センター

土砂災害から身を守る「サキモリ(先守)」

近年、激甚な豪雨災害・土砂災害が多発しています。「サキモリ」は、河川砂防工事現場の従事者や住民が適切な避難行動をとれるよう開発されたシステムです。このシステムの構成や導入実績などをご紹介します。



出展概要 〈名古屋コンベンションホール 3F〉

PO-24 日本地球惑星科学連合 (JpGU)

日本地球惑星科学連合 (JpGU) の活動

JpGUは地球惑星科学と関連分野にかかわる研究者、学生、市民の方々と51学会からなる学術団体です。JpGUの活動、連合大会での災害対応関連セッション、環境災害対応委員会の活動をご紹介します。



PO-25 リアルタイム地震・防災情報利用協議会 (REIC)

「リアルタイム地震被害推定情報」の実用化

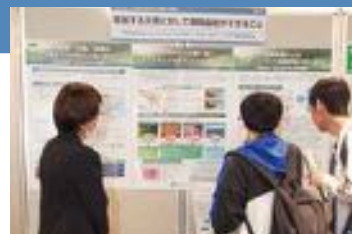
国立研究開発法人防災科学技術研究所の研究成果である「リアルタイム地震被害推定情報」の利活用についてポスター出展します。このポスター展示では、実用例や、「見える化」のためのツールの紹介、運用方法などをご紹介します。



PO-26 MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

増加する災害に対して保険会社ができること

地震保険と水災保険のしくみ、Eco-DRR（生態系を活用した防災・減災）の考え方、「気候変動による洪水頻度変化予測マップ」など、自然災害に対するMS&ADインシュアランスグループの取組を紹介します。



PO-27 一般社団法人日本建設業連合会

建設会社の防災活動

①パネル展示・当会の紹介・東日本大震災への対応・防災技術の紹介 ②建設防災トレカの配布 ③冊子・パンフ等の配布・震災時初動対応ハンドブック・建設業ハンドブック2019・Ace（当会広報誌）等



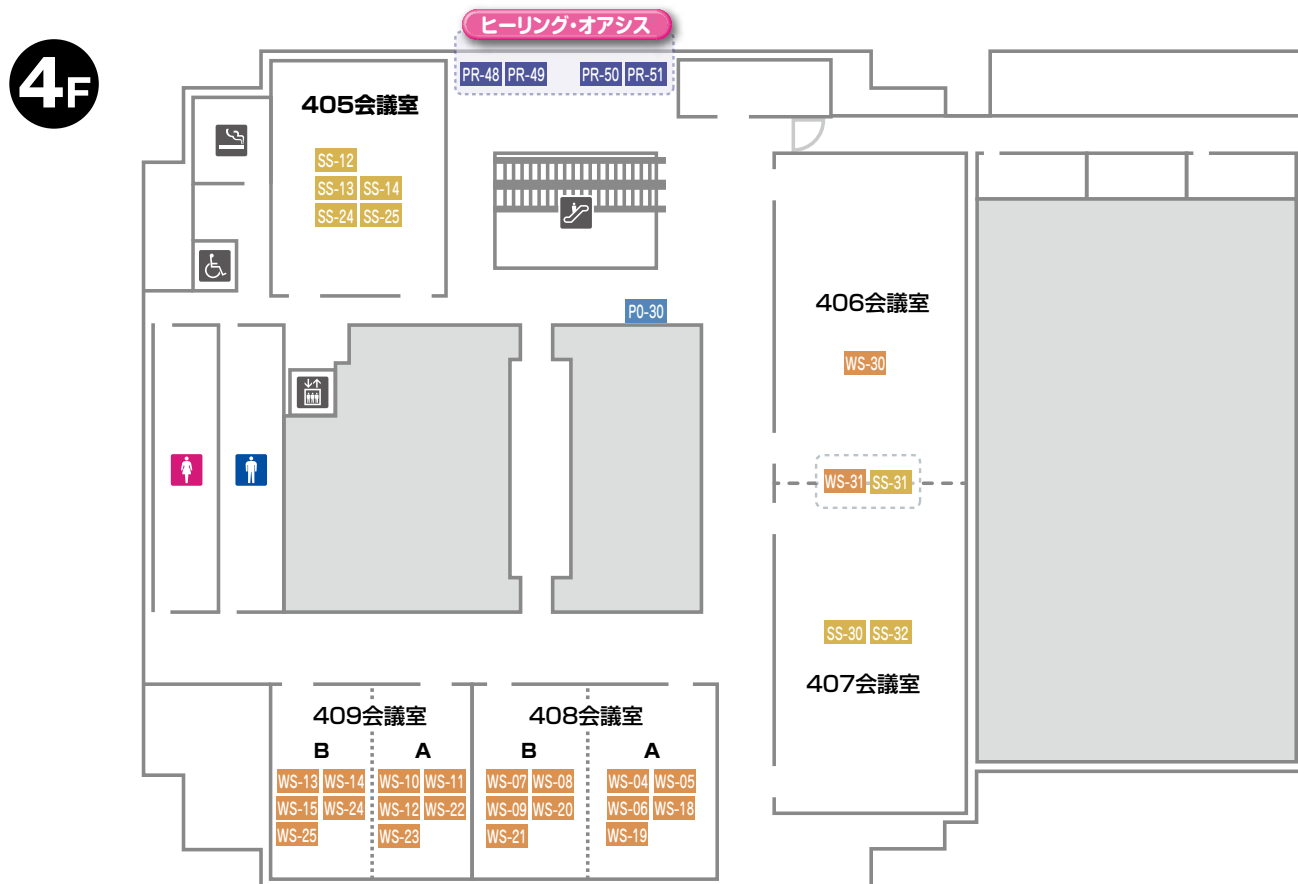
PO-28 一般社団法人静岡県建設コンサルタント協会

静岡県防災的公園ガイド「CONPA」

地域コンサルの視点から身近な公園の防災的機能を紹介した小冊子「静岡県防災的公園ガイドCONPA」を作成。自治会活動、ママ防災塾、中学校の授業でも教材として使用され地域社会の中で機能しています。



名古屋コンベンションホール 4F



WS-04

408A会議室

10/19 (土)

10:30~12:00

国土交通省中部地方整備局

遊んで楽しく防災について学ぼう！

防災教育ツール（カードゲーム）や水害から命を守るためのポイントが分かる動画を紹介する他、防災関連パネルや国土交通省照明車のミニカーなどを展示し、防災を気軽に学んでいただけるブースです。



WS-05

408A会議室

10/19 (土)

14:30~16:00

中部電力株式会社

おもしろ工作「電池チェッカーづくり」

おもしろ工作を通じて、電気の大切さを学びます。①座学:発電所でつくられた電気が各家庭に届くまでを学びます。②工作:サーモテープとアルミテープを使い、乾電池の残量が分かるシートを作ります。



出展概要 〈名古屋コンベンションホール 4F〉

WS-06

408A会議室

10/19 (土)

16:30~18:00

シャチハタ株式会社

防災・減災スタンプラリー

自然災害に関する知識を講義で学んだ後、実際の災害が起きた時、自分だったらどのような避難行動をとるのか、個人で考えながらスタンプラリーを行っていただき、災害時の疑似体験をしていただきます。



WS-07

408B会議室

10/19 (土)

10:30~12:00

生活協同組合コープあいち

家庭の防災・備蓄品について考えよう

- ・チラシを使って食器づくり・ローリングストックのお話・防災用品の紹介。
- ・いざという時に役立つ防災豆知識を共有しましょう。



WS-08

408B会議室

10/19 (土)

14:30~16:00

東邦ガス株式会社

エネルギーや防災について学ぼう

都市ガスの安定供給や安全使用、防災対策について学びます。
〈第一部〉エネルギーについて勉強し、最後にクイズを行います。
〈第二部〉地震など災害への備えや、発生した場合の対応について学びます。



WS-09

408B会議室

10/19 (土)

16:30~18:00

一般社団法人 Do It Yourself

電子工作×防災課題「雨量計をつくろう」

3Dプリンター出力の部品を組み立て、プリント基板へのはんだ付けを行い、ますが転倒する度にLEDが光る、転倒ます型雨量計を作ります。発展機能として、累積雨量の表示や、任意雨量でのメール配信も体験します。



WS-10

409A会議室

10/19 (土)

10:30~12:00

日本赤十字社

今日から始めよう!あなたが気づき、考え、実行する防災

日赤が展開する「赤十字防災セミナー」の特別プログラムとして、森永乳業様との協働による読み物を通じた過去の災害の追体験、実物を用いた非常持ち出し品の検討体験、災害に備えた日常備蓄の検討体験を実施します。



WS-11

409A会議室

10/19 (土)

14:30~16:00

福祉救援ボランティア「こだま」

避難所DIG

「DIG、HUGを実施したいが知識や経験がなくて」という方、避難所運営や配置について「図と付箋」を使って学ぶ演習を活用ください。自主防災会や学校授業でのファシリテーターを目指す人や、一般の人の入門編としても最適です。



WS-12

409A会議室

10/19 (土)

16:30~18:00

NPO法人高齢者住まいの研究会

「災害想定ゲーム KIZUKI」体験会

社会福祉施設の災害シミュレーション訓練。バーチャルな対戦型ゲーム体験から実際の熊本地震被災施設のバーチャルな実体験を織り交ぜながら、チームで意思決定しながら対応力を学んでいただきます。



WS-13

409B会議室

10/19 (土)

10:30~12:00

名古屋大学減災連携研究センター

名古屋大学げんさいカフェ in ぼうさいこくたい

世界で唯一、防災・減災だけをテーマに100回続いているサイエンス・カフェ。101回目の今回のテーマは「新潟県中越地震から15年～知られざる活断層の真実」。活断層研究の最新データをもとに専門家と市民とが対話します。



WS-14

409B会議室

10/19 (土)

14:30~16:00

独立行政法人都市再生機構

災害に強いまちづくりワークショップ

密集市街地等のまちを例にとり、まちに潜む危険について考え、災害に強いまちづくりに必要なことは何か、そのためにこういった対策がとれるかなどを考えるワークショップを行います。



WS-15

409B会議室

10/19 (土)

16:30~18:00

逃げ地図づくりプロジェクトチーム

防災まちづくりの起点になる逃げ地図づくり

津波や土砂災害、洪水など多様な災害からの「避難地形時間地図（通称逃げ地図）」づくりを参加者自身が各地域で実践できることを目指した講義とワークショップを開催します。



WS-18

408A会議室

10/20 (日)

10:00~11:30

名古屋市、国土交通省庄内川河川事務所

おやこで学ぶ！“いち”からふうすいがい

昔あった大雨や台風の様子を見た後、「ぼうさいまちがいさがしけんはっけん！（企画・制作：日本赤十字社、特定非営利活動法人プラス・アーツ）」やハザードマップで「風水害」にどう備え、にげるかを学びます。



WS-19

408A会議室

10/20 (日)

12:30~14:00

一般社団法人防災教育普及協会

防災クイズ&ゲームDay in ぼうさいこくたい2019

本協会では2016年より東京臨海広域防災公園を会場に「防災ゲームDay」を開催しています。各地の団体や官公庁等が作成している防災ゲーム教材、資料などを実施環境や解決したい課題に合わせてご紹介します。



出展概要 〈名古屋コンベンションホール 4F〉

WS-20

408B会議室

10/20 (日)

10:00~11:30

こくみん共済 coop 〈全労済〉

たのしく学ぼう! 災害とわたしたちにできること

ペーパークラフト「紙ぶるる工作」を通じた耐震実験コーナーの他、ロープを使って見せる新感覚の防災パフォーマンスショー「HyougeRope(ひょうげロープ)」を実施します。皆さま、ぜひお越しください。



WS-21

408B会議室

10/20 (日)

12:30~14:00

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

防災ジャパンダプロジェクト(防災ワークショップ)

自動車用のジャッキなど身近にあるものを活用した救助体験やカードゲームなどのワークショップを通して、いざという時の防災知識を、親子で楽しく身につけることができます。



WS-22

409A会議室

10/20 (日)

10:00~11:30

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

日用品を使って防災アイテムを作ろう!

新聞紙やゴミ袋など身近にある日用品は防災にも役立ちます。作った防災アイテムはお持ち帰りいただけますので、ワークショップで楽しく学びましょう! 時間内は出入り自由ですので、ぜひお越しください。



WS-23

409A会議室

10/20 (日)

12:30~14:00

株式会社明石スクールユニフォームカンパニー

災害発生、さあどうする!?~時系列で考える災害対応~

災害発生時に時系列でどのような災害対応ができるかをグループに分かれて行います。災害発生後に発生する出来事とその対応を考え、分かることと分からないことを明確にします。



WS-24

409B会議室

10/20 (日)

10:00~11:30

特定非営利活動法人ウェザーフロンティア東海

みずから命を守る! 避難行動ワークショップ

水害は雨量や河川水位に応じてリスクが変化するが、住居の立地や居住条件によって様ではない。今回はこの水害リスクを時系列で体験し、避難判断と避難行動のタイミングを各個人で考える訓練を行います。



WS-25

409B会議室

10/20 (日)

12:30~14:00

(一社)日本建築構造技術者協会中部支部(JSCA中部支部)

「今度、マンションつくるの!」

3部で構成する。1部はJSCA性能設計に関する講演。2部はドラマ仕立て、新築マンション計画についてオーナー側の希望、質問などに設計者側が1部の内容を踏まえて回答する内容。3部はまとめ。



WS-30

406会議室

10/20 (日)

10:00~11:30

ぼうさいこくたい 2019 関連事業実行委員会

巨大地図とストローとお菓子でおいしく学ぶ?!

巨大プロジェクションマッピングの上で災害を想定→プリンとお菓子で地盤と建物の関係を実食?!→ストローで揺れに強いかたちを考えて大切なひとの命と家を守ろう。※お菓子のワークショップのみ先着30名。



WS-31

406+407

10/20 (日)

12:30~14:00

ぼうさいこくたい 2019 関連事業実行委員会

地域の災害を伝える全国の地元新聞

【公開取材】地域に密着している地元紙が公開インタビューで被災地の生声をお届けします。あらためて過去の災害を知り、風化されていく現状と地元紙の役割、今後の課題を話し合います。



PR-48 株式会社ヤマト

純国産の管理医療機器「ゴールドフィンガー」

最新型純国産の管理医療機器ゴールドフィンガーのご紹介です。全身の血行促進、リンパケア、むくみ予防などに幅広くお使いできます。是非お気軽にブースまでお立ち寄りください。



PR-49 株式会社メルシー

管理医療機器「エスコート・H」

「エスコート・H」はコンパクトボディで、全身のケアができる日本製の医療用具です。全身の血行促進・フットケア・むくみ予防・運動不足の解消など幅広くお使いいただいています。ぜひ一度ご体感ください。



PR-50 アクアテック株式会社

水は買わずに作る時代！湧き出る泉をご提供

アクアテック株式会社では、災害時に電気さえあれば、空気から水という資源を生み出す新発想ウォーターサーバーの開発に成功いたしました。災害時に、美味しい冷水・温水・常温水が常に飲みたい放題。ブースにて試飲会を行っています。



PR-51 大丸鐵興株式会社

災害に備えた水対策

飲み水だけでは不十分。生活用水も確保しませんか？
災害による断水に対して、飲み水から生活用水まで確保できる家庭用小型貯水槽を展示します。実際の製品で断水時の水を取り出す体験ができます。



出展概要〈名古屋コンベンションホール4F・パークエリア〉

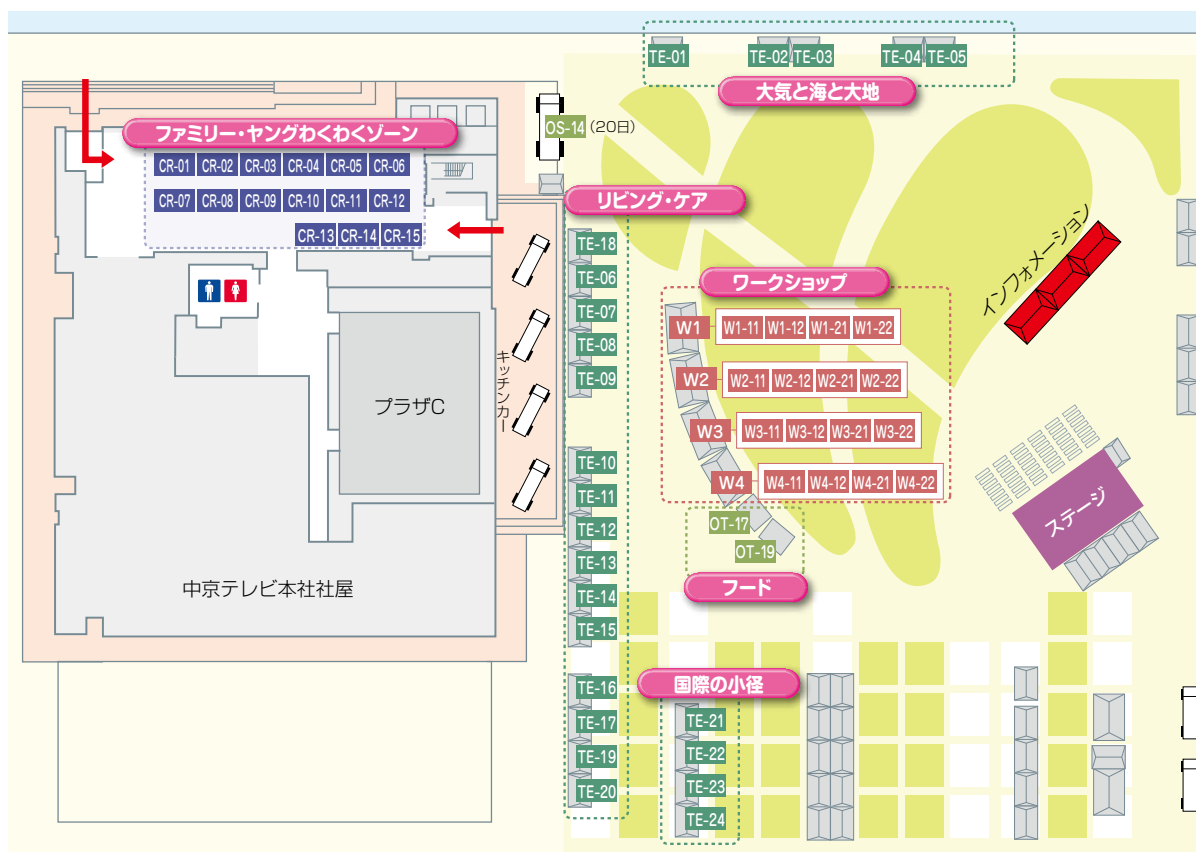
PO-30 内閣府・防災推進協議会

第34回防災ポスターコンクール受賞作品

内閣府、防災推進協議会は、防災意識のより一層の高揚を図るため、防災に関するポスターデザインを広く一般から公募を行う「防災ポスターコンクール」を実施しています。昨年度行ったコンクールにおいて入賞した作品を展示しました。



パークエリア・中京テレビ



W1-11

W1テント

10/19 (土)

10:30~12:00

特定非営利活動法人地図で防災・まちづくりサポート

地図がオタクで役に立つ 地図で楽しく防災を

世の中にある様々な地図を見ながら、防災情報を読み解いていきます。講師は、地図会社の社員と元社員。地図オタクの知識を、地道に防災に役立たせます。みんなでワイワイ地図を眺めて、楽しく防災を学びましょう。



W1-12

W1テント

10/19 (土)

14:30~16:00

一般財団法人危機管理教育 & 演習センター

てこの原理を活用した救出方法の実演と体験

大規模災害において、消防、医療機関が各地の現場に手が回らない中、地域、職場において救出救護を自らでできるように災害対応能力(知識とスキル)を持った女性チームによるてこの原理を活用した救出活動方法を紹介します。



W1-21

W1テント

10/20 (日)

10:00~11:30

公益財団法人名古屋まちづくり公社名古屋都市センター

まちづくり情報システムで発見！まちの特徴

ISM (まちづくり情報システム) は、名古屋大学と名古屋都市センターが共同開発した名古屋市内を対象とした地図情報を使ったまちづくりの支援ツールです。災害に備えまちの地形上の特徴やその変遷を学んでもらいます。



W1-22

W1テント

10/20 (日)

12:30~14:00

愛知・川の会

川筋の変遷とその痕跡から防災を考えよう

愛知県内のいくつかの川について、旧版地形図や地形の特徴的な写真を用いて、どのような川筋の移り変わりがあったかを探り、過去の災害から現代にいたる河川工事を紹介します。(冊子「川筋の変遷とその痕跡」配布)



W2-11

W2テント

10/19 (土)

10:30~12:00

災害関連死ゼロを目指す防災衛生会議

災害関連死ゼロを目指す「防災衛生」の進め方

避難生活の中で命を落とす「災害関連死」に対し、トイレ管理や感染症・脱水状態における「防災衛生」の観点から、特に避難所での(1)具体的な「自助」での対応(2)「共助や公助」での準備の考え方を学びます。



W2-12

W2テント

10/19 (土)

14:30~16:00

NPO法人日本ジオパークネットワーク

大地の成り立ちから知る防災のヒント

ジオパークネットワークでは、災害を伝え身を守る取組として、大地の成り立ちを学ぶことにより起こった災害これから起こるであろう災害を知り、体験談や遺構により災害を伝えている。そのような取組を例に論議する。



W2-21

W2テント

10/20 (日)

10:00~11:30

日本福祉防災楽会

社会福祉施設の災害対応力 新たなネットワーク!

繰り返し起こる大規模災害で多くの社会福祉施設が被災しています。BCPの策定やゲームを使った訓練で災害対応力を高め、かつ、災害時相互応援の全国ネットワーク作りで次の災害に備える!



出展概要 〈パークエリア〉

W2-22

W2テント

10/20 (日)

12:30~14:00

社会福祉法人共生福祉会

防災用品のご紹介

災害対応のため出展取りやめ

避難所用プライベートシェルター「アローエコキャビン」を体験していただき、プライバシー、防音、防寒を体感していただきます。



W3-11

W3テント

10/19 (土)

10:30~12:00

防災専門図書館(公社 全国市有物件災害共済会)

「防災いろはかるた」で遊ぼう！

防災専門図書館のオリジナルコンテンツ「防災いろはかるた」は、諺をもじった面白いかるたです。そのかるたを使ったクイズに回答しながら、防災について学べます。伊勢湾台風の資料も展示します。



W3-12

W3テント

10/19 (土)

14:30~16:00

NPO法人達人塾ねっと

あなたの住宅も安価に耐震改修

前半は、木造住宅の安価な耐震改修についてわかりやすく説明する説明会を行い、後半は、安価な耐震改修が実施できる設計者が相談者となり、参加者の相談に応じる。



W3-21

W3テント

10/20 (日)

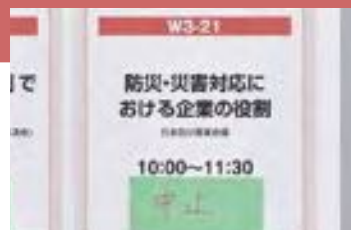
10:00~11:30

日本防災産業会議

防災・災害対応における企業の役割

災害対応のため出展取りやめ

防災・減災あるいは災害対応・復旧復興支援について企業の果たすべき役割、地域・市民社会から企業に対する防災分野でのニーズ、協力の枠組みなどについて議論する。



W3-22

W3テント

10/20 (日)

12:30~14:00

四日市市

－「チーム四日市」～学生消防団員の活躍－

四日市市消防団学生機能別団員による炊き出しワークショップとチーム四日市の活動～学生機能別団員発足までの流れをパネル等で展示。



W4-11

W4テント

10/19 (土)

10:30~12:00

一般社団法人日本森の十字社

備蓄木で炊き出し用の薪を作ろう！

災害時用の備蓄燃料「備蓄木(びちくぼく)」を使って炊き出し用の細かな薪(まき)作りを体験して、小さな火から丸太に火が付くことで一度に大勢の人が屋外で暖をとることができるイメージをしていただきます。



W4-12

W4テント

10/19 (土)

14:30~16:00

アイコム株式会社

災害時のBCPに頼れる無線機たち

災害時の通信においては、より効率的な連絡方法として無線機の活用が求められます。自主防災で利用される小エリアから世界中が通話エリアの衛星無線、またボランティア活動等で活躍するアマチュア無線まで、防災通信のノウハウを共有いたします。



W4-21

W4テント

10/20 (日)

10:00~11:30

まいにち株式会社

災害用トイレ「マイレット」

近年、地震・台風・ゲリラ豪雨等の災害が起きています。災害時に我慢できないトイレの対策が必要です。トイレは衛生的に処理することが重要です。「マイレット」は抗菌・消臭効果がありますので、ぜひ見に来てください。



W4-22

W4テント

10/20 (日)

12:30~14:00

名古屋市

わたしの家の“びちく力”をはかろう！

家庭での備蓄チェックリストを用いて、食品が描かれたカードの中から、主食、主菜、副菜、水など、災害時をイメージして何を備えたらよいのか、家庭での備蓄を親子で考えるワークショップを実施します。



TE-01 応用地質株式会社

相手を知り己を知って巨大災害を生き延びる

南海トラフ巨大地震でどのようなことが起こるのかを想像し、そして皆様がいる場所の地盤の特性（脆弱性の有無）を知ることで、大規模災害後も事業を継続するために何を備えるべきかを考える材料を提供いたします。



TE-02 一般財団法人日本気象協会

豪雨・暴風疑似体験学習「ヘラセオン」

ニュースや天気予報で耳にすることがある危険な気象条件「時間雨量50ミリ」や「平均風速30メートル」を疑似体験できる【HERASEON:ヘラセオン】。このアトラクションは大雨で身体がぬれることも、暴風で飛ばされることもありません。小さいお子様でも体験いただけます。



TE-03 気象庁名古屋地方気象台

災害から身を守るための防災気象情報

気象庁は顕著な自然現象が発生・予測された場合に、住民が自らの命を守るために重要な防災気象情報を発表しています。防災気象情報の活用促進のため、パネル展示、ビデオ上映、リーフレット配布等を行います。



TE-04 名古屋港管理組合

名古屋港の防災施設について

「命」を守ること、その後の「生活」を守ること、さらに、「産業」を守ることを施策の柱としたハード・ソフト両面からの防災・減災対策の取組状況を紹介します。



TE-05 熊本県

熊本地震から3年～復旧・復興と、教訓の伝承～

熊本地震からの復旧・復興の様子を写真や映像で紹介するほか、熊本地震の体験を語り継ぐ映像など、その教訓を伝承する取組も紹介します。また、熊本地震の対応で中心を担った職員による防災講座も開催します。



TE-06 愛知県弁護士会

災害に対し、法や弁護士ができること

災害が発生すると、様々な法律問題が発生します。これらの法律問題を解消しなければ、災害で受けた被害からの回復は進みません。今回の展示では、災害時の法律問題や、災害関連の弁護士・弁護士会の活動を紹介します。



TE-07 NPO法人日本防災用品技術研究協会

避難用“手押し車”試乗体験会

- ①現状の災害緊急時における人の搬送説明 ②手押し車の3種類の用途説明
- ③手押し車と椅子の脱着方法説明 ④実際に乗車して安全性・安心性の確認
- ⑤実際に運転して楽に搬送できることの確認



TE-08 特定非営利活動法人みやぎセルフ協働受注センター

3.11 ソレカラ

東日本大震災で被災した障害者・福祉職員のパネル展示を行います。彼らの体験を知っていただくことで、震災記憶の風化を防止し、「共助」について考えるきっかけになることを願っています。



TE-09 株式会社明治ゴム化成

「災害時の水の供給」と「ゲリラ豪雨対策」

ゲリラ豪雨など災害が多い国に対し今回展示の雨水対策「アクアトラップ」は20年前から、防災コンテナ「コンボアクア」は5年前より提供しています。ブースでは製品に触れていただき身近に感じていただければと思います。



TE-10 ビット・パーク株式会社

「解錠 Box」、「廃プラ油化装置」で応災支援

- ①「地滑り検知器・警報機」「自動解錠Box」等のIoTシステム
- ②GPS応用で屋外活動の可視化、見える化及び緊急対応措置手段
- ③応災手段として廃棄プラ油化によるエネルギー確保



TE-11 一般社団法人日本照明工業会

エリア防災非常灯のご提案

街全体の停電でも安全に避難できる“あかり”また避難生活をサポートする“あかり”をご提案します。



TE-12 日東工業株式会社

体験可！感震ブレーカー&停電時の携帯充電

実際に製品を展示し電気インフラの災害対策について周知していきます！

- ◆揺れを感知しブレーカを自動で遮断！地震発生時の電気火災を防止する感震ブレーカー
- ◆太陽光発電により停電時にも電気供給ができる独立電源盤



TE-13 株式会社フジタ

プライバシーに配慮した災害用簡易ベッド

災害用簡易ベッドを出展しています。プライバシーに配慮したテント付ベッドです。収納はコンパクトで組立てに工具は不要です。2台で組むと2段ベッドになります。快適な居住性をぜひ体験してください。



TE-14 一般社団法人浄化槽システム協会

災害に強い浄化槽システム

浄化槽カットモデル、マンホールトイレ、パネル等を展示し、浄化槽のもつ浄化機能の解説、単独浄化槽と合併浄化槽の違い、減災・防災に寄与する浄化槽システム、仮設住宅で活躍する浄化槽などの紹介をします。



TE-15 株式会社カワハラ技研

災害対応組立式備蓄型個室トイレ「ほぼ紙トイレ」

災害直後から、すぐに使える。工具無しで組立可能。備える防災備品：実物展示、組立動画の放映パンフレットの配布。スマートフォンでの組立方法の動画を確認体験。日常から防災意識を高める備蓄方法の提案。



出展概要 〈パークエリア〉

TE-16 梅花堂紙業株式会社

これまで無い、避難所のアメニティ向上製品

避難所でのプライバシー保護や、居住性、ストレスの解消を改善できる製品のご提案！・避難所での女性と子供のプライバシーと安全を確保する「シェルター」・使い捨てトイレや備蓄スペースを無駄にしない養生シート



TE-17 セコム株式会社

被災地支援・あんしん防災シェルターの紹介

弊社の技術やノウハウをもとに行政や社会福祉協議会、NPO等と連携して実施する独自の被災地支援活動のほか、その経験を活かし開発した車両型の移動式モニタリング拠点や防災シェルター（実機有）をご紹介します。



TE-18 有限会社扇光

天然木材の香りで癒される耐震シェルター

耐震シェルター「減災寝室」を展示します。「減災寝室」は天然木で作られ、その香りは安眠効果が期待できます。独立した個室としても利用でき、日常の生活空間として使っていただくシェルターです。



TE-19 B- ステーション

あんしん防災相談室 備えあれば…

防災シェルター構の衝撃度実験映像、ウォーターメーカーの実演、防災用防災カメラ実験、あんしんポールの公開映像



TE-20 株式会社光レジン工業

家屋内設置型、小型津波対策用シェルター

公助による防災対策が整備される中においてなお、避難完了時間内に避難を完了できない方々の「最後の砦」として防災・救命シェルターCL-HIKARIを提供しています。



TE-21 特定非営利活動法人国連UNHCR協会

UNHCRによる難民・避難民への支援活動

国連の機関である国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）が世界130ヶ国以上で行っている災害（地震・台風・津波）で避難を余儀なくされている人々への支援活動を紹介し、継続支援の説明を行います。



TE-22 株式会社危機管理教育研究所

インバウンド&福祉 発災直後の課題解決！

①来日外国人や要配慮者への情報提供や支援者との連携をサポートする「コミュニケーションツール」の紹介 ②発災直後、課題となる衛生排泄用品の具体的な使用例の紹介 ③被災地支援の際に撮影した事例の紹介



TE-23 独立行政法人国際協力機構（JICA）JICA中部

災害に強い社会を世界の人々に

開発途上国におけるJICAの防災分野の活動を、パネルや映像などを使って紹介します。



TE-24 愛知大学三遠南信地域連携研究センター 中国北京師範大学、中国深圳都市計画研究院

中国防災・減災、復旧と復興の現状と展望

2008年の「四川大地震」を踏まえ、中国災害リスク管理、復旧・復興に関する政策、体制、技術と教育を紹介する。「四川大地震」に日本から多大な支援をいただいた。日本の危機管理ノウハウを学び、関係者間の交流を図りたい。



OS-14 飛鳥特装株式会社

地震体験（3次元起震装置搭載地震体験車）（20日のみ）

過去の大震災、そして今後予測される地震、それらの揺れを経験し、万全の備えを。飛鳥特装の地震体験車は様々な地震動を再現し、過去に発生した大地震はもちろん、未来予測されている地震動、震度段階にあわせた揺れも再現し、地震に備える心構えを身につけていただくのに最適です。



OT-17 株式会社コトブキ

知ることから始めよう街の防災

意識向上のために参加者の反応興味を伺いながら、コミュニケーションをとり、しっかり理解していただくことを目指します。かまどベンチを実際に利用して防災用非常食を配布することを希望しています。（提供企業との連携）



OT-19 ヤマヤ物産有限会社

避難所生活での炊き出し支援と就寝支援

益城町や厚真町での炊き出しシステムの展示：炊き出しは大量調理・衛生管理など必須課題がある。これらを満足させるため有機的に機能できるようシステム化を進めている。また就寝時の寒さ対策として足元暖房を動態展示。



出展概要 〈パークエリア・中京テレビ〉

ST-01 なごや防災ポラネット

コント！防災ファッションショー

屋外ミニステージにて、地震が起きたとき、家具止めがしていない部屋は、どうなるの？発災した自宅から、避難所生活まで被災者の生活を寸劇風にして、防災対策の大切さを迫真の演技でお届けします。



ST-02 ビージーエムスクエア実行委員会

神戸発の防災音楽フェス「BGMスクエア」

音楽を通じた防災啓発の実演。音楽やイベントを通じて防災に親しみを持てるよう、伝え方を創意工夫しています。楽しいイベントの中に込められたメッセージや、横のつながりを作るための企画など、実践してきたことをお伝えします。



ST-03 一般社団法人いのちを守る@プロジェクトJAPAN

いのちを守る@防災劇場

楽しく真剣に学べる新感覚防災セミナー！マジックやマイムなどを組み込み「魔法学校」の生徒たちと会場のお客様が一緒になって防災について考えていくストーリー。ファシリテーターのマジシャンKassy粉する「かしぱん先生」と個性的なパフォーマー達と「いのちを守る」術について学びます。監修:高貝正芳



CR-01 YY防災

地域と学校の防災とは 経験者がお伝えします

地域防災リーダーの経験と東日本大震災指定避難所運営責任者の経験から防災減災危機管理アドバイザー、四度の地震災害経験から地域防災と学校防災の活動をご紹介します。防災減災の力はお任せください。



CR-02 株式会社ユタカメイク

災害時に使用する応急屋根材

台風や地震などで瓦が飛んだり破損したりした場合、瓦が長期に渡って供給されないことがあります。その際に瓦の代用として使える屋根材や屋根専用シートの説明を行います。



CR-03 機能ガラス普及推進協議会

窓を防災安全ガラスにして災害への備えを。

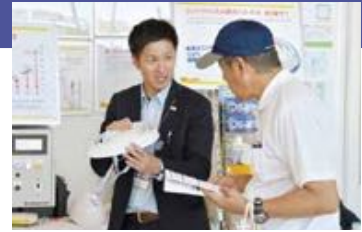
「防災安全ガラス」を出展いたします。一般の方だけでなく避難所を管轄する自治体の方にもパネルや映像とともに、実際にガラスサンプルをお見せし防災安全ガラスへの理解、またその必要性を感じていただきたいと思います。



CR-04 加賀産業株式会社

災害時のヘルメット着用効果とその必要性

ヘルメットには重要な頭部を落下物等から守る効果があるのにも拘わらず、普及率は20%にも満たない状況です。折り畳みヘルメットの展示を通じて、具体的な衝撃荷重値をもとにヘルメットの必要性、収納方法を訴求いたします。



CR-05 株式会社PKウェブ

災害関連死を減らすためにできること

止血帯や救急包帯などの戦傷救急用品や装備品が、自然災害や人為災害などの緊急時に有効であることが認識されはじめています。これらの緊急用品および、超急性期や避難時に必要な資機材をご説明いたします。



CR-06 株式会社MT-NET

南海トラフ地震に備える！地域と企業の災害備蓄

地域コミュニティや企業向けの備蓄相談コーナーを設置。展示商品は非常用トイレ「非常戦隊トイレマン」、各種備蓄食料品、飲料水など、新商品の防災ラジオも展示予定。備蓄品選定でのお悩み解決もお手伝いします。



CR-07 アールシーズンソリューション株式会社

アプリを活用した避難支援に関する実験報告

ゲリラ豪雨からの避難支援に向け、降雨予報アプリ『あめふるコール』を使い、ユーザーに大雨予報を通知した際の行動変容を調査しました。調査の経過報告を紹介します。また、新しい防災アプリの展示もおこないます。



CR-08 愛知県ブラアイチ事務局

ブラアイチ ～歴史と地形から愛知を知る～

ブラアイチは、まち歩きイベントを通じ、「防災意識」や「まちづくり意識」の啓発などを図る取組です。歴史や地形に着目した、愛知県内のまちの成り立ちや防災につながるストーリーを紹介します。



CR-09 国土交通省国土技術政策総合研究所

道や川や街の「ぼうさい」

国総研は、「毎日明るく、安心してらせるように」、「安全で、住みやすい街になるように」、「美しい地球を未来に引きつげるように」、する研究所。災害からみなさんを守る、道や川や街の「ぼうさい」を見てください。



CR-10 三重県・三重大学 みえ防災・減災センター

災害体験談や防災紙芝居紹介（アーカイブ）

当センターでは、昭和19年東南海地震や昭和34年伊勢湾台風など県内の被災者の災害体験談、地震津波の碑及び防災紙芝居などタブレットを使用して「みえ防災・減災アーカイブ」を紹介します。



CR-11 一般社団法人防災ジオラマ推進ネットワーク

段ボールジオラマ防災授業

組立式のジオラマキットを活用したワークショップ型の防災学習プログラムのご紹介です。自分の住んでいるエリアの地図が印刷された段ボール製のジオラマを組み立て、楽しみながらまちの地形や災害リスクが学べます。



CR-12 認定NPO法人はままつ子育てネットワークぴっぴ

発災後の乳幼児支援『つながる支援パック』の取り組み

乳幼児や障がい児を連れて支援物資を貰うためにその都度並ぶのは大変という被災者からのヒアリングをもとに、「つながる支援パック」として物資を一人分ずつセットして配布するためのオリジナルマークと仕組みを考案。



CR-13 『いつか君の花明かりには』製作委員会

防災啓発ドキュメンタリー映画『いつか君の花明かりには』

悲しみが繰り返されないために、だれも後悔しないために、防災を「温かく」伝える異色の災害関連ドキュメンタリー映画です。ブースでは映画のご説明、予告編の上映、自主上映会開催についてのご説明などをします。



CR-14 静岡大学学生防災ネットワーク

地域ネットワークの中の学生防災団体

当団体のこれまでの活動をパネルやパワーポイント・作成したツール展示により説明します。「学生にもこんな活動ができる」ということを当団体の活動からアピールしていきます。



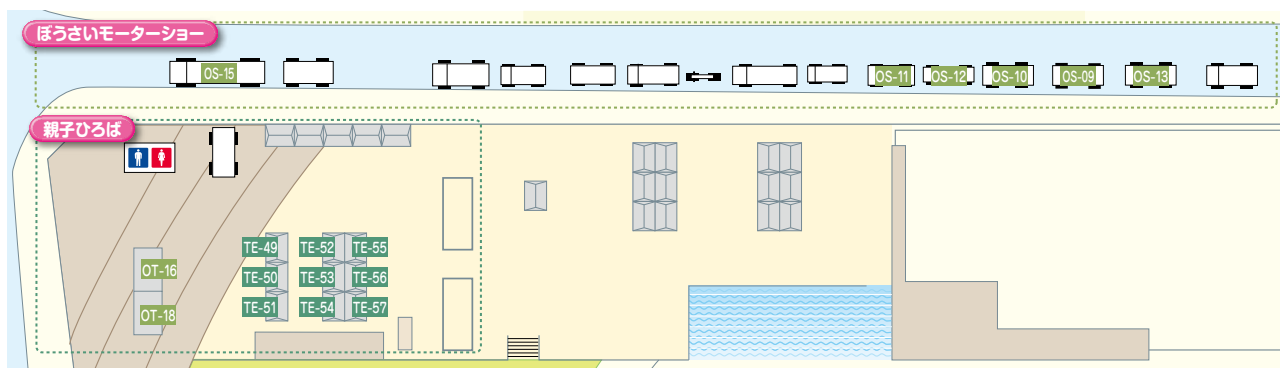
CR-15 エピスタ・コーポレーション／株式会社プリート

ノンアルコール化粧品ウェットティッシュ

災害時や緊急時に、全身が拭ける世界で唯一の化粧品類のウェットティッシュ「エピスタプロブル」と、弊社独自の「自立型携帯トイレセット」入りの新商品「エピスタレスキューinポーチ安心セット」をご提案します。



チャネルゲートエリア・ぼうさいモーターショー



TE-49 LOKホールディングス、株式会社愛知共同企画

【おかずブランド】防災で社会貢献

防災レトルト非常食の販売を通し、社会と福祉施設との懸け橋となる事業の企画の展示、防災食のシール貼り作業、パッケージ作業のパネル紹介、防災レトルトセットの展示。



TE-50 一般社団法人防災安全協会

beyond2020に向けて防災力を高める

beyond2020に向けて、日本の優れた防災力を国内外に広め、災害食大賞の優秀品の展示や試食、インバウンド対応の防災推奨品を紹介する。



TE-51 セカンドハウス

人とペットの災害対策

ペットの飼育者へ、災害対策を促すイベントのご提案。及び、自分の現状把握（何が備えられていて、何が備えられていないのか）ができる「減災教室 ペット編」等のご紹介。



出展概要 〈チャネルゲートエリア〉

TE-52 Yahoo! JAPAN

体験イベント「わたしの防災ブック」を作ろう

東日本大震災発生から1週間の「Yahoo!検索」のデータから性別や年齢、生活環境によって一人ひとりの知りたい情報が違うことがわかりました。ブースでは143種類のカードから選択し、あなただけの防災ブックをつくれます。



TE-53 NTTタウンページ株式会社

防災タウンページで日頃からの備えを！！

防災に備えた日頃の準備などをわかりやすく掲載した「防災×医療タウンページ」等を展示いたします。全国の全住戸・全事業所を対象にお届けしており、各自治体の避難所や公衆電話を明記したMAPも掲載しています。



TE-54 災害復興支援団+ONE

災害復興支援団+ONE活動紹介

災害発生時を想定したクイズや、シミュレーションゲーム、活動紹介を行います。



TE-55 防災ママかきつばた

親子の備えを学んで体験！防災絵本販売も♪

乳幼児親子に向けて、分かりやすく楽しく♪防災啓発をしている市民団体。行政・自治会・企業・教育機関などとコラボや防災絵本「ちきゅうくんのくしゃみ」の制作も。ここでしかできない体験もご用意しています♪



TE-56 一般社団法人中部地域づくり協会

自然に学び、自然に備える～防災体感VR～

「伊勢湾台風から60年パネル展示」や「VRによる浸水体感」、体験型の防災学習として「防災科学実験」を実施。また、防災啓発冊子「近年の豪雨災害記録集2018」の配布などを通して防災意識の向上を図る。



TE-57 有限会社アシストコム

VRで新しい防災訓練、防災学習

家具が揺れ・転倒する様子を音も含めて体験できる地震VR「地震時建物応答可視化一斉再生システム」と自転車漕いで後ろから迫ってくる津波から逃げる津波VR「津波速度体感装置」の展示・体験コーナー。



OT16 横田瀝青興業株式会社

タンクローリー直結型計量機どこでもスタンドⅡ

タンクローリーに直結する燃料計量機。タンクローリーに積載したガソリンをはじめ灯油、軽油等の燃料を安全に取扱うことを可能にします。災害時における燃料サプライチェーンの強靱化に貢献します。



OT-18 クラーク株式会社

多頭飼育用避難ハウス・被災時診療テント

避難所に身を寄せられないペットたち。もしもの時あなたは どうしますか？ 飼い主とペットが安心して過ごせる多頭飼い向け避難ハウスと臨時診療所にもなる動物医療用テント、二重扉、密閉床等脱走防止対策も万全です。



OS-09 一般社団法人助けあいジャパン

みんな元気になるトイレ

災害対応のため出展取りやめ

災害時は、清潔で明るいトイレが50人に1つ必要です。日本は圧倒的に不足しています。全1,741自治体が一括ずつトイレトレーラーを持ち、速やかに集結しトイレ問題を解消する助けあいのネットワークをつくります。



OS-10 国土交通省中部地方整備局

災害対策車両「照明車」の展示

災害対応のため出展取りやめ

中部地方整備局の所有する照明車の紹介をします。照明車…夜間や悪天候時に、安全で確実に作業ができるように十分な照明を確保し、作業の支援を行います。



OS-11 総務省東海総合通信局

災害時における通信確保・情報発信のための支援

東海総合通信局が保有する「移動電源車」、「災害対策用移動通信機器（衛星携帯電話等）」及び「臨時災害放送局用設備」の展示を行い、災害時における情報通信の確保支援や情報伝達の重要性について紹介します。



OS-12 KDDI株式会社

災害対策関連サービスの展示・体験

災害対応のため出展取りやめ

KDDIでは災害時にご利用いただける災害用伝言板サービス、無料wi-fi/充電ボックスの紹介の他、大規模災害時に活躍する車載型基地局の展示や、普段はなかなか目にするこくない衛星携帯電話の体験通話も行っています。



出展概要 〈ぼうさいモーターショー〉

OS-13 公益社団法人日本薬剤師会

薬剤師会モバイルファーマシー展示

モバイルファーマシーはキャンピングカー等を改造した、薬局機能を搭載した災害対策医薬品供給車両で、電力や水の途絶えた被災地の医療救護所等で自律的に調剤業務と医薬品の供給を行います。是非、ご覧ください。



OS-15 トヨタ自動車株式会社

燃料電池バス（トヨタ SORA）体験試乗会

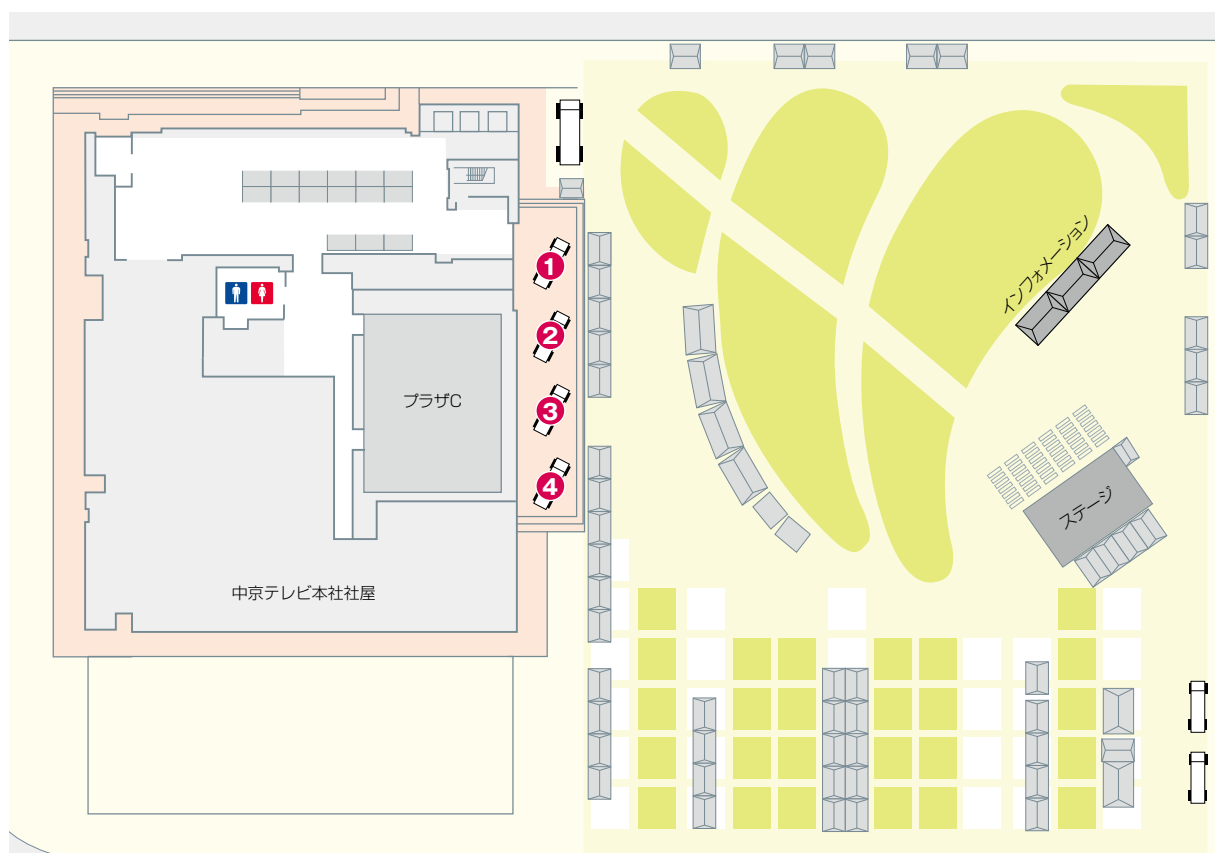
大容量の外部給電機能を有する「燃料電池バス」の展示および試乗を行い、環境負荷の低減だけでなく、災害時の高い対応能力についてもご紹介いたします。



その他の展開

その他の展開 〈キッチンカー〉

中京テレビ東側に休憩が取れる場所としてキッチンカー4台を設置し、軽食を提供しました。



出店者名	販売メニュー	写真	
① Brazil kitchen	シュラスコ串 ソーセージ サンドイッチ ドリンク		
② ORACCHI	ピザ クレープ ドリンク		
③ やっちゃん	たません ラムネ		
④ 66DINER	ハンバーガー ポテト チキンナゲット ドリンク		

その他の展開〈周辺施設割引クーポン〉

グローバルゲート内各店舗で使えるぼうさいこくたい2019割引券を来場者配布物に同封しました。
また、JICA中部なごや地球広場「カフェ クロスロード」で、当日プログラムをご提示いただくと飲食の割引き
が受けられるサービスを実施しました。



GLOBAL GATE GOURMET
— グローバルゲート・カフェ・レストランにてご利用 —

1F・3Fレストランは23:00まで営業中!
一部店舗により取扱店舗が異なります。

1. スターバックス
2. コーヒーショップ
3. スターバックス
4. コーヒーショップ
5. コーヒーショップ
6. コーヒーショップ
7. コーヒーショップ
8. コーヒーショップ
9. コーヒーショップ
10. コーヒーショップ
11. コーヒーショップ
12. コーヒーショップ
13. コーヒーショップ
14. コーヒーショップ
15. コーヒーショップ
16. コーヒーショップ
17. コーヒーショップ
18. コーヒーショップ
19. コーヒーショップ
20. コーヒーショップ
21. コーヒーショップ
22. コーヒーショップ
23. コーヒーショップ
24. コーヒーショップ

¥200
2018年10月1日(金)まで有効

本チラシと引換とさせていただきます。



JICA中部なごや地球広場〈外観〉



JICA中部なごや地球広場

その他の展開 〈ステージ〉

同日開催の「あいち・なごや防災フェスタ」ステージに「ぼうさいこくたい2019」から3団体が出展しました。

10月19日(土)

10:00	・オープニング ・ポッカレモン消防音楽隊による演奏 ・防災ソング 「備えよう!名古屋。みんなで!」 合唱披露①
11:10	・うんこ先生プレゼンツ① 「うんこしているときに、もし 震度7の地震がきたらどうする?」
12:00	・徳川家康と服部半蔵忍者隊の演武
12:30	- ST-02 ・神戸発の防災音楽フェス 「BGMスクエア」
13:40	・ロサンゼルス市への感謝状贈呈
14:00	・陸前高田市の 伝統芸能(太鼓)の披露
14:30	・愛知県防災貢献団体表彰
14:50	・名古屋市防災表彰式
15:20	・うんこ先生プレゼンツ② 「うんこしているときに、もし 震度7の地震がきたらどうする?」
16:00	・クロージング

10月20日(日)

10:00	・オープニング ・陸前高田市 中村さんと 人気キャラクターによる たのしい防災・減災トーク
11:10	・うんこ先生プレゼンツ③ 「うんこしているときに、もし 震度7の地震がきたらどうする?」
11:50	・時東あみとガチャピンの オッケー!BOUSA!!①
12:30	- ST-03 ・いのちを守る@防災劇場 (防災マジックショー)
13:10	- ST-01 ・コント!防災ファッションショー
14:00	・うんこ先生プレゼンツ④ 「うんこしているときに、もし 震度7の地震がきたらどうする?」
14:50	・時東あみとガチャピンの オッケー!BOUSA!!②
15:30	・防災ソング「備えよう!名古屋。 みんなで!」合唱披露② (歌:名古屋市立大・南山大・親山中 他、演奏:汐路中)
16:00	・クロージング



ポッカレモン消防音楽隊



防災ソング「備えよう!名古屋。みんなで!」



徳川家康と服部半蔵忍者隊の演武



うんこ先生プレゼンツ



時東あみとガチャピンのオッケー!BOUSA!!



ST-01 コント!防災ファッションショー



ST-02 神戸発の防災音楽フェス「BGMスクエア」



ST-03 いのちを守る@防災劇場(防災マジックショー)

制作物

制作物〈チラシ・ポスター〉

- 名称：防災推進国民大会2019告知チラシ
- 仕様：A4 片面・両面
- 印刷：150,500部
(片面版：500部、両面版：150,000部)

- 名称：防災推進国民大会2019告知ポスター
- 仕様：A2
- 印刷：2,000部



表面・ポスター



裏面

- 名称：当日プログラム
- 仕様：A4 中綴じ 24ページ
- 印刷：15,000部



裏表紙



表紙



p1-2



p3-4



p5-6



p7-8



p9-10

制作物 〈当日プログラム〉



p11-12



p13-14



p15-16



p17-18



p19-20



p21-22

大会オリジナルバッグ:10,000部

内容:当日プログラム、来場者アンケート、割引券、ピンバッジ、備蓄食



ビニール袋

アンケート



当日パンフレット

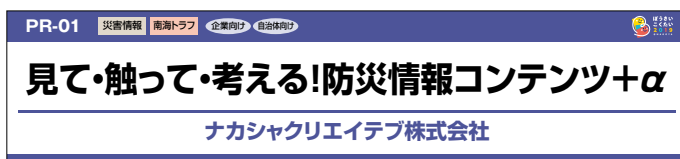


ピンバッジ

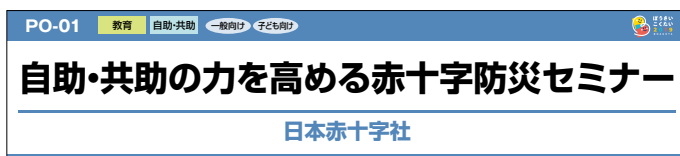


制作物〈出展団体サイン〉

社名板 900×200mm (プレゼンブース)



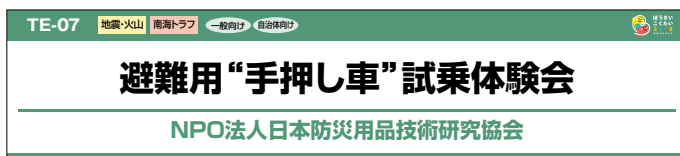
ポスターセッション



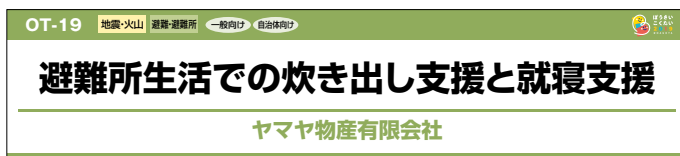
ワークショップ (屋外)



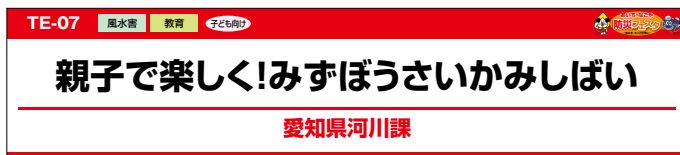
テントブース



屋外展示



社名板 900×200mm (テントブース_あいち・なごや防災フェスタ)



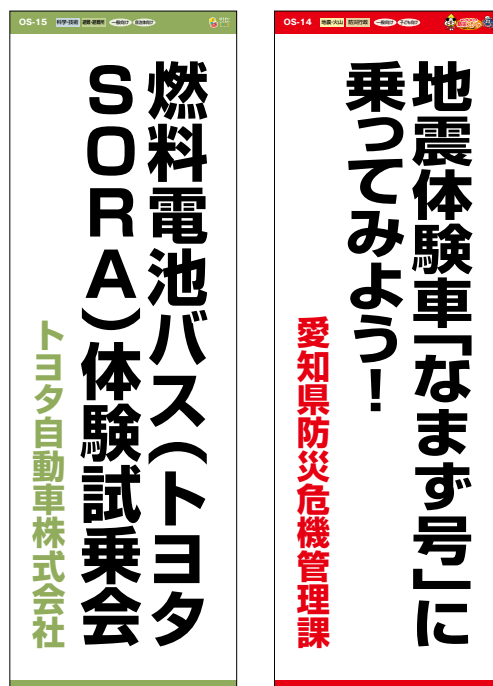
プログラムサイン 450×600mm (セッション)



プログラムサイン 450×600mm (ワークショップ屋内)



車両展示サイン 600×1800mm



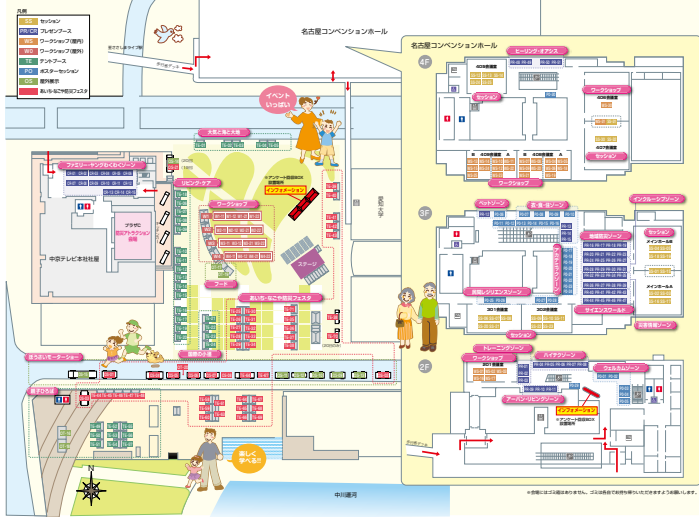
会場案内看板_屋内 (3000×1800mm)



ぼうさいこくたい会場MAP

10月19日(土)

10月20日(日)



10月19日(土)

10月20日(日)

時間	10月19日(土)	10月20日(日)
10:00	オープニング	オープニング
10:30	...	...
11:00	...	...
11:30	...	...
12:00	...	...
12:30	...	...
13:00	...	...
13:30	...	...
14:00	...	...
14:30	...	...
15:00	...	...
15:30	...	...
16:00	...	...
16:30	...	...
17:00	...	...
17:30	...	...
18:00	...	...
18:30	...	...
19:00	...	...
19:30	...	...
20:00	...	...
20:30	...	...
21:00	...	...
21:30	...	...
22:00	...	...
22:30	...	...
23:00	...	...
23:30	...	...
24:00	...	...

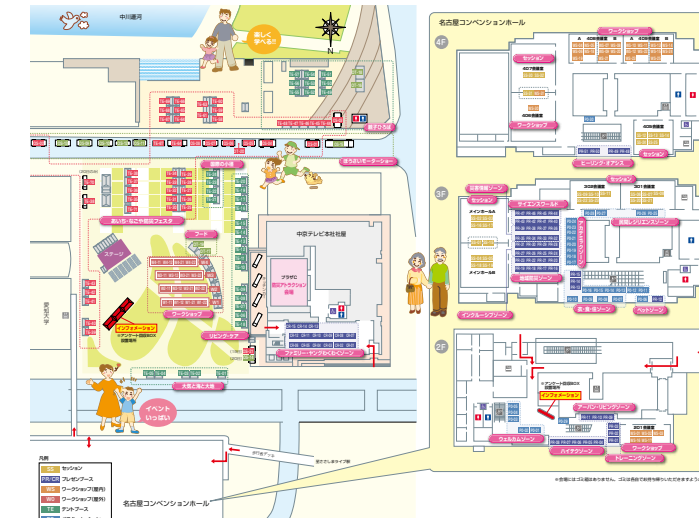
会場案内看板_屋外 (3000×1800mm)



ぼうさいこくたい会場MAP

10月19日(土)

10月20日(日)



10月19日(土)

10月20日(日)

ステージプログラム

時間	10月19日(土)	10月20日(日)
10:00	オープニング	オープニング
10:30	...	...
11:00	...	...
11:30	...	...
12:00	...	...
12:30	...	...
13:00	...	...
13:30	...	...
14:00	...	...
14:30	...	...
15:00	...	...
15:30	...	...
16:00	...	...
16:30	...	...
17:00	...	...
17:30	...	...
18:00	...	...
18:30	...	...
19:00	...	...
19:30	...	...
20:00	...	...
20:30	...	...
21:00	...	...
21:30	...	...
22:00	...	...
22:30	...	...
23:00	...	...
23:30	...	...
24:00	...	...

制作物〈出展団体サイン・運営備品〉

メインホール吊看板 (7200×600mm)



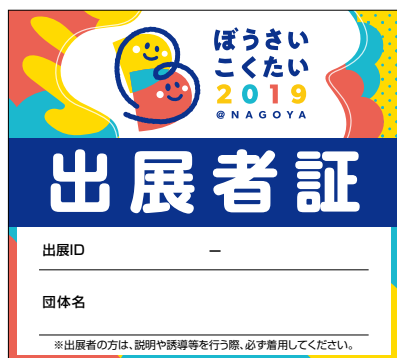
サイン看板 (450×450mm)



サイン看板_A3POP



出展者証



運営スタッフ証



主催者スタッフ証



広報施策

広報施策〈広報施策一覧〉

ターゲットを満遍なく取り込む多媒体施策を実施しました。

多媒体施策なので長期訴求でありながら、開催日に近づくと訴求を厚くしました。

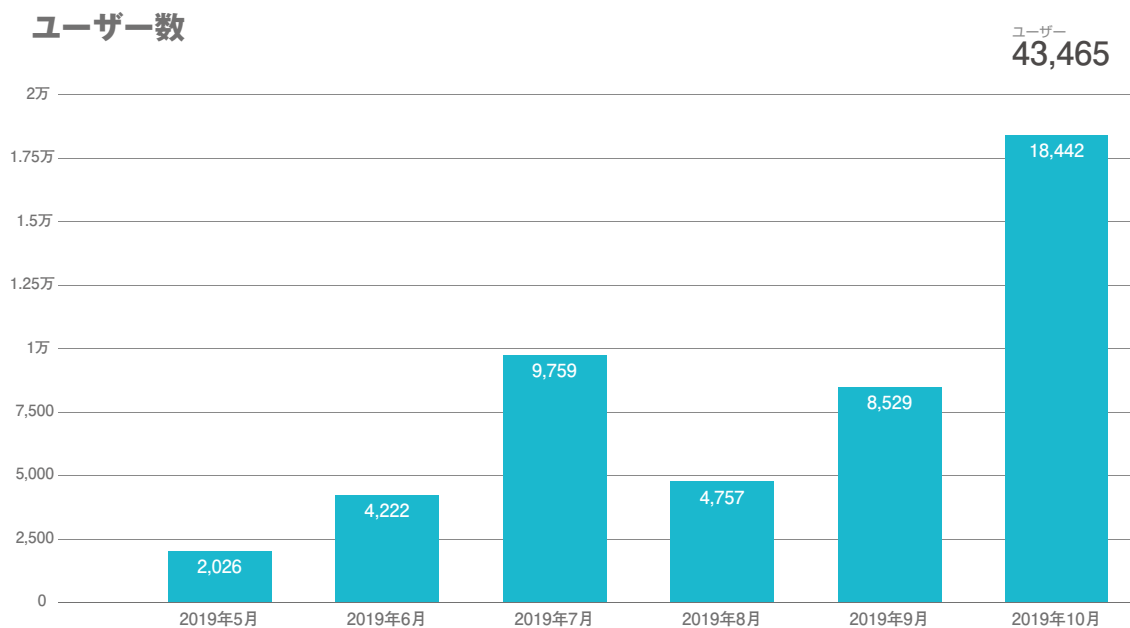
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
大会 ホームページ	4/25より 月1回程度 更新						
SNS展開	4/25より 随時更新						
ポスター・チラシ				8/1より 各所配布			
プレスリリース					● 8/14 1回目		● 10/8 2回目
テレビ						9/26より 9回放送	
ラジオ						● 9/28	●● 10/12・14
Web						● 9/30	
新聞掲載					●●● 8/30・31・9/1	● 9/26	

防災推進国民大会2019（ほのやしろ）たぎ2019）

大会情報のポータルメディアとして大会ホームページを設置しました。
 出展団体の詳細や、登壇者情報も掲載しました。
 URL: <http://bosai-kokutai.jp/>



広報施策〈大会ホームページアクセスデータ〉

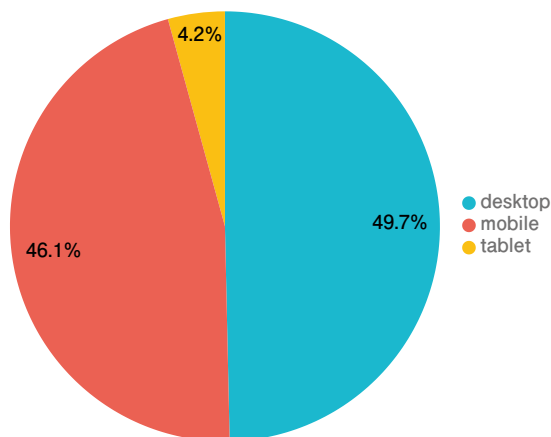


■ユーザー数：Webサイトにアクセスをしたユーザー数

▽Webサイト開設後のユーザーのアクセス数

2019/05/01～2019/10/20までの合計ユーザー数：43,465ユーザー

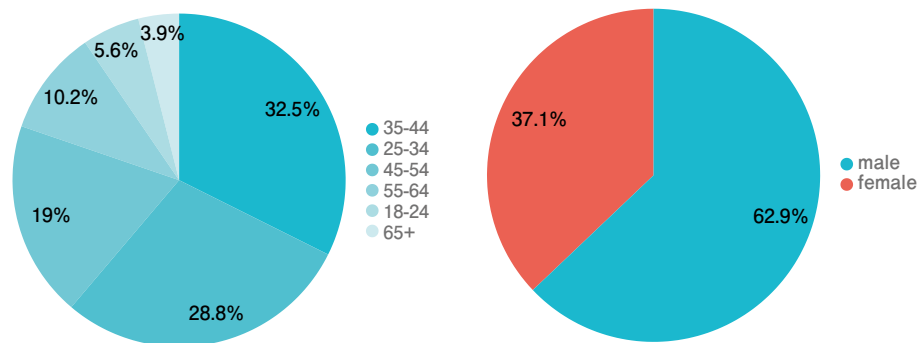
アクセス端末構成比率



■アクセス端末構成比率：Webサイトにアクセスをしたユーザーの使用端末比率

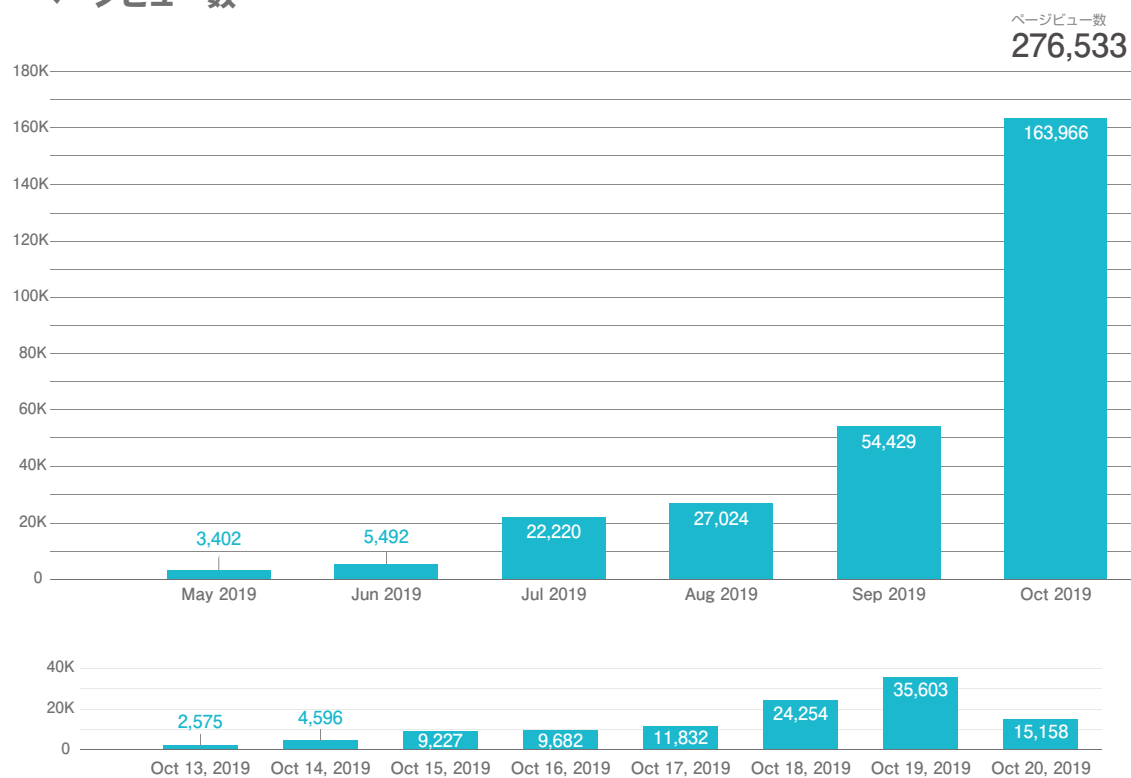
PC[49.7%] スマートフォン[46.1%] タブレット[4.2%]

年齢構成比率と男女比率



ユーザーの年齢構成比率は25～44歳の比率がおおよそ60%と、若年層が過半数を超える。

ページビュー数



■ ページビュー数：Webサイトで表示されたページの総数

2019/05/01～2019/10/20までの総ページビュー数：276,533ユーザー

アクセス数ランキングTOP20

1. /	72,774	
2. /program/	44,428	
3. /map/	17,284	
4. /about/	10,617	
5. /program/presentation/	7,220	
6. /speakers/	6,021	
7. /map/3f/	5,833	
8. /map/parkarea/	5,427	
9. /program/tent/	4,818	
10. /map/canalgate/	4,099	
11. /program/outdoorexhibit/	3,889	
12. /map/ctv/	3,718	
13. /map/4f/	3,588	
14. /program/poster/	3,520	
15. /program/?days=10月19日(土)	2,858	
16. /program/stage/	2,495	
17. /exhibit/	2,009	
18. /detail/SS-01	1,218	
19. /detail/SS-06	1,091	
20. /program/?days=10月20日(日)	988	

■アクセス数ランキング数：2019/5/1～2019/10/20までの各ページのページビュー数を参照

/ …トップページ

/program/ …プログラムページ

/map/ …会場マップページ

/about/ …ぼうさいこくたいとは？ページ

/speakers/ …登壇者情報ページ

/detail/〇〇 …団体詳細ページ

- URL: <https://www.facebook.com/bousaikokutai/>
- フォロワー数: 607名
- 投稿記事数: 49件
- いいね数: 558



広報施策〈Twitter〉

- URL: <https://twitter.com/bousaikokutai>
- フォロワー数: 660名
- フォロワー数: 681名



インプレッション	490,352	リツイート	308
エンゲージメント	6,564	返信	306
いいね	1,607	ツイート数	39

広報施策〈チラシ・ポスター配布先〉

	送付先	大会告知A4チラシ	大会告知A2ポスター
内閣府	内閣府	0	100
	出展団体	40,580	483
	防災推進協議会	6,900	138
	防災推進国民会議	4,000	80
	指定公共団体	8,500	170
	NPO法人JPF (43団体加盟)	100	2
	民間連携団体	400	6
	経済コンソーシアム	2,000	2
	国土地理院	400	3
	気象庁	500	2
	気象庁 (名古屋気象台)	300	2
	消防庁	100	2
	消防博物館	100	2
	名古屋コンベンションホール	1,000	10
	愛知大学	500	2
	中京テレビ	500	2
	JICA中部	500	2
	都道府県防災担当	4,700	94
イベント	全社協	100	2
	TBJオフラインミーティング	150	2
	こども霞が関デー	200	2
	世界津波の日 高校生サミット	100	2
	地区防災計画イベント	300	2
	ボランティアイベント	300	2
愛知県		4,000	81
名古屋市		49,200	591
合計		125,430	1,786

広報施策〈報道結果：テレビ〉

■CBCテレビ

9月 26日(木)	17:44頃	チャント!内 伊勢湾台風60年特集(60秒程度)告知。
10月 7日(月)	27:45頃	イベントインフォメーション内30秒イベント告知。
10月 9日(水)	27:20頃	イベントインフォメーション内30秒イベント告知。
10月10日(木)	27:20頃	イベントインフォメーション内30秒イベント告知。
10月14日(月・祝)	27:40頃	イベントインフォメーション内30秒イベント告知。
10月16日(水)	27:20頃	イベントインフォメーション内30秒イベント告知。
10月17日(木)	27:20頃	イベントインフォメーション内30秒イベント告知。
10月18日(金)	17:44頃	チャント!内にて30秒程度のイベント告知。
10月18日(金)	27:45頃	イベントインフォメーション内30秒イベント告知。
10月19日(土)	11:55頃	初日にニュース取材&昼ニュースにてOA(60秒程度)。



9月26日 チャント!内 伊勢湾台風60年特集



10月18日 チャント!



10月19日 昼ニュース

■NHK(東海3県)

10月19日(土)	12:15頃	NHKニュースでぼうさいこくたいの紹介。
	18:45頃	NHKニュースでぼうさいこくたいの紹介。
10月20日(日)	7:40頃	NHKニュースでぼうさいこくたいの紹介。
10月21日(月)	18:10頃	「まるっと!」緊急セッションの特集/ぼうさいこくたいの紹介(6分程度)。
10月24日(木)	18:10頃	「まるっと!」緊急セッションの特集/ぼうさいこくたいの紹介。

■東海テレビ

10月19日(土)	16:49頃	東海テレビニュースOneでぼうさいこくたいの紹介。
-----------	--------	---------------------------

■CBCラジオ

- 9月28日(土) 8:10頃 「石塚元章ニュースマン!!」～ゲストコーナーにて告知。
 ゲスト:名古屋大学減災連携研究センター 福和伸夫教授
- 10月14日(月・祝) 7:48頃 「多田しげおの気分爽快!!」内にて120秒程度のイベント告知。
- 10月14日(月・祝) 17:17頃 「ドラ魂キング」内にて120秒程度のイベント告知。
- 10月19日(土) レポートドライバーによるイベント会場からの生中継(3分程度)。

■RadiChubu

- 10月19日(土) 11:47頃 「ズバリサタデー」でイベント紹介。内閣府担当者出演(30秒)。

■@FM

- 10月12日(土) 7:30頃 @FM防災キャンペーン「To keep life」でイベント内容の紹介。
 (名古屋市担当者出演)

■WEB

- 9月30日(月) ナイスタイム (<https://nice-time.jp/>)
 東海地方のイベント情報サイトにおでかけ情報として掲載。
 ※リリースを頂戴し、本イベントの公式サイトとの相互リンクが条件。
- 10月20日(日) 読売新聞オンライン(会員向け)
- 10月20日(日) 朝刊中京新聞(WEB・新聞) 開催報告
- 10月20日(日) 毎日新聞(WEB・新聞地方版) 緊急セッションの紹介



ナイスタイム

広報施策〈報道結果：新聞掲載〉

■中日新聞

伊勢湾台風60年シンポジウム

- | | | |
|-----------|------|------------------|
| 9月26日(木) | 中日新聞 | 三社面社告 |
| 10月20日(日) | 中日新聞 | 二社面 |
| 11月 7日(木) | 中日新聞 | 伊勢湾台風60年私の証言(3面) |

地域の災害を伝える全国の地元新聞

- | | | |
|-------------|------|--------------|
| 10月21日(月) | 中日新聞 | 二社面 |
| 11月 4日(月・祝) | 中日新聞 | 特別編 災害報道と地元紙 |



「中日新聞」9月26日



「中日新聞」10月20日



「中日新聞」11月4日



「中日新聞」10月21日



「中日新聞」11月7日

発行部数

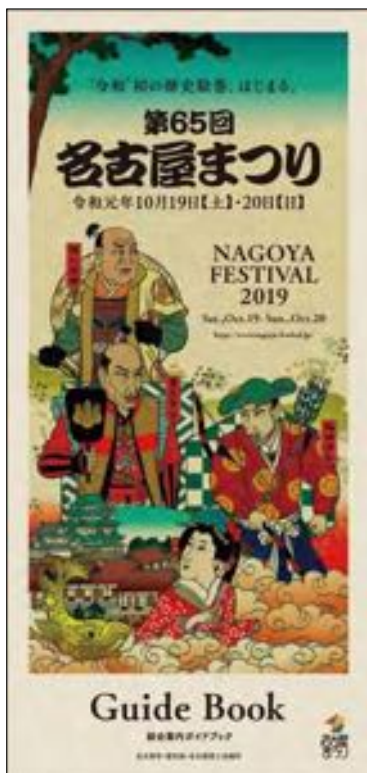
- ・広報なごや…約100万部
- ・名古屋フリモ…851,120部
- ・あいち・なごや防災フェスタPRパンフレット…15万部
(市内小学校を中心に配布)
- ・名古屋まつり公式パンフレット…12万部



「名古屋フリモ」10月号



あいち・なごや防災フェスタPRパンフレット



名古屋まつり公式パンフレット

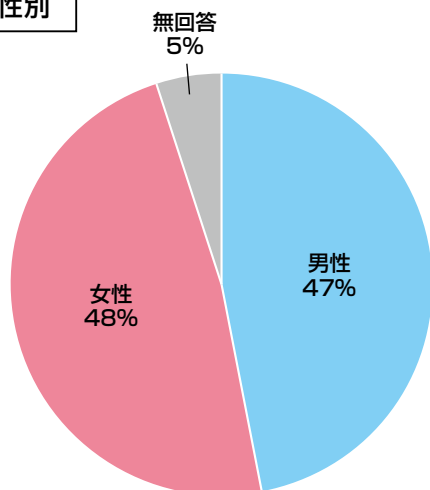
アンケート

アンケート〈来場者アンケート〉

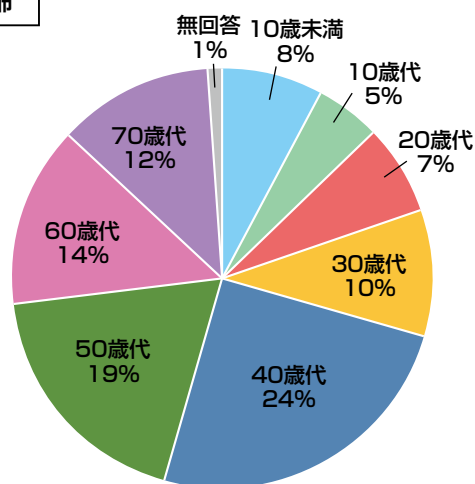
●回収方法：名古屋コンベンションホールインフォメーション、パークエリアインフォメーションで回収

●回収数：603通

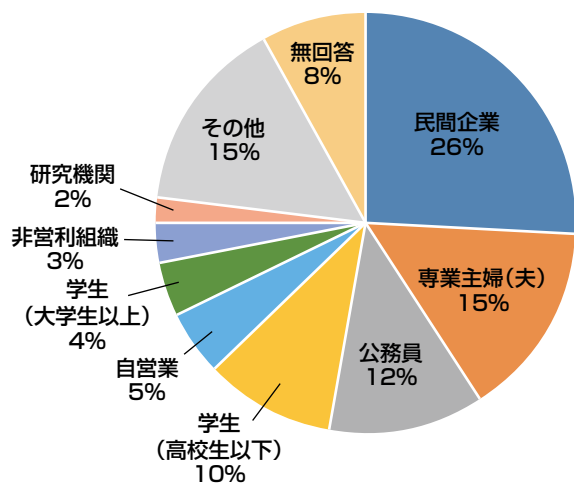
属性：性別



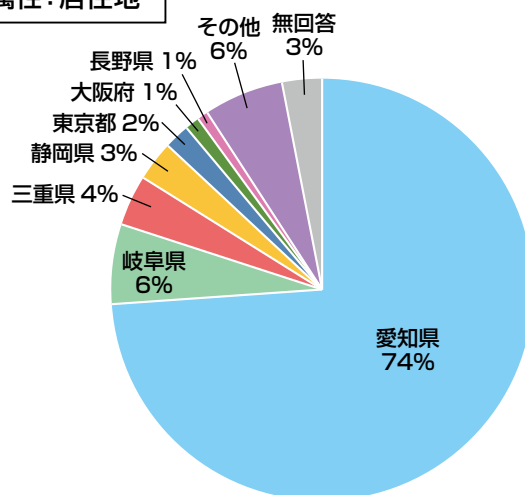
属性：年齢



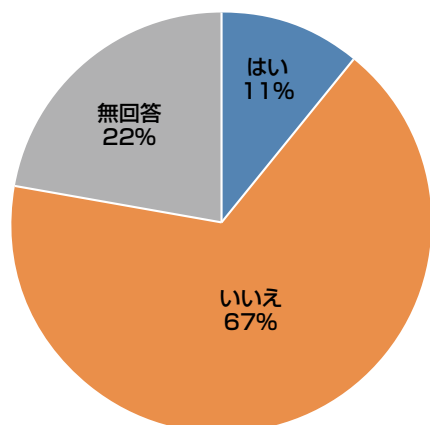
属性：職業



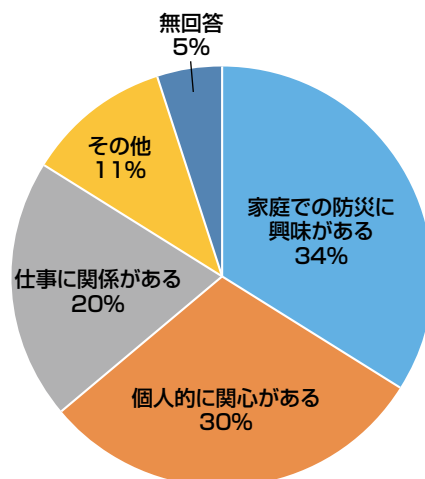
属性：居住地



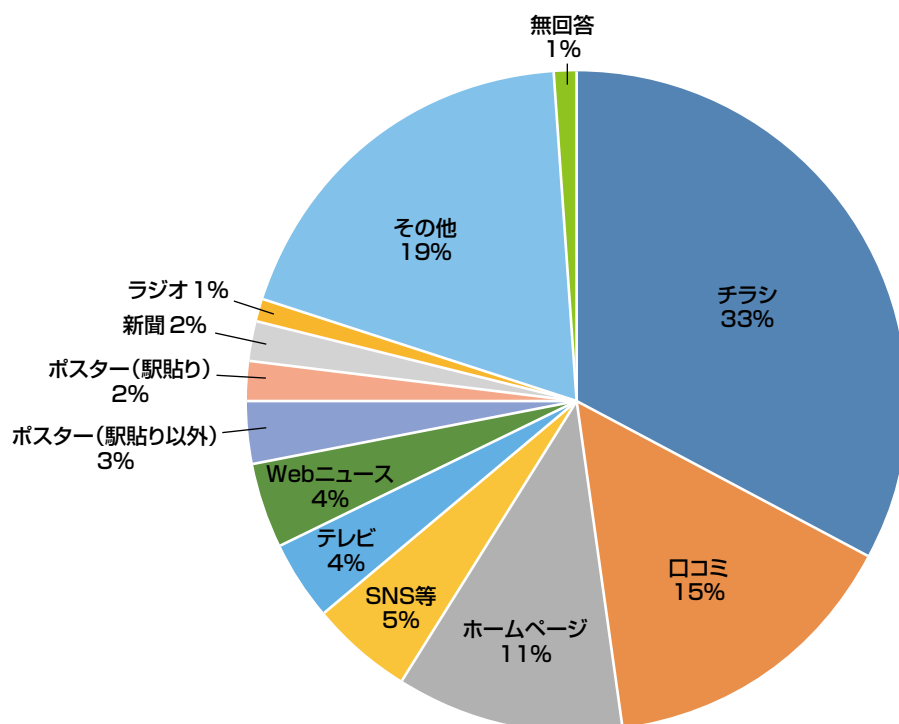
属性：仕事・研究は防災が専門ですか



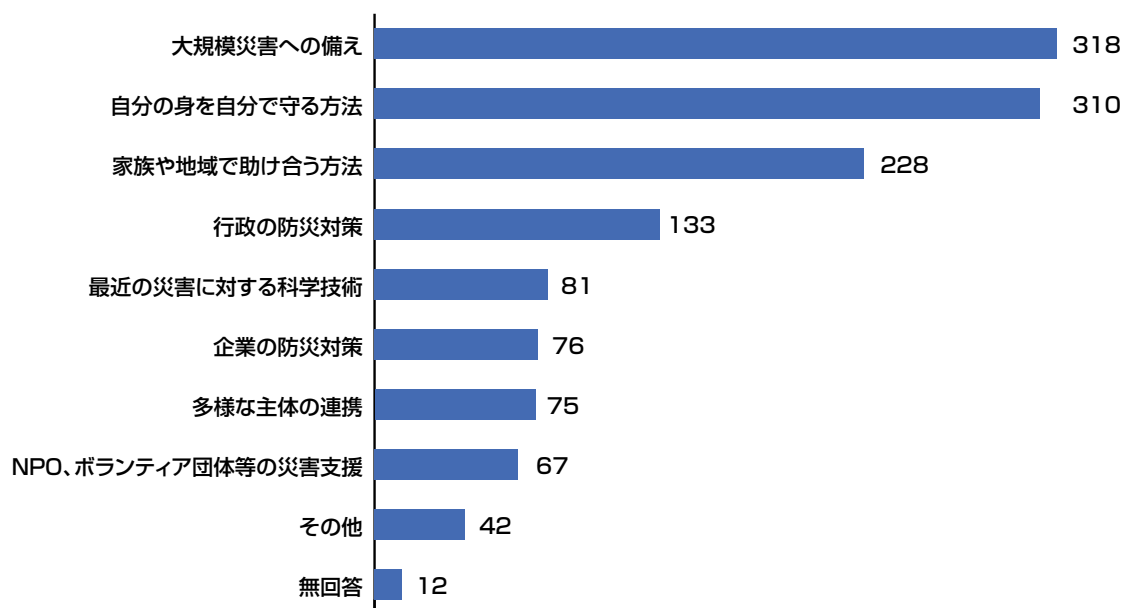
属性：参加理由



■ 問1：今回の大会を何でお知りになりましたか。

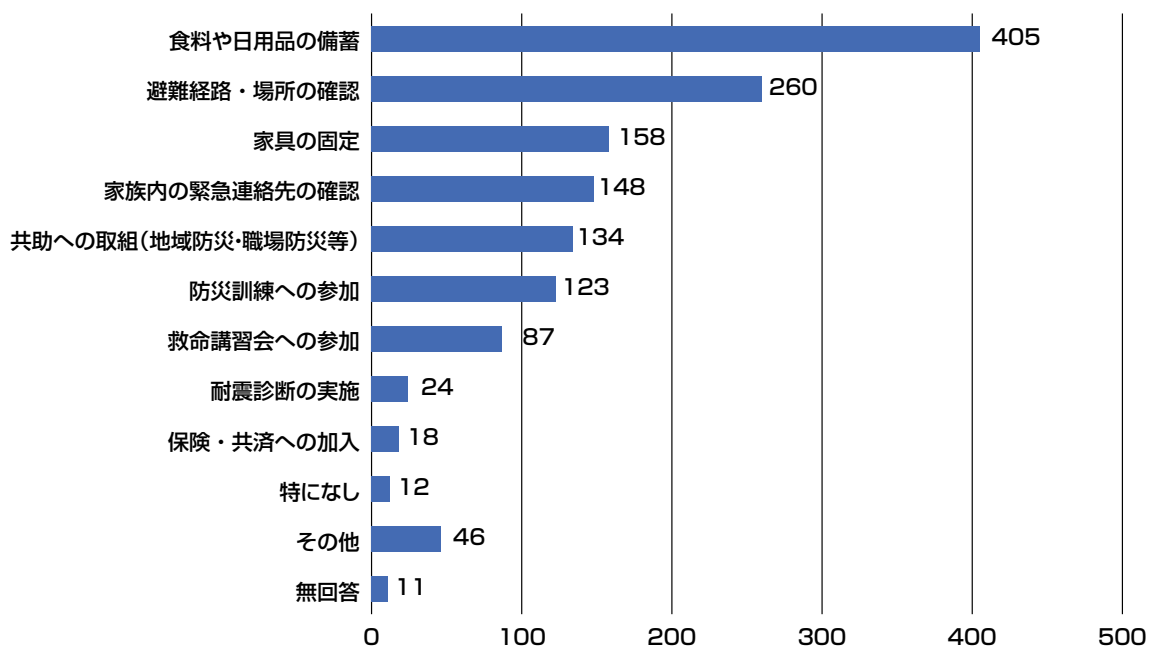


■ 問2：あなたがこの大会を通じて学びたかったことは何ですか。(複数回答可)

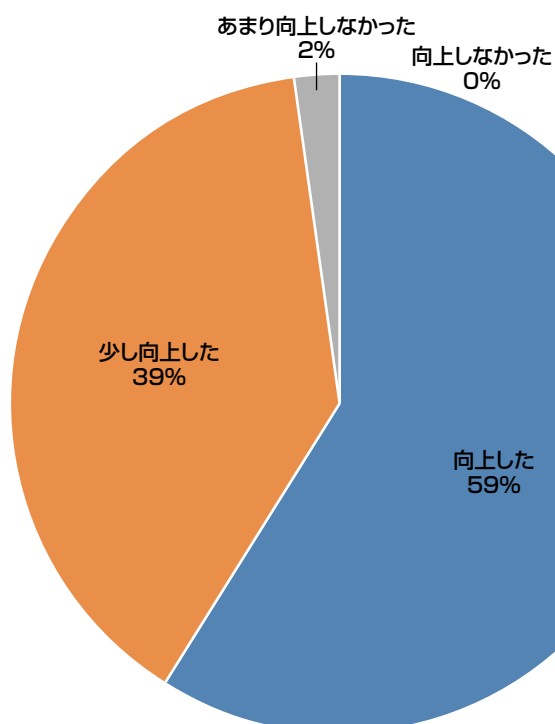


アンケート〈来場者アンケート〉

■ 問3：あなたが今回の大会を踏まえて今後実践したいことを教えてください。（複数回答可）



■ 問4：大会に参加されてあなたの防災意識は向上しましたか。



アンケート〈来場者アンケート〉

■ 問5: 今後の大会に期待するものがありましたらご記入ください。(コンベンションホール内)

<全体の感想>

- ・とても勉強になったので、より地域の人達に知ってもらえると良いと思いました。
- ・大満足でした。これからも楽しいおもしろい発想を吸収したい。
- ・参加できなかったセッションやワークショップの資料をもらったのでよかった。
- ・昨年に比べ参加団体・参加者が大幅に増え内容も充実して良かった。
- ・専門的な知識を身近なことに変換して教えてもらった。
- ・様々な団体が防災・減災等に関連していることがわかり勉強になった。

<広報>

- ・ワークショップの場所や時間、申し込みの有無など分かりにくかったです。
- ・これだけのイベントにしてはPR・告知が不十分。
- ・会場で配布しているパンフレットを開催前からWebに掲載してもらとう、事前に予習ができます。
- ・案内、掲示、表示をわかりやすくしてほしい。
- ・ホームページをもっと見やすくしてほしい(スマホ向けに)。とくにHPのプログラムの見やすさを。
- ・デジタルアンケートなら帰りながらアンケートが取れると思う。
- ・見どころが多くて大変でした。おすすめブースがHPにあってもよいかと思いました。
- ・学校教育など教育機関に向けた打ち出しがあるといいなと思います。
- ・中高生の参加増。次世代の認識がさらに向上するものに!

<今後の展示・企画内容について>

- ・大がかりなクイズで最後まで残ったら防災グッズプレゼント。
- ・近年多い台風、大雨被害を踏まえた対策、支援の最新情報を知りたい。
- ・各災害が起こった時に取るべき対応(身の守り方)。
- ・「避難所」を想定した実地訓練があるとより備えになると思います。
- ・一般家庭向けの情報がもう少し欲しい。素人でもかんたんにできる防災術や、予防対策を知りたい。
- ・家庭での備蓄・職場での備蓄の方法。
- ・自由に意見を交流する場、防災について話し合える場。
- ・被災した行政職による全国の行政職に向けた防災講習。
- ・防災グッズ一式を売ってほしい。
- ・若い人への防災教育の推進。
- ・自助の促進をテーマにした企画。
- ・新しい防災備品の展示。携帯トイレ、災害時のトイレ、持出袋、備蓄。
- ・オフグリッドDIY教室、災害クッキング実習、トイレの講師の方、キャンプ実践、雨水をためるのはどんなもの。キャンプ用品。
- ・一般市民の立場にたった内容(備蓄、ローリングストック、家具固定、個人でできる防災対策)の充実。
- ・オープニングセッション時にブースのPRがあった方がよい。

<障がい者向け>

- ・耳の聞こえない人に対しての情報保障があると良い。(ビデオに字幕とか)
- ・最新の情報を知れる企画、障害者や外国人本人の経験をもっと入れてほしい。2~3年後にはまた同じ都市で開催できるようにしてほしい。(遠いと行きづらい)
- ・大規模災害!ハビリステーション支援関連団体協議会(JRAT)の取組み。

<セッション>

- ・榎和先生の手法が面白かった。各方面のエキスパートが注文をつけていくやり方は、初めてでは。
- ・パネリストが多すぎて論点が絞りにくかった。自企業の宣伝に割く時間が多く防災の話が浅い。セッションの時間が短すぎ。

<会場>

- ・地方中都市での開催を検討していただきたい。例.群馬県高崎市など
- ・東海地域で開催してほしい。

<その他>

- ・自治体の防災担当者が数年で全て異動し、機能していない。
- ・通路やブース前が混んできるときは通りづらい。ブースの配置も分かりにくい。
- ・もう少し企業ブースの数をふやしてほしい。
- ・ブースが多すぎて、あまり見たり、聞いたりできなかった。2日間は短い。

アンケート〈来場者アンケート〉

■ 問5：今後の大会に期待するものがありましたらご記入ください。（外会場）

<全体の感想>

- ・来年も参加したいと思いました。
- ・子どもの意識を高めるため、定期的に参加したいです。
- ・明日は我が身かもしれない、という気付きをいただいた。
- ・防災用の非常食を試して今後利用したい。
- ・介護してます。勉強になります。
- ・子供と一緒に学び楽しめました。
- ・毎年やってほしい。
- ・昨年に比べてとても内容が充実して良かった。
- ・食料等、消耗品の備蓄をいただけるのは嬉しいです。
- ・教育の部署から大勢の方が来ていたので、何かと連携を進めながら取り組んでいきたい。
- ・各人の理解・協力の必要を感じました。
- ・液化化のしくみを知りました。

<広報>

- ・子どもからお年寄りまで分かりやすいイベントを。
- ・無理やりパンフレットを配るのはやめてほしい。
- ・毎年行われる大会を、ホームページ等で閲覧できるようにしてほしい。
- ・テレビなどで常に防災の意識向上のアピールを放映してほしい。

<今後の展示・企画内容について>

- ・温暖化防止宣言をすること。
- ・防災のつながりが強くなること。
- ・大規模ではなくても、毎年、防災に興味をもてるようなイベントを開いてほしい。
- ・専門の人や興味関心の強い人向けの内容が多く、ファミリーでは楽しめなかった。
- ・防災グッズを多くしてほしい。
- ・有料でも良いのでセミナーで講演を充実させてほしい。
- ・外国の取組を紹介してほしい。
- ・救命講習は1回では忘れるのでくりかえしやりたい。
- ・名古屋市の消防団員の募集ブースがあったら良い。
- ・身近に活用できる知識などを学びたい。
- ・特殊車両がたくさん見たいです。乗りたいです。
- ・避難所での生活を体験できるブース。
- ・地方自治体の主体的な現実的な取組み（住民と一体的な取組み）。
- ・経験者のお話を聞かせてほしい。

<セッション>

- ・保育現場で今後の取組み、東日本大震災の時、保育園・幼稚園はどうだったのかを知るセッションがあるといい。

<ワークショップ>

- ・事前申込の枠がもっと多いとよかったです！

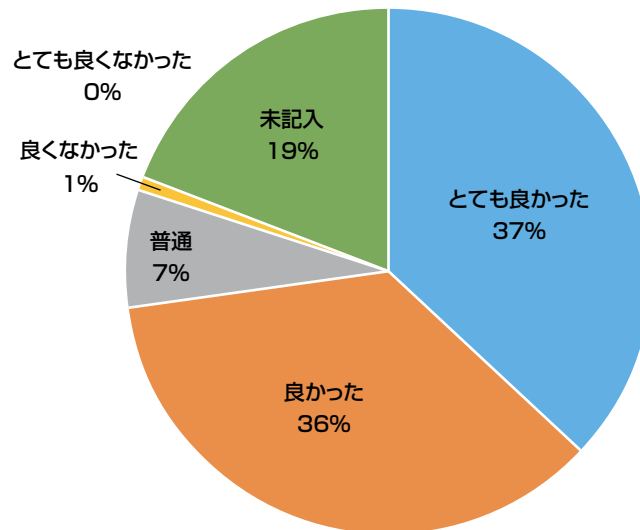
<日程>

- ・名古屋まつりと別の日にしてほしい。

<会場>

- ・ぜひ、愛媛県で、開催してほしいです。
- ・また、この場所でやってください！
- ・年に一度は東海地区で開催してほしい。
- ・常設化が望まれる。
- ・毎年つづけてほしいです。

■ 問1: 本大会に参加した感想に最も近いものを、次から1つ選んでください。



・貴団体の出展を通じて訴えたメッセージ（成果）は何でしたか。

<自助・共助>

- ・水害から“にげきる”ためには何が必要なのか。一人ひとりが考えるきっかけをつくることを伝えたい。
- ・スタンプラリーを通じて楽しく防災知識を学び、災害への備え、被害低減にむけた行動を自分で考え、実践する力を育てる。
- ・災害時に自分や自分の身の回りの人を守る方法を身に付けていただきたい。
- ・自助共助には、体験学習をすることと、継続してやりたいとなる仕組みづくりが大切。
- ・これからの災害において、自分が住んでいる地域をどのように守り、助け合っていくかを考えることが大切。
- ・大人向けの自助・共助を支援する取組（まちあるきやWS等）、子供向けの防災教育などを実施している。
- ・防災教育ではカードゲームのような学習ツール、火山防災などではIoT技術を用いたビーコンの活用など、様々なツールを提供している。
- ・防災に関する取組は、国内に限らず、海外（ネパールやカトマンズなどの発展途上国を中心）でも実施し、技術の伝承なども促進している。
- ・震災記憶の風化防止および「共助」について考える。

<災害教訓・伝承>

- ・東日本大震災の教訓を発信する取組が進んでいるので、国内外の災害対応に活かしてほしい。
- ・自分たちの住んでいる地域が過去どのような災害や自然現象でできてきたかを理解し、今後の防災減災につなげる。
- ・「Build Back Better（より良い復興）」に関する経験と教訓を発信。
- ・地域のアイデンティティが防災につながる。
- ・大地の成り立ちからする防災のヒントを伝える。
- ・震災記録を残すこと、伝えることの重要性を再認識した。
- ・他団体の情報を入手することができ、有意義だった。
- ・熊本地震の教訓を伝えることができた。
- ・日本人の智恵で防災を乗り越えることを伝えること。
- ・世界中の災害における避難民の実態を伝えたい。
- ・地震体験を通じて、大地震が起きた際にどれだけ身動きが取れないかを感じていただき、防災に対する心構え及び備えについて考えていただく。
- ・古地図を、経年を追って見ていくことで防災・減災に繋げる。
- ・地図情報から災害リスクを知ろう。
- ・過去の災害を知り、日頃から防災への備えをする。

アンケート〈出展者アンケート〉

＜教育＞	
・南海トラフ地震への備えの重要性・防災教育の普及・広報。	
・災害に強いまちづくりや防災教育、地震保険の重要性。	
・地域の逃げ地図づくりを通して、地域（社会）の災害リスクを自分ごととして認識しよう。	
・子どもたちにも防災を身近に感じてもらいたい。	
・科学を通じて子供に防災の大切さを育める教材を案内しました。	
・東日本大震災を経験した機関としての「防災教育」の必要性を伝える。	
・「学校での防災教育と地域連携」の実践について、広めることができた。	
・これからを生き抜く学生の学びになり、人生の視野を広げるものとなっていることを理解していただいた。	
・ブースには500名近くの方がきてくださり、たくさんの方に関心をもっていただきました。	
・防災啓発冊子やパネル展示、体験型の防災学習を通して、幅広い世代の防災意識の浸透を図る。	
・まちの地理・地形を知ることが防災知識につながっていくこと。	
・みえ防災・減災アーカイブを活用して、自宅や学校など幅広い場所で子ども達に手軽に防災教育を行うことができた。	
＜科学・技術＞	
・気象災害に関する科学情報の伝達。	
・都市ガスの安定供給、安全確保、防災の取組みについて、多くの方に理解を深めてもらう。	
・災害復旧に対してドローンが有効であることを伝えることができた。	
・被災地の生の状況を映像配信で正確に把握できる。	
・夜間災害時に必要かつ減災につなげるための全国統一型照明式避難誘導標識の重要性。	
・災害時におけるポータブル電源の重要性を伝えることができた。	
・産学連携を通じて、大学と企業が持つ知見をコラボレーションすることで、社会に還元できる知見・取り組みを世に出していることをアピールできた（来客数：計約350名）。	
・今回の出展内容（インフラサウンドの防災への活用）について、幅広い方々にご紹介することができた。	
・災害時に道路啓開等の最前線で活躍している地域建設業の活動の周知。	
・最先端のICT技術の防災・減災分野への活用を伝えられた。	
・学会として、研究だけでなく、直接、社会と関わる活動を多角的に行っていることを伝えることができた。	
・建設会社の災害時の役割を伝えられた。	
・VRを体験いただき、地震や津波の怖さを再認識いただけたかと思う。	
・電動自動車が災害時の電力供給に役立つものであることを、SORAの試乗とMIRAIの展示等で伝えられた。	
＜医療・福祉＞	
・平時の地域保健・医療や地域包括ケアのための活動が、災害への備え（Disaster Preparedness）に寄与し、要配慮者の生命や健康を守ることになるのかを、セッションの中で議論をしていただきたい。	
・震災後のエコノミクス症候群の予防の方法を伝えた。	
・災害時の避難の際に飛散したガラスや倒壊した建物等で怪我した時の応急処置を伝えた。	
・災害時におけるモバイルファーマシーの役割と必要性、重要性を多くの方に認識いただいた。	
・福祉施設の防災への取り組みを啓発。	
＜地震・火山＞	
・南海トラフ地震臨時情報について、各自がどう捉え、どう行動していくかを伝えること。	
・60年以上にわたって活動を続ける桜島と共生する本市の取組を様々な主体に知っていただいた。	
＜災害情報＞	
・災害から命を守る行動を取るために、「事前に備える」勉強会や取り組みをしておくこと。そしてメディアも研究機関も、「過去の災害に対する痛切な悔恨」を原点に据えて、今後の防災に取り組んでいくこと。	
・アラートが、災害時に住民が必要とする避難指示等の情報を放送局等の多様なメディアに対し一斉に送信する等、住民への迅速かつ効率的な災害情報の配信を支えていること。	
・自然災害伝承碑をはじめとする「防災地理情報」の取組や意義を知ってもらうこと。	
・線状降水帯対策に関する最新の研究成果を紹介しながらも、現状の気象情報での豪雨を認識の仕方を知ってもらった。	
・地盤防災のテーマとして、地盤液化化の被害想定とその対策について参加者と一緒に考えた。	
・発災時における情報収集の大切さと、その手段や災害復興における農業の大切さ。	
・「リアルタイム地震被害推定情報」の実用化。	
・地盤や地形に起因する自然災害のリスクを正しく恐れること。	

アンケート〈出展者アンケート〉

・「南海トラフ地震臨時情報」、「長周期地震動」、「大雨・洪水警報の危険度分布」等の普及啓発と利活用促進。
<通信>
・電力会社の防災に対する取組みの理解浸透を図り、当社SNS・情報発信アプリの登録者数のアップを目指す。
<地域防災>
・地域防災における大学からの貢献の可能性。地域における産官学民連携の重要性。
・地域の結束力で災害が緩和できる。結束力がなくても受援力を培えば対応できる。
・川筋の変遷を探り、それから防災・減災の啓蒙を図る。
・市民目線での防災啓発が達成された。
・自宅の危険性を理解し、風水害についての知識を得て、適切な行動ができるようにする。
<都市・建築・住宅>
・大震災等に備えて、マンションでの在宅避難の準備を早急に進めること。
・損害保険会社は自然災害に対して保険金のお支払い以外にもさまざまなサービスを提供していること。
・木造住宅の耐震改修は思ったより安くできる。
<防災行政>
・南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応について。
・南海トラフ地震等の大規模災害にあたって、世代、組織、地域を超え防災人材がつながることの大切さ。
・西三河10市町が連携して取り組んでいる姿や取組みを知ってもらうこと。
・全国組織である連合のネットワークによるボランティア活動の重要性を来場者へ伝えることができた。
・顔の見える関係による防災減災活動の推進。
・内閣府防災の取組みを知っていただく。
・「命」を守ること、その後の「生活」を守ること、さらに「産業」を守ることを施策の柱としたハード・ソフト両面からの防災・減災対策の取組状況。
<ボランティア>
・ボランティア経験者だけでなく、広く一般の方にもボランティアの活動内容やシート張りの基本知識を持っていただけた。
・地震・台風が頻発する日本に住んでいる以上、明日は我が身だという意識を持ていただけた。
・社会資源としての学生ボランティアを伝えられた。
・学生防災団体でもこんな活動ができる、こんな連携ができるということを、実際の活動から主に学生や高齢者の方に訴えた。
<企業防災>
・中小企業の事業継続力を高めること。
<国際>
・日本の防災の知見に基づき、国際防災協力の実例を紹介するとともに、それらの取組が南海トラフ巨大地震の理解にも役立つ可能性があることを訴えられた。
・防災直後の被災者に寄与するインバウンド向けの情報提供及び衛生対応手段の紹介。
・早めに避難行動を促すために、地震や雨に特化したアプリや、訪日外国人向けの防災アプリがあるということ。
<避難・避難所>
・医療や福祉の専門家でなくても、練習をすれば、誰でも福祉的配慮のある避難所運営に関わることができ、関連死防止につながる。
・自主防災マップの重要性（事前に「自宅周辺の危険な箇所」「避難場所」「避難経路」などを確認・整理し、地図に記載して準備する。
・豪雨災害が頻発している昨今、1時間80mm以上の猛烈な雨や暴風を疑似体験させ、大雨・暴風が発生後の避難は危険なので避難は早くした方が良いと実感させること。
<備蓄・グッズ>
・身近にあるもので急場をしのぎ、災害時に備えることができる。（チラシを使って食器やコップづくりや防災商品の紹介や試食）
・ワークショップでの非常持ち出し品や日常備蓄（ローリングストック）の検討を通じて来場者に「災害への備え」の大切さを感じてもらい、具体的な取り組みを進めてもらうきっかけにしよう。
・救助用品を備えることで、1人でも多くの人の命が助かるということ。
・防災の中で「水」の重要性を感じてもらえた。
・シートや土嚢の災害前の備蓄の重要性と、品質による問題点を伝えた。
・一般消費者様に災害時でのヘルメットの必要性を伝えることができた。
・日頃から災害時に役立つ備蓄木を備蓄し実際に自分達が（自助・共助）で使えるようにスキルを身につける大切さ。
・初動備蓄の重要性を、どういふものがよいかを伝えることができた。
<災害廃棄物>
・環境省 災害時に発生する災害廃棄物における官民連携の重要性。
<ジェンダー>
・災害発生後、さまざまな環境の悪い状況の中で、女性目線からの問題点等を検討し、会場を巻き込んでの問題解決に向けた貴重な意見交換の実施がなされた。

アンケート〈出展者アンケート〉

- ・①公園は、遊ぶだけでなく、防災機能を備えていること。②企画、設計は建設会社でなく、設計会社、私達建設コンサルタントということ。③近年、私達業界にも女性が活躍する場面が増えてきたこと。

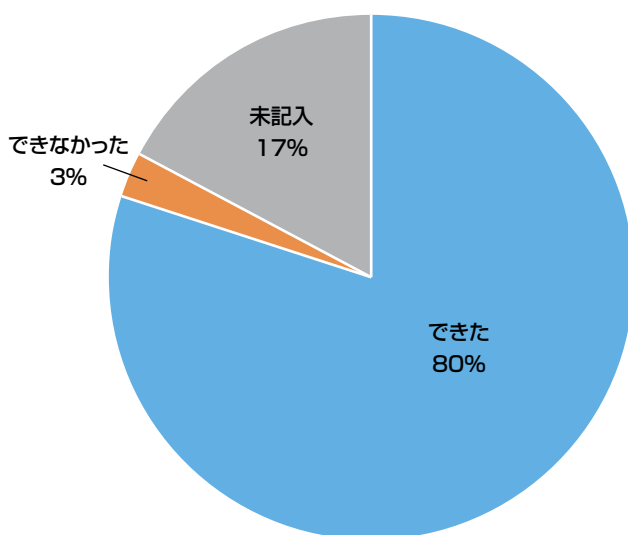
<トイレ>

- ・災害に強い浄化槽システム。浄化槽は災害時の破損例が非常に少なく、屋内の配管等や停電・断水による場合でも浄化槽にマンホールトイレを設置することで、トイレ難民になることはない等を説明。
- ・災害備蓄用トイレ処理セットの重要性。

<ペット>

- ・災害が起きたとは、かけえのない家族一員であるペットと同行避難するため、日頃からペットのしつけや避難の際に必要なものを準備することも重要。
- ・避難所でのペットが暮らす環境を良いものにするためにテントが必要だということを訴えた。

■ 問2：貴団体のメッセージを来場者に伝えることはできましたか。



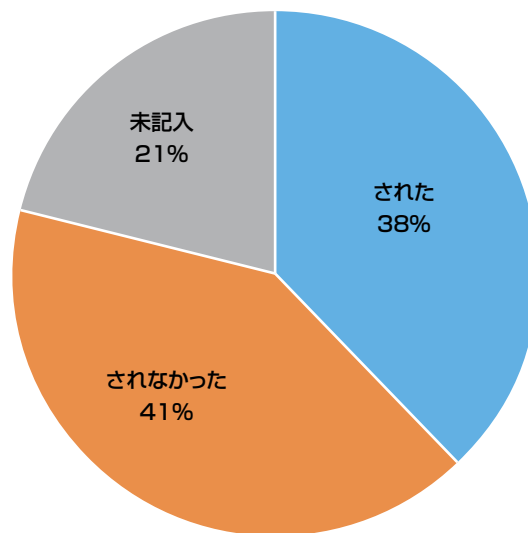
<できた>

- ・「初めて知った」「家に帰って考えてみる」「話が聞けてよかった」等々、参加者様の声を聞くことができた。
- ・WSを通し楽しく学んでいただけた。
- ・アンケートに協力的であった。質問も多数あり、メッセージはそれなりに届いていたと思う。
- ・自治体関係者の反応が良好だった。
- ・予想以上の集客で、資料も足りなくなりコピーに走るなど、関心の高さを感じました。アンケート結果も「災害はいつ起きるかわからないので勉強になった」「万が一の時には間違ったことをしないような知識が必要だと感じた」など好評でした。
- ・パネル展示・配布資料により詳細を説明できた。
- ・ブース来訪者様の納得や共感を多く得ることができたように感じます。
- ・防災意識の高い方々が多く来場されていたので、伝えやすかった。
- ・防災タウンページを開くことにより、備えの重要性を意識していただけた。
- ・過去の資料を展示し、防災の備えとなる情報をカルタ形式で伝えることができた。
- ・参加者が真剣に、かつ楽しんでスタンプラリーを行っていた。「楽しく学ぶ」というコンセプトは伝わった。
- ・市民目線での防災啓発が達成された。
- ・実験内容が気になって足を止める方がおり、説明することができた。
- ・出展内容「防災教育」に関心を持つ人が多かった。
- ・前日の三重県豪雨を題材とし、メッセージが伝わり易かった。
- ・どうやって避難の意識を高めたら良いのか分からず困っていた方が多かったため、その場で自主防災マップを印刷してお渡し、改めて地図の重要性について興味を持っていただけた。

アンケート〈出展者アンケート〉

・ 多数の来場者(約900名)があり、来場者の関心の高さが伺えた。
・ 大雨や暴風で視界が悪くなりモニタに映る自分の姿が見えなくなることで、こうなる前に避難することに納得する体験者が多かった。
・ 大勢の子供が液化化実験に興味を持ってきてくれた。
・ 日ごろ集まっているメンバーとは違い、学生さんたちから質問が出るなど、「開かれた空間」で有意義な意見交換ができた。
・ 被災者からの聞き取りや自らの経験を交え説明できた。
・ 非常に簡単な実験装置を用意して実演できた。
・ 来場者から今まで備蓄品など考えていなかったが今回を機会にしっかり考えたいという言葉があった。
<できなかった>
・ 時間が短すぎる。
・ 一般住民に対してはコストやメンテナンス面においてハードルが高い。
・ 開始時間になっても人が集まらなかった。
・ 国内の一般来場者が多く、期待した官公庁や公共機関の来場が少なかった。

■ 問3：本大会期間、本大会を通じて、他の出展団体、協力団体等とつながりが新たに創出、又は強化されましたか。



<された>
・ 隣に出展された多言語の情報も提供する組織・会社と情報交換等できた。
・ 来場された地方公共団体の方や一般企業の方から問合せをいただきました。
・ 名古屋大学減災連携研究センターとのつながりの強化。
・ 民間企業や自治体関係機関より質問を受け、意見交換を行うことができた。
・ 本番までの打ち合わせや参加者・見学者との交流を通じて、日頃個別に進めている防災報道の取り組みについて意見交換が進み、関係も強化された。
・ 防災推進協議会の中部圏への展開について、具体的な議論ができた。
・ 複数の機関から資料・グッズの提供を受け、蔵書を増加でき、展示にも利用している。
・ 同業者さんとの意見交換やNPOの方々との理解協力の話が進んだ。
・ 東海地区の行政の防災担当者、関東・関西・九州の団体や個人とつながりができた。
・ 地方自治体、教育機関等との連携を持つことができた。
・ 地震調査研究推進本部と隣り合わせだったため、地震学会が推本の基本方針である広報の役割を果たしているという共通認識を持てた。また隣の地震工学会とも、次年度の協働出展の可能性についても意見交換ができた。
・ 多くの研究者・防災関係者と知り合えた。
・ 他地域の大学との連携が進んだ。
・ 他団体のブースの見学等を通じて、防災・危機管理に関する情報収集を行うことができた。

アンケート〈出展者アンケート〉

・他協会への講演依頼に繋がる関係を構築することができた。
・他の出展団体と協力し、お互いのセッションで資料配布を行った。
・他NPOと協働事業の開発で合意した。
・新たな繋がりが100名近くできた。企業とのタイアップや講座の依頼などもあり、活動に繋がる事ができた。
・出展している会員企業の技術をより深く学ぶことができた。
・出展していた、自治体、企業同士がお互いの取り組みを理解して、今後の取り組みに活用できる内容を把握できた。
・参加者同士がWS等で交流する中でつながりを創出。
・行政・企業・NPOからの参加もあり、自地域・自組織での研修の相談をいただいた。
・研究者間、防災関係団体との連携を確認することができた。
・具体的に協定等を結んだ訳ではないが、SNS上でつながりのあった他大学の学生団体の方と実際にお会いし、交流及び今後のつながり確認ができた。
・教材活用のためのワークショップ実施や現状の情報共有など。
・企業様や学生間のつながりもでき、日常の交流があった団体様ともその交流が深まったと思う。
・企業間での情報交換ができた。また、出展ブースで学ぶことが多かった。
・学校、企業とパートナーシップが結べた。
・各地の危機管理課や企業様に弊社の製品やサービスを説明又は提案でき、導入に向けて具体的に話を進めることができました。
・東海地方自治体様とのコネクションを創出できた。
・チラシを積極的に配布し、連合大会への参加・出展をうながした。
・これまで物資の提供をいただいていた企業から、一緒にワークショップ及びポスターセッションに出展したい旨の申し出をいただいた。今回の防災国体をきっかけに関係性がより深まった。
・子どもたちへの防災教育を推進する複数の団体とつながることができた。
・協力団体の日本青年会議所(JC) 国土強靱化協会の次期委員会メンバーともつながりが強化された。
・外国人支援の対応方など専門的に取り扱う団体と情報交換ができた。
・多くのNPO関係、企業、学校関係とのパートナーシップが結べそう。
・いろんな団体の活動を知ることができ個人的なつながりもできた。
・愛知県の防災安全局の方、県内外の防災部署の方、アウトドア関連の企業、市議員等とのつながりを持てました。
・メール等でのやりとりしかなかった地元のテレビ局や、自治体の方と直接お話ができたこと
・広島市の対策に感銘を受けた。静岡県避難所運営マニュアルもよかった。
・自然災害伝承碑のウェブデータの提供について提案した。
<されなかった>
・その場ではできなかったが、これをきっかけに団体様と協議予定。
・強化まではできなかった。一方通行の面があった。

■ 問4：本大会へご出展なさったの感想、ご意見、ご提案等を自由にお書きください。

<全般的>
・多様な所属の傍聴者にディスカッションを聞いていただき、今後につながる会にすることができたと思います。
・台風19号関連の報道によって、ペットをつれた人を避難所は受入れないと思いついておられる方が多く驚いた。
・「学ぶ・つながる・つよくなる」を正に体感できました！来場者の方と直にお話ができて、とても有意義な時間を過ごすことができました。
・内閣府主催ということで、行政や企業も多数参加されており、普段なかなか出会えない方との交流ができました。
・被災経験をされている地域の方が多数来場されていることを実感。災害の経験者だからこそ気付く防災についての意見が勉強になった。
・今回は会場の規模感・レイアウトが非常によく、セッションと展示ブース双方に集客の相乗効果があつてよかった。
・専門家～地域の一般の方まで老若男女が参加していて、子供連れが楽しめるコーナーも多く、国民大会らしい雰囲気があった。
・出展した内容に関心を持って議論する方は例年通り多く、我々としても防災関係者ではない一般市民と議論できる大変有用な機会であると感じます。
・今回の出展を通じて、来場者はもちろんのこと、「防災」という共通のテーマを元に集まっている出展者間同士でも情報共有・意見交換ができたのでよかった。
・台風などによる災害被害が相次ぐ中、来場者が多く、防災への関心の高さを実感できた。
・ポスターでの広報には限界はあるが、多くの防災関係者に活動を知っていただく機会にはなった。
・一般住民向けの展示内容に変更する必要性を感じた。
・連年同様、学術に興味を持った参加者は限られているものの、今回は、伊勢湾台風や東南海地震などの被害を受けた地ならではの盛り上がりがあったと感じた。

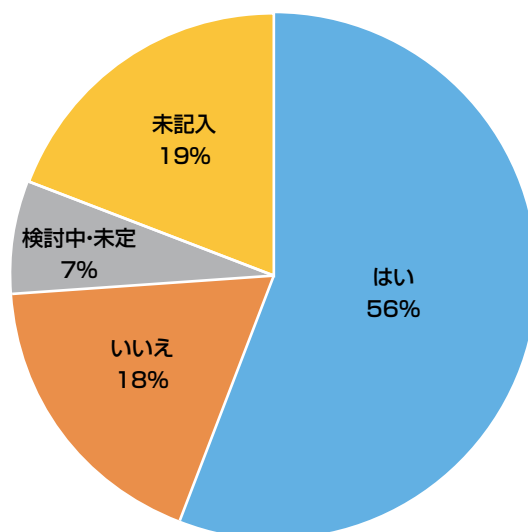
アンケート〈出展者アンケート〉

・ 防災に対する普及活動が小さな子供にも伝えられる機会となった。
・ 昨年以上に参加者が多く、全国から熱心な参加者が集まっていることを実感した。
・ 良い出会いが多く得られたと感じます。出展者間の交流ができるツールなどがあると良いように思います。
・ 人の流れは、試供品などをお渡ししているブースには多く、配布物のないところには本当に興味を持ってくださる方しか参加されないことがよくわかりました。今回のブース配置で、配布物の有無による流れができており、バランスよく配置されていたため、説明だけのパネルにも興味ある方々からのお声がけがいただけたものと思います。
・ 来場者層によって、ゾーン化して展示することは分かりやすく良いと感じました。
・ 非常に様々な職業の方が来場され普段行われている防災活動から製品の意見までしていただき非常に参考になりました。
・ 多くの方から激励やアドバイスやご意見をいただくことができた。防災研究の励みになります。
・ 多くのお年寄りや、家族連れの方々と直接やりとりできて、自らの住まいのリスクに関心が高くなってきていることを実感しました。
・ 自分達の活動を見直す良い機会となりました。
・ 企業の方だけでなく親子連れが多く参加されたことから、日頃の防災意識が高まっていることを実感しました。
・ 年々来場者の防災意識が高まっているのを感じる。様々な企業や組織と繋がりが持て、情報交換ができるという意味で非常に有意義なイベントと思う。
・ 今回の台風19号関連緊急セッションは各団体のHP紹介のような形になっていたのが残念。リアルな生情報の共有（現場から生中継など）だと思っていた。
・ イベント終了後も熱心に質問をいただいたり、後日メールをいただいたりし、大変うれしく思っています。
・ 直接触れ合えたのは、WS参加者のみで、多くの来場者にはチラシでしか活動を知ってもらう機会がなかった。
・ 水害直後の開催は大きな意義があったと思います。
・ 普通お会いすることのない他分野の防災・減災関係者の方に直接お話を聞きすることができ、大変勉強になりました。
・ 300人以上の方に防災製品の必要性を提案できた。
・ 一部、これは本当に正しい防災なのか？疑問に思うような取り組み紹介もありました。
・ プログラムと一緒に配布されていた、周りの施設のクーポン券は良い試みだと思いました。
<コンセプト>
・ 次回は、異なる業種の関係機関・団体とのコラボレーションによるシンポジウムセッションを企画したい。
・ とても意義のある大会だと思います。多くの関係機関の連携が大切な「防災」。それをつなげる大会でありました。
<広報・集客>
・ 本会の出展者と関係のない一般の方がなるべく多く参加されているような会に向けて発展するとよいと思います。
・ 子供をターゲットにワークショップを準備したが、コンベンションホール内に子供が集まるブース、展示はほとんどなく、受講者を集めるのに大変苦労した。
・ 市民に防災に関する知識、事例を知ってもらうにはいい機会だった。自治体のトップの方が足を運び関心を持つことがまず大切だと感じた。
・ 今大会ではメディアや来場者が多く、盛況であったため、これまで以上に参加意義が大きい大会だったと考えています。
・ 予想以上に来場者数が多かった。関係者が多いこともあり、出展内容に興味を持ち、踏み込んだ質問をされる方が多かった。
・ 今年度が初めての出展だったので、規模感が分からず、当ブースにお越しいただける来訪者の人数を読み違えたが、嬉しい誤算であった。
・ 宣伝が不足していた。
・ 様々な団体の方が参加来場されており、防災の意識をより深めることができました。
・ 全国的な展示会は初めてだったので、多くの人々及び参加団体様へのPRの効果は大きいものがあつたと思う。
・ お客様は勿論、社内にも当国民大会のPRを行い、また出展内容を共有し更に防災意識を高めることができた。
<会場>
・ 前回に比べて会場がコンパクトで、地元の方で賑わっていた印象を受けた。
・ 健康に関することに興味をお持ちのお客様が多かったのももう少し広いゾーンで体験していただければと思います。
・ 会場が名古屋駅から近いこともあって、多くの来場者にご来場いただけたと感じている。
・ 出展者が多かったため、会場が狭く感じられた。（それにより逆に密集度が高く、賑わっているようにも感じられた）
・ 新しい取り組みの発見があつた。子供の遊べるスペースがあれば感じた。
・ テントブースでの出展は雨天での影響が大きく、特に今回はテントサイズが縮小されたため、防水対策が難しく、梱包箱の水濡れ破損等大変苦労しました。
・ 10/19の16時以降は1人しかブースに来ていただけない状態でした。（外のイベントが終わると人が流れない）
・ 市民レベルの防災意識は低くはないと強く感じました。プレゼンブースとテントエリアは全く別の場所というイメージが強い。
・ 当社のワークショップは、コンベンションホールへの出展でしたが、子どもをメインターゲットとしているため、パークエリアへの出展なら子どもの参加が増えたと思いました。ワークショップやブースのターゲットに応じたエリア設定を考慮ください。
・ ワークショップの参加者及び見学者で室内が満員となるほど参集し、かつ討論も活発に行われ、参加者の高い評価もいただけた。
・ 会場全体が狭い印象を受けた。次回名古屋で行う場合は、全面的に改修された久屋大通り公園で行ったらどうでしょうか。
・ 次回以降は可能な範囲でブースサイズを大きくし十分な動線を確保していただけると、よりよい展示ができると感じました。
・ 会場が2つに分かれたため、中京テレビやパークエリアへの行政関係者の来場が少なかったように思う。

アンケート〈出展者アンケート〉

・大人の動線と子供の動線に工夫が必要である。弊社WSは子供向けであったが、開催は建物の4階であったため、そこまで上がってくる子供は少なかったと思われる。低層階での出展の方が良かったと思われる。
・コンベンションホールから中京テレビに来場者を誘導するような導線を考えて事前に対策を打っておいてほしかったのが正直な感想です。
・ワークショップでは隣の団体が、途中からマイクを使用しており、こちらの説明が聞き取りづらい状況があった。
・会場が分散されすぎ。
・会場によってはわかりにくい部屋もあったので、フロアごとに大きな案内図がエスカレーターの前など、動線上にあるとよかった。
<屋外会場>
・今回は周りの施設の設備（トイレ等）も充実しており快適でした。屋外展示の時間帯もちょうどよかったと感じます。
・テントブースの広さはこれくらいでちょうど良いと感じました。
・テントブースであったのでコンベンションホールに比べ、人が少なかった。
・開始から1時間は多数の来場者があったが、その後は少なかった。
・風が強いので安全確保に少し苦労しました。
・天候に恵まれなかった。展示物の大きさからテントの高さが必要です。
<展示ブース>
・セッション会場と屋内出展ブースの間隔が狭く、かなり混雑し、セッション見学者から混乱するとの意見があった。
・会場設営時間が短かったため、設営に苦慮した。
・展示ブース場所の違いにより人の集まり方が違っていたように思う。見学ルートのような矢印などを設置し、不公平感のない展示としてもらいたい。
・プレゼンブース、隣との間隔が狭すぎで出入りが非常に困難だった。
・セミナー出席者には受付から会場退出までの導線が分かりにくく混雑となり、出入口付近のブースの混乱に繋がっていた。
・今回のポスター展示場所はかなり残念な場所だった。ほとんど人通りもなく、照明も暗い。隣で展示していたMS&AD様も同様の意見だった。
・ポスターやブース出展場所については、もう少し一か所でもとめるか、セッション内容との調整をしていただきたい。
・同じようなテーマの会社を隣にするのはいいと思いますが、第三者から見たときに同じ会社に見えてしまうことがありました。
<セッション>
・来場者の導線やセッション開始、終了時の導線が煩雑な印象を受けた。モデル順路みたいなものがあったとしても良いのではと感じた。
・セッション来場者が多いのであれば、昼休みの時間を短くして、セッションを増やしてはどうか。魅力的なセッションが5つも同時並行では勿体ない。
・「南海トラフ」を冠した当方よりメジャーなセッションが同時刻に重なるプログラムであったことなどが原因として集客が少なかったのが残念。プログラム面で同じようなテーマを重ねないなど、セッション主催団体に配慮いただければ幸いです。
<体験型>
・多数、VR避難行動体験や液化化実験等を体験し、VRでは早期避難の大切さを痛感していた。外国人（中国の防災啓発関係者）から参考にしたいと言われた。
・ノベルティの準備や体験・参加型イベント、ショー的なイベントを準備すると、より多くの方に興味をもていただけることがわかった。
<平日・休日>
・防災関係の自治体や団体とつながりを持てた。名古屋まつりと日程が重なったので地元のイベントとは日程をずらしたほうがいい。
<ロジ>
・搬入・搬出の車の乗り入れは時間で区切られていると思っていたが、制限していなかったりして何かと統率が取れていなかった。
・事前に、出展する部屋の確認が必要だった。
・出展者特典・学びとして、出展者だけでも、セッションの内容を後日録画等で期間限定的でも見れたり、詳細なレポートを送ってほしい。
・出展者同士事前・事後連絡をとれるような形ができるとよいです。SNSをもっと活用して情報発信をしてほしいです。
・ゆうパックでの荷物の発送も可能となるようにご検討いただきたいです。
・仙台&東京では無料でご用意いただけたテント、机、椅子が有料となっていたのが資料でのみ記載されていただけで、開催当日まで気付かず混乱した。
・近隣に夜間、車両（4t車）を駐車できる駐車場が（名古屋まつりの日程と重なり）空いておらず困りました。
・搬出入が会場側の都合などでスムーズにできなかった。運営事務局作成の書類に間違いが目立ち、当社側から確認しなければいけないケースも発生。
・開催後の来場者数の分析、アンケートを踏まえた次回への課題・取り組みの内容を出展者にフィードバックしていただきたい。
・展示品等の搬出（宅配便利用）が前大会より改善され、スムーズに行うことができた。
・事前発送した荷物管理について。所定の送付票を貼って送付しているので、集積している荷物の括りがわかりやすく表記されているとありがたい。看板などが無かったため、結局荷物を1つ1つ確認するような形式となり、同じような段ボールから探すのは非常に苦労した。
・準備から開催まで、事務局からの情報共有や対応が適切に行われており、良かった。
<あいち・なごや防災フェスタと同時開催>
・防災フェスタの方が親子向け感が強いような感じがしたので、同時開催にして良かったと思います。
・プログラムにおすすめの順路がいくつか書かれていて、載る団体と載らない団体ができるのは不平等な印象を持ちました。
・掲載は各出展団体のタイトルのみだったので、概要もあると良いかと思いました。

■ 問6：次回大会は令和2年10月上旬に広島にて開催予定です。次回の大会に出展したいですか。



<はい>

- ・ 出展したいが、広島での出展メリットと予算を考慮すると、現段階では厳しい状況かと思います。
- ・ 今後も、東京以外の地域で開催いただくことで、地元地域を活動拠点とする団体等との交流が期待できます。
- ・ 開催日が決まりましたら早急にご連絡をいただきたい。

<いいえ>

- ・ 遠方のため、難しい。
- ・ 広島地区の販売店が中心となって、自治体と連携して参加できると思う。（現時点では会社の姿勢は未定）
- ・ 開催地が中部地整管轄外になってしまうため。
- ・ 今回は、名古屋開催であったためJSCA中部支部で出展することができました。
- ・ 中部地区管内中心の活動をしているため。
- ・ 名古屋を中心に活動する団体なので出展は見送りますが、活動は団体として応援していくつもりです。
- ・ 出展はしたいが、当会でワークショップを開催するには、多数のスタッフ（7～8人）が必要遠地となり交通費、宿泊費の負担が大きい。
- ・ 弊社の管轄区域外であり、当該管轄の会社が出展されると思われるため。
- ・ 生協は各県で活動していますので、次回は広島の生協が出展の検討をされるかと思っています。
- ・ 開催地と訴えたい内容との関連が整理できれば出展したいが、現在のところ整理が難しい状況である。
- ・ ブース出展にかかる費用（出張旅費含む）が、捻出できないため。

<検討中・未定>

- ・ 今は解らない。
- ・ 未検討です。改めて検討します。
- ・ できれば出展したいが、遠地のため、まだ不明です。
- ・ 結論は出ていませんが、開催時期が、著名な防災イベント「危機管理産業展」とダブルため、特に地方開催の場合は日程により出展が難しい。
- ・ 今回の出展内容が地元開催だからこそ実施できた内容であったことから、次回については、一から内容を検討する必要がある、現時点では出展未定。

アンケート〈出展者アンケート〉

■ 問7：次回以降の防災推進国民大会に期待することや改善すべき事項がありましたら、自由にお書きください。

<全般的>

- ・ 出展者用に、セッションの内容を録画や詳細なレポートで送ってほしい。
- ・ 事前・事後に出展者同士が連絡をとれるよう、連絡先記載の冊子（PDFもしくはwebページ）やSNS等の活用ができる仕組みがあるといい。
- ・ 出展団体同士の連携強化や情報交換のため、出展者同士の内覧会を設ける、1日目の夕方に出席者同士の交流会を開催してほしい。
- ・ 予算計上の関係で、次回開催会場が9月上旬までに公表されると助かります。
- ・ イベント周知が不足していると感じました。イベント入口で、来場者への配布物は事前または当日の各出展先に周知してほしい。
- ・ 会場図が手元になくブースの場所や記載内容を聞かれることが多く、対応に苦慮しました。またセッションの開始・終了のアナウンスがなかったことによる問い合わせの対応に追われた。
- ・ SNSを使った周知の取組みが不十分であると感じられた。出展者のツイートをフォロー（引用リツイートなど）するなど事前に協議して計画を立ててもらいたい。
- ・ ポスターやチラシの完成を前倒しただけなら周知がもっとできた。今回より1ヶ月程度前に配布したい。
- ・ 早い時間から撤収をしていた出展者がいたが、来場者のことを考えると撤収作業時間の徹底が必要。
- ・ 事前申し込みが必要なイベントは予め周知してほしい。来場された方の中で事前申込み自体を知らなかった方がいらっしまった。
- ・ 防災を知らない層も参加しやすい親しみやすさが必要。
- ・ 電気や備品についてはある程度は不自由なく使用できるように配慮してほしい。
- ・ あいち・なごや防災フェスタの催しだった脱出ゲームは特に人気が高かったので、ぼうさいこくたいでも会場全体を使ってなにかできれいと思う。
- ・ 最近目立って多くなった風水害、土砂災害への対応について、集中して取り上げる場を設けることが必要だと思います。
- ・ 周囲でも「いいイベントだった」との声が多く聞かれました。名古屋での盛り上がりをつなげたい。
- ・ セッション内容に力を入れて来場者を増やしてほしい。家族連れと専門向けで会場が分かれていたのは、来場者もわかりやすくてよかった。

<コンセプト>

- ・ 今後には命を守るという視点でいろんな教訓が学びあえるとよいと思います。
- ・ 偉い方の話より身近で実体験の話を伝える場をつくってほしい。
- ・ 土砂災害など気象災害の多い広島での開催なので、地元の気象災害対策に直結した催しになることを期待しています。
- ・ ぼうさいこくたいが、バラバラなものの寄せ集めといった印象が強かったので、もう少し、全体を通して企画するような、取り組みがあると良いと思う。

<広報・集客>

- ・ 出展ブースの配置により来場者に対するアピールに差が出ることをできる限り減らすよう工夫をお願いしたい。
- ・ 屋内と屋外を両方みてもらえるように、スタンプラリー等があるとより多くの方にお越しいただけるかと思う。
- ・ 関係者へのPR資料を半年前には配布してほしい。
- ・ 名古屋駅等の人が集まる箇所で広告を出す等、インターネット外でも周知をもうすこししていただきたいかった。
- ・ 照明の関係で暗いブースがいくつかあり、パネル等見難いブースもあった。

<会場>

- ・ 「ぼうさいこくたい」全体のマップ、スケジュールを示すボードが入口にあればよかった。
- ・ 入り口で袋を渡す際に、飲食店のクーポン入っていることを伝えた方が良い。
- ・ 会議室を2分割したため、隣室との騒音が遮断できず、かつマイクを使えない状態だったので、ワークショップの手順の説明に支障をきたした。
- ・ ささしまライブは比較的交通の便が良かった。今後も交通の便が良いところでの開催を希望します。
- ・ 会場の収容人数や会場レイアウトなど会場見学の際に事前情報と異なる点が多かったので、出展申込みの段階から正確な情報を示していただきたい。
- ・ 各ブースやイベントで集めたいターゲット（ファミリー、子供、ビジネスマン等）に応じて会場をエリア分けしてほしい。
- ・ 今回のような分散した会場ではなく、気軽に色々立ち寄れるような広い会場で行ってほしい。
- ・ 首都圏での開催を希望します。
- ・ 出展のカテゴリとエリア設定について、エリアによる来場者属性の偏りが少ないようにしてほしい。
- ・ 他の参加団体を回る時、一時的に荷物を預かってほしい
- ・ 多種多様なイベントがあったためエリアが複数にわかれており、間に大きな道路があったり来場者の導線が難しかったように感じました。
- ・ 同じジャンルで一纏めにして配置してもらうとより参加者も訪れやすいと感じた。
- ・ 今年のレイアウトは、道路を挟んで屋内会場と屋外会場が分断されていたので、やや一体感がそがれた印象があります。

<屋外会場>

- ・ 会場をオアシス21や名古屋ドーム等のような屋内にすることで、影響を最小限にしてもよいのではと思った。
- ・ 屋外展示について雨天時の対策をご検討ください。地方開催で「雨に濡れた梱包箱等持ち帰れない廃棄物」を自己処理することは困難。
- ・ 屋外での展示でディスプレイ音量が大きくPCの音がほとんど聞けなかった。

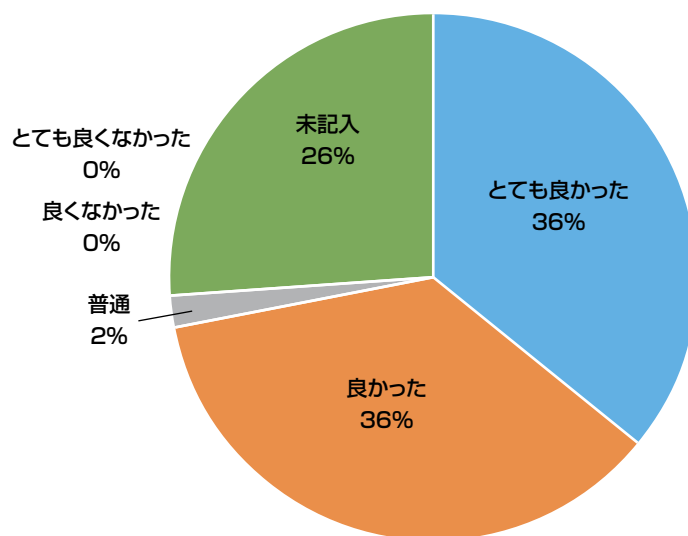
アンケート〈出展者アンケート〉

・ テントの壁は強風が吹くと波うってしまい、展示物や机がひっくり返っている団体も多かった。次回はそのへんに配慮していただきたい。テントブースの高さに制限があるのも今後の課題です。
<開催時期>
・ 秋の各種行事の重なる時期であったため、ワークショップ参加者の募集に苦労した。
・ 10月開催だと出水期かつ台風シーズンに重なるため、時期を11月上旬などに見直した方がよい。(実際、今回も台風19号の対応等で展示中止となったブースがあった)
・ 災害が発生していない時期にしてほしい。災害が発生すると対応を行う必要があるため避けて開催してほしい。
<展示ブース>
・ 1団体当たりのブーススペースをもう少し拡大していただきたい。
・ 会場内で出展団体のみフリーWi-Fiを設置してほしい
・ ポスターセッションの説明者にも椅子と荷物保管のスペース(ロッカー)が欲しいと思いました。
・ ブースがせまい。出展者の休憩場所が必要。PRブースの数を増やしてほしい。
・ ブース位置によっては暗い場所がありましたので事前にご案内いただけますと幸いです。
・ 今回はワークショップのみの参加でした。できましたら、プレゼンブースの枠を増やしてほしいです。
・ 夕方の時間帯になると思った以上に照度が足りなく暗かったので、各出展者でスポット照明が必要だった。
・ 展示の場所については、類型化してまとめるよりはあえてバラバラな方が良いと思います。隣同士で意見交換もできますし、来場者も偏ったブース見学にならず、いろいろな防災を学べると思います。
・ 隣のブースの方も「人がまったく来ない」とおっしゃっておられた。特にアクセスの悪いブースは1日で場所を変えないと、ほかと差が出すぎてしまうのではないかと。
<セッション>
・ 次回以降は、セッションプログラムご出席の方に訴求できるブース出展を希望します。
・ 次のプログラムへの転換時間が短いので少し長くするか会場転換が不要なプログラムを統一しては。出演者・スタッフ・出展者休憩室がないので辛かった。
・ セッションの合間が短く、参加者や登壇者などが終了後にあまり話をする時間がなかったため、もう少し各セッションの間隔があくとうと思いました。
<ワークショップ>
・ ワークショップ出展者には、プレゼンブースも割り当ててください。WSの持ち時間を増やしてください。
・ 各ワークショップの案内(リーフレットなど)をまとめて入手できるブース(チラシ置き場)を用意してもらえば、出展日以外にも接点が作れると感じました。
<平日/休日>
・ 自治体や企業等のBtoB交流の活性化のため、平日を含めた開催も意義があると思います。
<他団体との交流>
・ レセプションについて。出展している学生同士が交流できるような場所を用意していただければと思います。
・ 事前に出展者間の話し合いができればもっと良かった。
<ロジ>
・ 出展者への連絡アナウンスが所要所で欲しかった(特に屋外)・搬入出の選択肢が少ない。
・ 会場備品のマイクの使用や搬入・搬出などについて出展者マニュアルから変更されていることがアナウンスされていないことでトラブルが多数発生したため、マニュアルの更新・周知を徹底していただきたい。
・ 事前の提出物の期限がタイトかつ何度も提出を求める形は、次回は極力避けていただきたい。また、セッションのロジに関して、事務局に質問を寄せても回答を1か月ほどいただけないこともありましたので、早期に回答できるよう、改善をお願いしたい。
・ 備品がオーダーしたものと異なり、セッション直前でレイアウトの調整が必要となった。
・ レンタル費や電気供給量がかなり高額。見積もり送付が遅かった。
・ 運営事務局より依頼される書類の提出が多く煩雑なので簡素化を期待します。
・ 各種案内がギリギリの場合があったと感じました。早めのご案内をいただければ幸いです。
<あいち・なごや防災フェスタと同時開催>
・ 名古屋よりも人口規模の小さい広島での開催なので、他の防災関係イベントとのタイアップが必要。今回は「あいち防災フェスタ」との同時開催が良かった。
<その他>
・ 自宅でも使いたいとお客様の声がありました。できれば会場での物販も可能にいただけたらありがたいです。(非営利団体)
・ 企業、行政の方は「仕事」として参加されていますが、私達ボランティアは自腹です。駐車場代の補助がなかったことは厳しかったです。今後ボランティア団体には優遇措置があればありがたいです。
・ 広島は市内から空港が遠い点が不安です。主に中国地方だけでなく九州・四国・関西の西日本の皆様が新幹線で積極的に来ていただける大会となることを期待します。

アンケート〈出展者アンケート〉

■あいち・なごや防災フェスタ出展団体分

■ 問1: 本大会に参加した感想に最も近いものを、次から1つ選んでください。



・貴団体の出展を通じて訴えたメッセージ（成果）は何でしたか。

<災害情報>
・ 河川の水位情報をテレビやインターネットで容易に入手できるので、早期の避難行動に活用していただきたい。
・ 災害用伝言ダイヤル171の普及。
<災害教訓・伝承>
・ 主に家族連れの方を対象として、土砂災害の怖さや備えに対しての啓発ができたと考えている。
・ 復興へと歩みが続けている東北の様子を知っていただくことと、震災発生から約8年間キャンドルを灯してきた私たちの想いを伝えました。
・ 地震への備え。手ごたえは感じた。こんな方法があったのかとか発見された方があった。
・ 子供に対して防火防災意識の高揚を図る。
・ 陸前高田市丸ごと支援について広く来場者の方にPRする。
<教育>
・ 若年層・子供への防災意識の向上。
・ 日頃から少しの知識を備えておくことで、身近にあるものから工夫して災害時に役立つものを作ることができるということ。
<地域防災>
・ 災害時に備えて、日ごろから家族で防災について話をしていただきたい。
・ 消防団についての啓発ができた。
<都市・建築・住宅>
・ 日頃の備え〈家具の固定の必要性〉。
・ 住宅や建築物の耐震化や減災化の重要性。
<防災行政>
・ 警察の活動を知ってもらい、理解を深めてもらう。災害に対する事前のソナエの必要性を認識してもらう（自助）。発災時の状況をイメージし、どういう行動を取るか考える。
・ 近年の大規模水害ではヘリコプターによる垂直救助が必要です。愛知県にも防災ヘリコプター「わかしゃち」があり、災害に強い県を目指していることをアピールできた。
・ 県民の防災・減災意識向上。
・ 帰宅困難者対策、一斉帰宅抑制。
・ 消防活動の必要性、重要性。
・ 災害派遣を通して自衛隊の活動をPRし、募集に繋げたい。
・ 名古屋市の防災施策などを広く来場者の方に伝える。
<医療・福祉>
・ 災害時の口内健康を保つ意義。

・大規模災害時の名古屋市薬剤師会の活動として市民の方々に、市内の公立中学校に救護所が設置され災害備蓄薬を搬入することを知っていただきました。

<備蓄・グッズ>

・1.備えの大切さ 2.必要な供えは世代や環境、時代によって変化すること。

・ローリングストックを実践しよう!

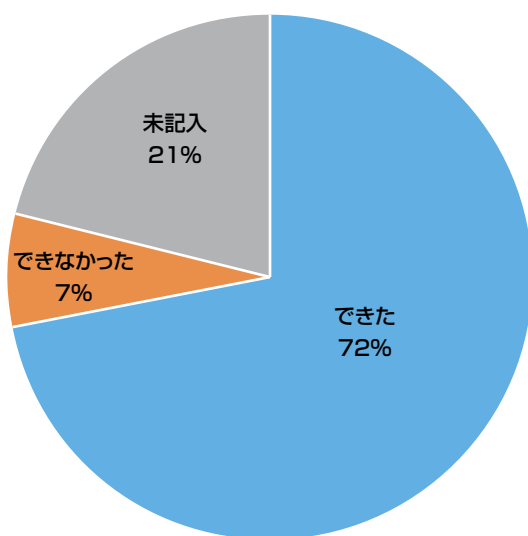
<ゲーム>

・防災ゲームを通して親子で備えることの大切さを学ぶ。

<その他>

・防災啓発と消防行政のアピールを行い、身近に感じていただくことを目的としていました。

■ 問2：貴団体のメッセージを来場者に伝えることはできましたか。



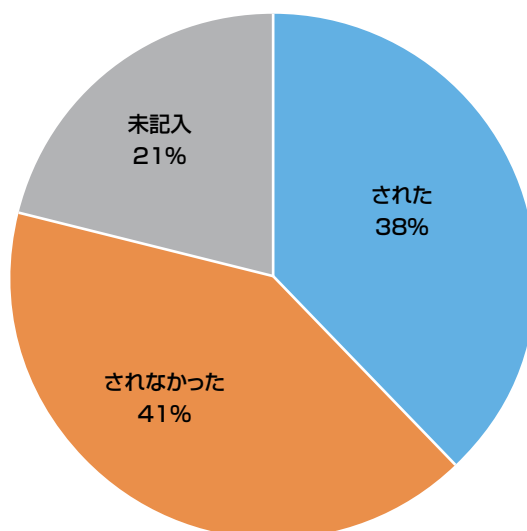
<できた>

- ・家具固定アンケートを通して必要性を説いた。
- ・チラシ、ノベルティが好評だった。
- ・出展内容を来客に見てもらい、周知できた。
- ・多くのご家族や子供たちに体験していただき、お話しすることもでき、リーフレットも配布できた。
- ・来場者に対し、耐震性がある建物とない建物で地震に対する壊れ方を体験、実感してもらうことができた。
- ・防災つりぼりゲームを通じて親子(家族)の防災力を高めた。

<できなかった>

- ・展示車両には興味を持ってもらえたが、それ以上のことが伝わったかどうか不安。
- ・小学3年生程度をメインターゲットにしたが幼少な子供が数多く来場された。
- ・子供の数が少なかった。

■ 問3：本大会期間、本大会を通じて、他の出展団体、協力団体等とつながりが新たに創出、又は強化されましたか。



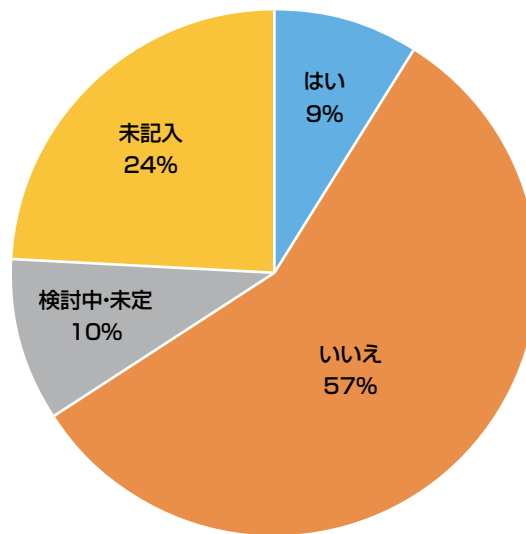
アンケート〈出展者アンケート〉

＜された＞
・（一財）愛知県消防協会との連携が強化された。
・クロージング・セッションに参加した際に他の団体と日頃の活動について話すことができた。
・今後パートナーシップをとりたい団体と知り合った。
・巡回し興味あるブースで懇談、情報の交換ができた。
・外部給電のPR、企業との連携についてのスキーム形成の一助となった。
・若年層（小中高大生）と連携したことで、次年度以降のあいち防災フェスタも参画してもらうきっかけ作りができた。
・他市、消防局、高校との連携を図ることができた。
・他団体に出席内容を見てもらい、当協議会のことを周知できた。また、他団体のブースを見て、今後の啓発活動の参考になった。
・防災カード作り体験を参考にしたいというボランティア団体・自治体があった。

■ 問4：本大会へご出展なさったの感想、ご意見、ご提案等を自由にお書きください。

＜全般的＞
・多くのお客様に展示を見ていただき、当社及びグループ会社の防災に関する取組みを伝えることができた。
・国、県、市で共同イベントのため、よい立地で多くの集客ができ、啓発を効果的に行うことができた。
・大会についてのリサーチが不足で十分な準備ができなかったのが残念です。
・救護所と避難所の区別がない方が多いのですが、その違いを理解いただき、お薬手帳の大切さとふだん飲んでいる薬の予備の大切さを説明できたのが良かった。
・子供から大人まで様々な方とお話することで防災ヘリコプターをPRできたと感じています。
・多くの来場者の方に171の使い方を覚えていただき良かった。
・日頃、土砂災害についての啓発活動が少ない中で、人の集う場所で啓発活動を行えたことが良かった。
＜会場＞
・来場者が多かった。屋内（中京テレビ）のブースが目立っていなかった。
＜屋外会場＞
・天候が心配されたが、予想以上にブース来場者が多く有意義な時間であった。
・想定よりも多くの方にブースへ来ていただき、防災への関心の高まりを強く感じた。
＜あいち・なごや防災フェスタと同時開催＞
・例年の防災フェスタ開催地モリコロパークと違い市街地にて隔年開催が良いと思う。
・防災フェスタと同時開催であったため、煩雑さもあったが、来場者数をふまえると同時開催で良かった。
・KDDI⇒ぼうさいこくたい側、docomo⇒愛知県防災フェスタ側で出展をしていますが、やっていることは同じなので統一してほしいです。
＜事前準備＞
・全体を通して、防災フェスタとの連携があまりできていないように感じた。
・屋外テントブースの場合は1日目終了後から2日目開始までの間、テント内に荷物を置くことができないことは初めの段階でアナウンスしていただきたかった。
＜イベント当日＞
・フェスタ来場者の中にはコンベンションホールでもイベントをやっていることを知らなかった方が多くいた。案内の看板が少なかったと感じた。
・2日目は、愛知大学が入試の都合で、お手洗いの場所を案内するのに苦労した。
・隣のテントブースの行列が長く、当方のテントブースの目の前を塞いでしまうことが度々あった。行列の整理をしていただいていたが、人手が足りていないのか、改善されなかった。
・我々の団体は今まであいち防災フェスタに出展していましたが、今回は、ぼうさいこくたいということで規模も大きくこれまでに以上に多くの来場者に参加していただきました。
＜ロジ＞
・ぼうさいこくたいとあいち・なごや防災フェスタの出展者の取扱いが統一されていない点（チラシ、Web、出展者説明会等）があったため、出展者間で差がないよう前年度の段階で出展者の取扱いについて国・県・市で事前調整しておくべきだった。

■ 問6：次回大会は令和2年10月上旬に広島にて開催予定です。次回の大会に出展したいですか。



<いいえ>

- ・当県においては近年、大災害が発生していないため、広島県での出展意義が薄いと判断される。
- ・遠方であるため。
- ・開催地が名古屋ではないため。
- ・県外への出展は難しい。(旅費など)
- ・他の地域では訴求するコンテンツに欠けるため。
- ・ボーイスカウトは各県に連盟が存在しますので、愛知連盟としては広島で開催される大会には参加はできません。
- ・出展内容が愛知県内の取組みのため。(あいち・なごや防災フェスタ出展者)
- ・消防団は地域に密着した組織のため、地元団体が啓発することがふさわしいと思います。
- ・開催都市としての参加のため。

■ 問7：次回以降の防災推進国民大会に期待するものがありましたら、自由にお書きください。

<コンセプト>

- ・近年多種多様な災害が多く起きていると感じる中で自助、共助、公助と備えることの大切さを今後も多くの人々に伝える良い大会になることを期待しています。
- ・継続して実施することが大切だと思います。

<会場>

- ・今回のように会場が大きく、入り組んでいる場合は、来場者にエリア全体を回遊させる仕掛けが必要だと感じた。
- ・天候に左右されない実施。
- ・屋内の展示ブースは、通路等が狭く、ゆっくり見ることが困難であったため、屋内展示ブースは、もう少し余裕をもった配置が望ましいと感じました。

<屋外会場>

- ・消防、警察、自衛隊等のブースを大きくし子供も多く参加してもらい、防災について考えてもらう機会を設けていただきたいと思います。
- ・展示の配置等に対する自由度が低い。例えば車両の展示位置等もう少しこちらのリクエストを検討していただきたかった。

<体験型>

- ・名古屋市薬剤師会では災害時の環境衛生の向上を薬剤師の責務と考えています。そこで展示されていた災害時トイレが実際に体験できることを今後期待します。

<あいち・なごや防災フェスタと同時開催>

- ・「あいち防災フェスタ」とぼうさいこくたいの同時開催ということで、国・県からの出展者への周知方法(国:公募、県:過去フェスタ出展者へ直接メールで調査)に差があったが、来年度も同じような構成であれば、公募を周知する前に出展者の取扱いについて関係者で調整した方がよいと思う。

<ロジ>

- ・事前の打ち合わせを簡素化、わかりやすくしてほしいです。

記録写真



武田大臣 開会宣言



大村知事 開催都市挨拶



河村市長 開催都市挨拶



ハイレベル・セッション



クロージングセッション終了後



SS-09 岐阜聖徳学園高校
「第2回全国高校生地域防災サミット in 名古屋」



SS-31 防災人材交流シンポジウム実行委員会
防災人材交流シンポジウム（つなぎ舎）



PR-07 株式会社白獅子
「子供用防災 VR」未来の希望を守れ！



PR-48 株式会社ヤマト
純国産の管理医療機器「ゴールドフィンガー」



PO-01 日本赤十字社
自助・共助の力を高める赤十字防災セミナー



PO-29 内閣府
内閣府防災の活動



WS-20 こくみん共済 coop <全労済>
たのしく学ぼう！災害とわたしたちにできること



WS-30 ぼうさいこくたい 2019 関連事業実行委員会
巨大地図とストローとお菓子でおいしく学ぶ？！



TE-52 Yahoo! JAPAN
体験イベント「わたしの防災ブック」をつくろう



TE-56 一般社団法人中部地域づくり協会
自然に学び、自然に備える ～防災体感 VR～



W3-22 四日市市
ー「チーム四日市」～学生消防団員の活躍ー



W3-11 防災専門図書館（公社 全国市有物件災害共済会）
防災いろはかるたで遊ぼう！



OS-15 トヨタ自動車株式会社
燃料電池バス（トヨタ SORA）体験試乗会



OS-14 飛鳥特装株式会社
地震体験（3次元起震装置搭載地震体験車）



OS-02 岡崎市消防本部
全地形対応車【レッドサラマンダー】



CR-10 三重県・三重大学 みえ防災・減災センター
災害体験談や防災紙芝居紹介（アーカイブ）



CR-15 エピスタ・コーポレーション / 株式会社ブリート
ノンアルコール化粧品ウェットティッシュ



屋外会場ステージ周辺



ステージ



内閣府
Cabinet Office